

Canon

PUB. DIJ-0461-000

HDビデオカメラ

IVIS HF R82 IVIS HF R800

使用説明書



AVCHD
Progressive

MP4

HDMI

Wi-Fi[®]
CERTIFIED

CANON
iMAGE
GATEWAY

赤ちゃんの成長を、家族旅行の思い出を、趣味やペットの日常を
気軽に撮って家族や友人と共有しましょう。

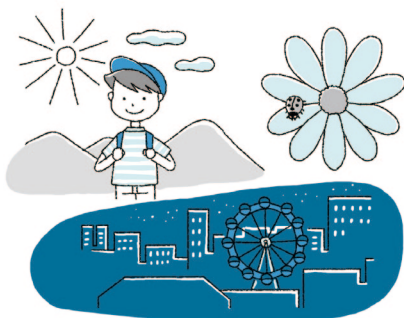


こだわりオート

38

オートで美しく撮る

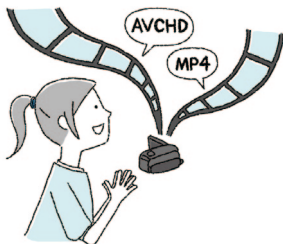
撮影シーンに適した設定をカメラが
チョイス！カメラにおまかせできれいに
撮れます。



目的に合わせて選ぼう

より美しい映像を鑑賞できるAVCHDとパソコンやスマートフォン*などで再生可能なMP4。2つの動画形式で撮ったり見たり、自由な映像スタイルを楽しめます。

* あらかじめ保存が必要です。



作品を作る

シネマルックフィルターを使えば簡単に映画のような雰囲気。画面にタッチしてデコレーションすると楽しい映像に仕上がります。



赤ちゃんの成長記録を残す

赤ちゃんの肌をキレイに撮影。生まれてからの日数や身長、体重のスタンプを付けて赤ちゃんの『今』を残しましょう。



スマートフォンなどに保存

撮影データをスマートフォンなどに保存できます。NFC対応のスマートフォンなら接続もカンタンです。



そろっていますか？	8
HFR82 Wi-Fiを使ってできること	9
この本の読みかた	11
使う前に必ずお読みください	12
各部のなまえ	13

Chapter 1

準備

バッテリーを充電する	17
カードを入れる	20
初めての設定をする《初期設定》	23
記録メディアを初期化する	25

Chapter 2

操作のしかた

タッチパネルで操作する	28
メニューを使う	29

Chapter 3

基本

ビデオを撮る	34
写真を撮る	37
オートモードでできること《 AUTO （オート）》	38
拡大して撮る	41
ビデオを見る	44

写真を見る	48
シーンや写真を消す	51

Chapter 4

応用 (撮影・再生・編集)

動画形式を選ぶ《AVCHD / MP4》.....	55
動画の画質を選ぶ《録画モード》.....	56
HFR82 記録先を選ぶ《内蔵メモリー / SDカード》.....	58
HFR82 2つのメモリーへ記録する《同時記録 / リレー記録》.....	59
赤ちゃんの成長を記録する《ベビーモード》.....	60
映画のように撮る《シネマ》.....	61
明るい部分を自然な階調で撮る《高輝度優先》.....	63
場面や目的に合わせて撮る《撮影モード》.....	64
自由に調整して撮る《PプログラムAE》.....	67
スロー & ファストモーションで撮る《常時Slow & Fast / 区間Slow & Fast》.....	68
映像をデコレーションする《タッチデコレーション》.....	74
ビデオスナップを撮る	83
顔を検出してきれいに撮る《フェイスキャッチ&追尾》.....	84
場面の切り換え効果をつける《フェーダー》.....	87
明るさを調整する《露出》.....	89
ピントを合わせる《フォーカス》.....	91
色合いを調整する《ホワイトバランス》.....	93
映像のなめらかさを選ぶ《フレームレート》.....	95
近寄って大きく撮る《テレマクロ》.....	97
場面に合わせて音の設定を選ぶ《オーディオシーン》.....	99
ヘッドホンを使う	100
外部マイクを使う	102
映像からビデオスナップや写真を作る.....	103
ビデオを音楽と一緒に再生する	105
お好みのコマから再生する	107

写真を音楽と一緒に再生する	109
シーンを分割する	111
シーンを切り取る	113
サムネイルを設定する	115
HFR82 ビデオ／写真をカードにコピーする	117
MP4形式の動画に変換する	120
HFR82 ファストモーション映像に変換する	123

Chapter 5

保存・共有・鑑賞

テレビで見る	126
さまざまな保存方法	130
パソコンに保存する	131
Connect Stationにつないで保存する	136
HFR82 外付けハードディスクに保存して見る	137
BDレコーダーなどにダビングする	143

Chapter 6

HFR82 Wi-Fi(無線接続)

Wi-Fiで何ができるの?	146
スマートフォンなどをリモコンにして撮る	148
スマートフォンなどに保存する	156
Connect Stationに保存する	159
Webサービスで共有する	161
アクセスポイントにWi-Fi接続する	168
Wi-Fi設定を表示／変更する	174

Chapter 7

ふろく

故障かな？	179
メッセージが出たら？	190
安全上のご注意	203
取り扱い上のご注意	207
日常のお手入れ	213
海外で使う	214
メニューの紹介	216
画面の見かた	234
アクセサリ紹介	240
主な仕様	242
さくいん	249
保証書と修理対応	253
修理について	254

そろっていますか？

箱の中に次のものが入っているかチェックしましょう。



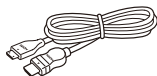
ビデオカメラ本体 *1



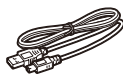
バッテリーパック
BP-727



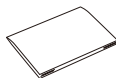
コンパクトパワーアダプター
(ACアダプター) CA-110



ハイスピードHDMIケーブル
HTC-100/SS



インターフェースケーブル
IFC-300PCU/S(USBケーブル)



スタートガイド*2

*1 本機を振るとカタカタ音がすることがあります (☎184)。

*2 PIXELA社製Transfer Utility LEについては、株式会社ピクセラのウェブサイトからダウンロードしたTransfer Utility LE取扱説明書 (PDF形式の電子マニュアル) をご覧ください (☎131)。

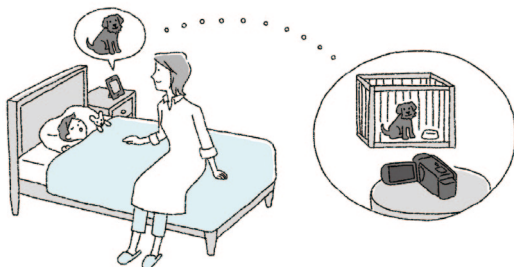
HFR82 Wi-Fiを使ってできること

Wi-Fiを使うと、ワイヤレスで動画や静止画を送信できます。ここではWi-Fiを使ってできることを簡単に紹介しています。詳細は146ページをご覧ください。

* Wi-Fi(ワイファイ)とはWi-Fi Allianceによって認証された、無線LAN機器同士の接続方式のことです。

スマートフォンやタブレットをリモコンとして使って撮影

- 家の中の離れた場所の映像を見ながら撮る (148)
- 外出先から自宅の映像を見ながら撮る (151)



スマートフォンなどに保存したり、
インターネットにアップロード (156)



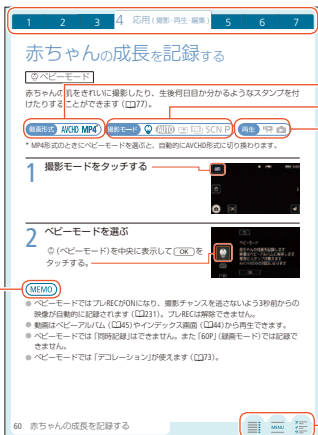
CANON iMAGE GATEWAY経由でインターネットへ アップロード (□161)



Connect Station(別売)に保存 (□159)

別売のConnect Station CS100に保存して、テレビで鑑賞したり、インターネットにアップロードしたりできます。

この本の読みかた



各章の最初のページにジャンプ。

動画形式 **AVCHD MP4**

AVCHD形式とMP4形式のどちらの動画に対応するか示す。

撮影モード **AUTO** **SCN P**

どの撮影モードのときに使用できるか示す。

再生 **再生**

再生アイコンのときは動画再生、静止画再生の画面にする。

メニュー もくじにジャンプ。

MENU 「メニューの紹介」(216)にジャンプ。

戻る さくいんにジャンプ。

ご注意 守ってほしいこと。

MEMO 知っておいてほしいこと。

POINT 知っているると便利なこと

本文中の表記

(10)

参照ページを示す。

参考 ▶

参考になるページや説明書などを示す。

HFR82/HFR800

アイコンで示す型番だけに該当する記載。

カード

SD / SDHC / SDXCメモリーカードのこと。

メモリー

「内蔵メモリー」(**HFR82**のみ)または「カード」のこと。

シーン

1回の撮影操作で記録された動画のこと。

* 作例写真はスチルカメラで撮影したものを使用しています。

使う前に必ずお読みください

必ず「ためし撮り」しましょう

大切な映像を撮るときは、必ず事前にためし撮りをして、正しく録画・録音されていることを確認してください。

記録内容の補償はできません

ビデオカメラ、カードなどの不具合で記録や再生ができないことでも、記録内容の補償についてはご容赦ください。

著作権に注意しましょう

本機で録画・録音したビデオは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限していることがありますのでご注意ください。

ACCESS(アクセス)ランプについて

ACCESSランプ ( 14) が点滅している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。

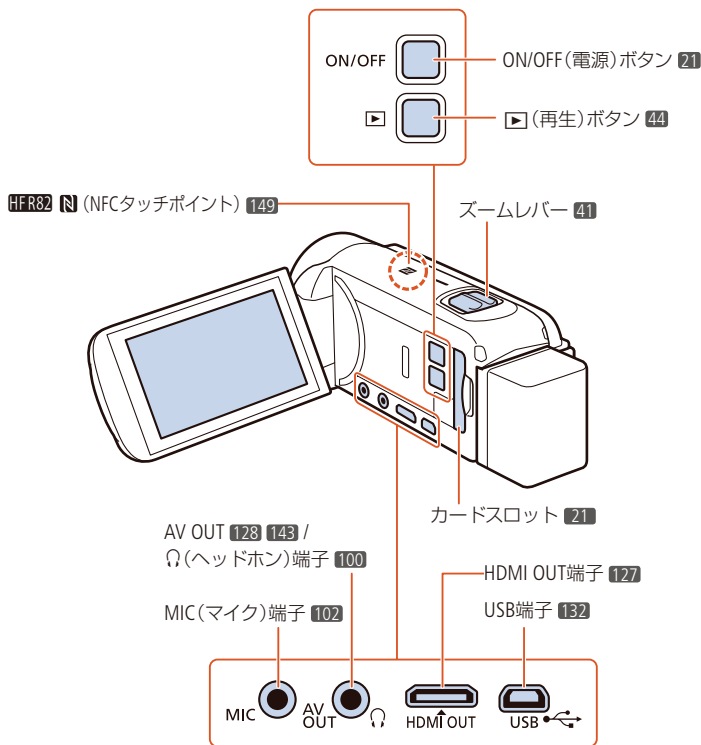
- カードカバーを開けない。
- 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
- 撮影モードを切り換えない。
-  (再生) ボタン ( 13) を押さない。
- 本体にUSBケーブルをつないでいるときは、USBケーブルを抜かない。

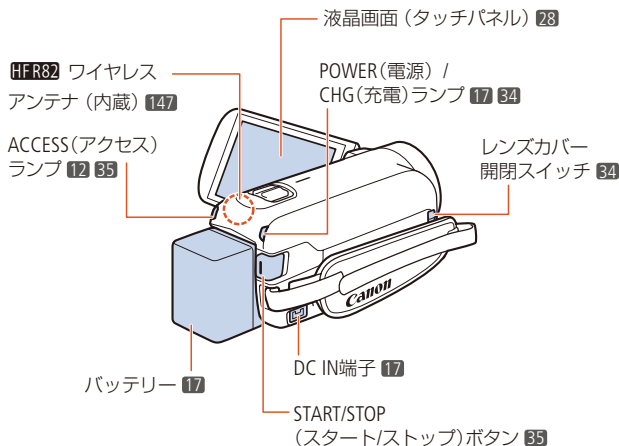
液晶画面について

液晶画面は、非常に精密度の高い技術で作られています。99.99%以上の有効画素がありますが、黒い点があらわれたり、赤や青、緑の点が常時点灯することがあります。これは、故障ではありません。なお、これらの点は記録されません。

各部のなまえ

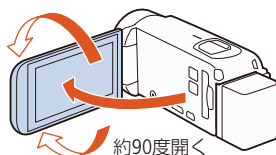
本文中に出てくる名称です。■内の数字は参照ページです。

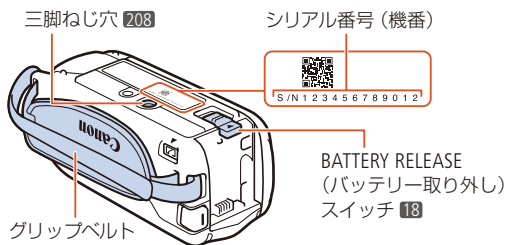
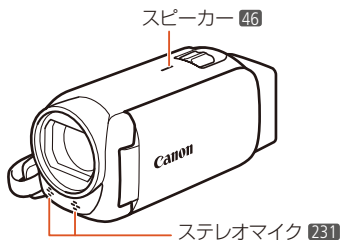




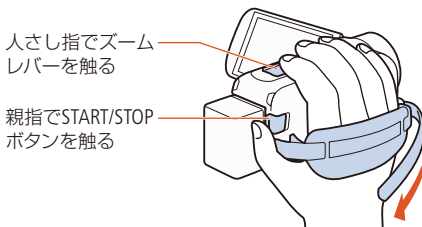
液晶画面の調整

液晶画面を開くと電源が入ります。初回起動時は初期設定画面が出ます(23)。液晶画面の取り扱いについては208ページ、お手入れは213ページをご覧ください。





グリップベルトの調整



1 準備

バッテリーを充電する.....17

バッテリーを取り付けたり、充電したりするとき。

カードを入れる.....20

SD / SDHC / SDXCメモリーカードを使うとき。

初めての設定をする.....23

日時の合わせかたや、記録先の選びかたなどについて。

記録メディアを初期化する.....25

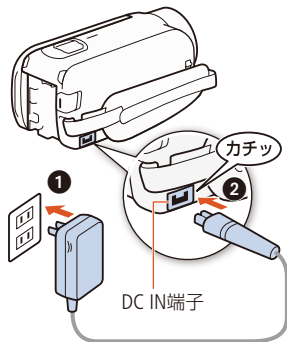
記録した動画や静止画などすべての情報を消すときに。



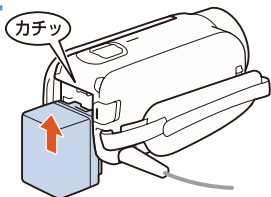
バッテリーを充電する

はじめてお使いになるときは、バッテリーを充電しましょう。

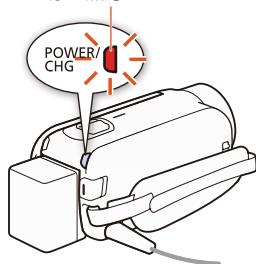
1 コンセントにつなぐ



2 バッテリーを取り付ける



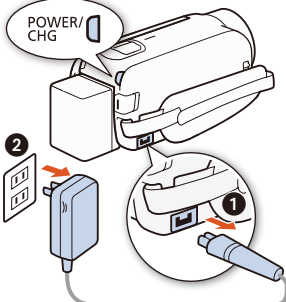
3 電源OFFで充電開始 赤く点灯する



- 点滅しているときは、「故障かな?」の「表示やランプ」(P183)をご覧ください。

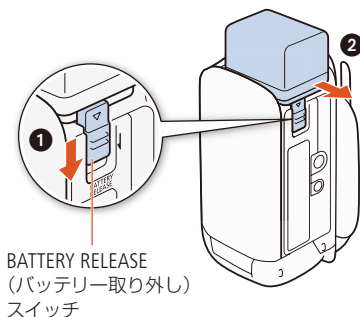
4 点灯→消灯で充電完了

- 付属のバッテリーは約7時間45分で充電完了。



バッテリーを取り外すとき

バッテリー取り外しスイッチを矢印の方向に押して (1)、取り外す (2)。

**ご注意**

- 電源プラグを抜き差しするときは、まず電源を切って、POWER / CHGランプ (緑色) が消えることを確認してください。撮影したデータが破損するおそれがあります。

MEMO**充電するとき**

- 10℃～30℃の場所で充電することをおすすめします。バッテリーや周囲の温度が約0℃～40℃ (使用温度) の範囲外の場合は、充電できません。
- 電源が入っているときは充電できません。
- 充電中にコンセントまたはDC IN端子からプラグを抜いたときは、再び接続する前にPOWER / CHGランプの消灯を確認してください。
- 充電が完了してPOWER / CHGランプ (赤色) が消灯したとき、 → → 「バッテリー情報」でバッテリー残量の目安を確認すると100%になっていないことがあります。追加して充電したいときは、再び電源をOFFにしてください。

撮影や再生するとき

- バッテリー残量が気になるときは、電源プラグをコンセントにつないだままお使いください。
 - フル充電したバッテリーも少しずつ放電します。使用直前に充電することをおすすめします。
 - 撮影／再生可能時間をより正しく表示するために、ご購入直後にバッテリーを初めて使うときは、一度充電完了まで充電してから使い切ってください。
- バッテリーの取り扱いについては209ページ、充電時間や使用時間については246ページをご覧ください。

バッテリーの残量を確認するには

🏠 → 📷 → 🔋 → 「バッテリー情報」で、バッテリーの残量と撮影／再生可能時間を表示させることができます (📖226)。

カードを入れる

動画や静止画をメモリーカードに記録できます。SDスピードクラスがClass 4、6、10のカードの使用をおすすめします*1。

使用できるカード

メモリーカードのタイプ	 SDメモリーカード
	 SDHCメモリーカード
	 SDXCメモリーカード
SDスピードクラス*2	CLASS 4 / CLASS 6 / CLASS 10
メーカー*3	Panasonic、TOSHIBA、SanDisk

*1 録画モードを「60P」または「35Mbps」に設定しているとき、またはスロー & ファストモーションで記録するときは、Class 6、10のカードの使用をおすすめします。

*2 SDスピードクラスに非対応か、またはClass 2のカードを使うと、動画を記録できないことがあります。

*3 これらのメーカー製のメモリーカードについて、動画記録時の動作を確認しています（2016年12月現在）。

POINT

SDスピードクラス

メモリーカードのデータ記録時の最低速度を保証する規格です。メモリーカードを購入するときは、スピードクラスのマークを確認してください。

ご注意

- 記録や消去を繰り返しているカードの場合、データの書き込み速度が低下し、記録が停止することがあります。あらかじめカードの動画や静止画をバックアップしてから、本機でカードを完全初期化してください。

SDXCメモリーカードをお使いになるときは

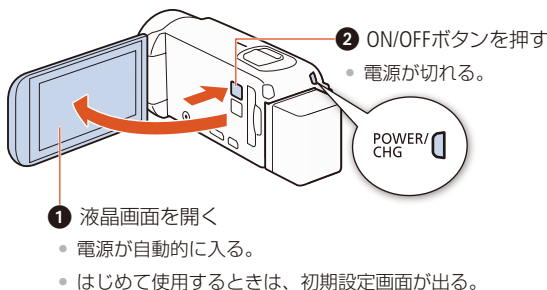
- SDXCメモリーカードに対応した機器でのみ使用できます。SDXCに対応する、レコーダー、パソコンまたはカードリーダー／ライターなどでご使用ください。対応状況については、パソコン、OSまたはカードのメーカーにお問い合わせください。
- SDXCメモリーカードに対応していないOSで使用すると、カードの初期化を促すメッセージが表示されることがあります。初期化するとデータが失われますので、キャンセルしてください。

■ カードを入れる

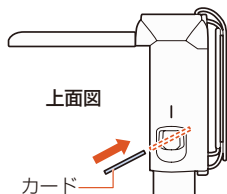
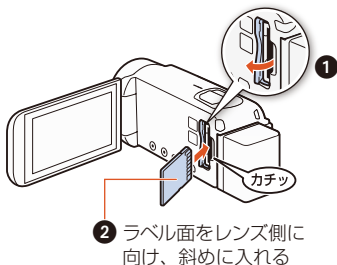
はじめて電源を入れると初期設定画面が出ますが、一度電源をOFFにして、カードを入れた後に初期設定（[23](#)）を行ってください。

その後、**カードを初期化してください**（[25](#)）。

1 液晶画面を開いたあと、電源をOFFにする



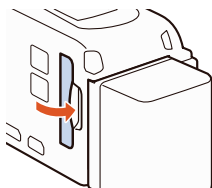
2 カバーを開け、カードを入れる



カードを出すとき

カードの端を押して、カードが出てきたら抜く。

3 カバーを閉じる



- カードが正しく入っていない状態で無理に閉めない。

ご注意

- カードには表裏の区別があります。カードを裏返しに入れると、本機に不具合が発生することがあります。操作2のような正しい向きで入れてください。

MEMO

誤ってデータを消さないために

カードの誤消去防止ツマミを「LOCK」側にする、データを保護できます。



誤消去防止ツマミ

初めての設定をする

初期設定

液晶画面を開閉することで電源を入／切します。はじめて電源を入れると初期設定画面が現れます。画面に従って設定してください。タッチパネルの操作のしかたについては28ページをご覧ください。

1 液晶画面を開く

- 初期設定画面が出る。
- ON/OFFボタンを押しても電源が入る。

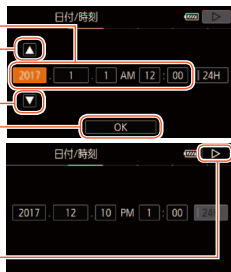
2 日時を設定する

- 項目をタッチし、/をタッチして設定する。
- この操作を繰り返して日時を設定する。

24時間表示にすると「24H」をタッチする。

- OKをタッチする。

- ▷をタッチする。



3 動画形式を選ぶ

- AVCHDまたはMP4をタッチする。
- ▷をタッチする。



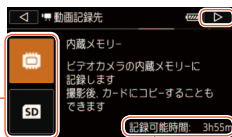
AVCHD形式* テレビでより美しい映像を鑑賞できる。

MP4形式* YouTubeなどへアップロードしたり、スマートフォンなどに保存したりできる。

* それぞれ「エーブイシーエイチディー」、「エムピーフォー」と読む。

4 HFR82 動画の記録先を選ぶ

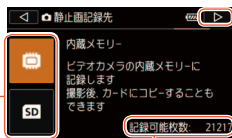
- 1 (内蔵メモリー) または (カード) をタッチする。
- 2 をタッチする。



* 初期設定時の録画モードをもとに算出。

5 HFR82 静止画の記録先を選ぶ

- 1 (内蔵メモリー) または (カード) をタッチする。
- 2 をタッチする。



* 静止画のサイズ (1920×1080) をもとに算出。

6 をタッチする

- 設定内容が表示され、自動的に消える。

電源を切るとき

液晶画面を閉じるか、ON/OFFボタンを押す。

MEMO

日時の設定について

- 日時は → → → 「日付/時刻」で変更できます (📖223)。
- 本機を約3か月使わないと、内蔵の充電式電池が放電して、日時の設定が解除されることがあります。その場合は、充電してから設定し直してください (📖211)。
- 海外旅行時に現地時間で撮影することもできます (📖215)。
- 動画形式は → → 「動画形式」で変更できます (📖55)。
- HFR82 記録先は → → 「記録先」で変更できます (📖58)。
- ON/OFFボタンだけで電源を入/切する設定にすることもできます (📖227)。

記録メディアを初期化する

カードをはじめて使用するときや、内蔵メモリー（HFR82のみ）＊／カードに記録した動画／静止画などすべての情報を消すときに初期化します。初期化には「初期化」と「完全初期化」があり、データを完全に消去する必要があるときは「完全初期化」を選びます。

＊ HFR82 ご購入時、すぐに撮影できるように内蔵メモリーは初期化されています。また、動画または静止画と一緒に再生する音楽とデコレーションの画像ミックスで使う画像が入っています。

動画形式 AVCHD MP4 撮影モード AUTO SCN P 再生

1 コンパクトパワーアダプター（ACアダプター）をつなぐ

- 初期化中は取り外さない。

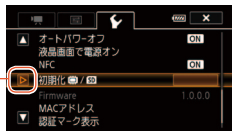
2 家をタッチする

- ホーム画面（29）が出る。



3 初期化するメモリーを選ぶ

- 左右にドラッグして（セットアップ）を中央に表示して、タッチする。
- 👉→「初期化（SD）」（HFR82）または「初期化（SD）」（HFR800）をタッチする。
- HFR82 「内蔵メモリー」または「SDカード」をタッチする。

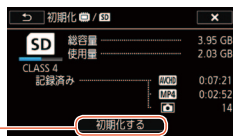


4 初期化する

- ① 「初期化する」をタッチする。

完全に消去するとき

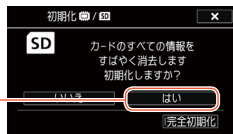
「完全初期化」をタッチする。



- ② 「はい」をタッチする。

完全初期化を中止するとき

「中止」をタッチする。カードはそのまま使用できるが、データはすべて消える。



- ③ 「OK」をタッチする。

5 ×をタッチする

ご注意

- 初期化すると、すべての情報が消え、元に戻せません。残しておきたい動画や静止画があるときはバックアップ (130) してから初期化してください。
- 初期化すると、動画または静止画と一緒に再生するためにパソコンから転送した音楽も消去されます。(HFR82で購入時に内蔵メモリーに保存されている音楽とデコレーションの画像ミックスで使う画像は消去されません。)

HFR800 FlashAirカードについて

本機でFlashAirカードを初期化すると、カードのWi-Fi設定 (SSID、パスワードなど) も購入時の状態に初期化されます。パソコンでFlashAir設定ソフトウェアを使って初期化することをおすすめします。

2 操作のしかた

タッチパネルで操作する.....28

タッチパネルの使い方について。

メニューを使う.....29

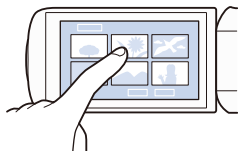
ホーム画面を操作したり、セットアップメニューを設定したりするとき。



タッチパネルで操作する

液晶画面（タッチパネル）を直接タッチして直感的に操作できます。タッチパネルでの操作には、指で液晶画面を押すタッチ操作と、タッチしたまま指を上下や左右に動かすドラッグ操作があります。

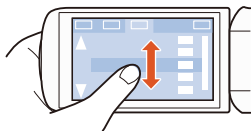
タッチ



液晶画面に表示される項目やボタンなどを指で触れます。

- シーン（動画）の再生、項目の選択などに使います。

ドラッグ



液晶画面に触れたまま、上下または左右に指を移動します。

- 指の動きに合わせて画面の表示が変わります。画面スクロールやメニュー操作などに使います。
- 画面によっては、表示される▲／▼または◀／▶をタッチして動かすこともできます。

ご注意

- 次の場合は正常に動作しないことがあります。
 - 爪先やボールペンなどのとがったもので操作をしたとき。
 - ぬれた手や手袋をしたままで操作したとき。
 - 強く押したままドラッグしたとき。

メニューを使う

🏠（ホーム）画面はさまざまな機能や設定の入口です。撮影モードを切り換えたり、Wi-Fi（HFR82のみ）などを使用したりすることができます。またホーム画面内のセットアップメニューでは詳細な設定ができます。なお、設定内容については「メニューの紹介」（㊦216）をご覧ください。

動画形式

AVCHD MP4

撮影モード



AUTO



SCN P

再生



■ ホーム画面で操作する

1 🏠をタッチする

- ホーム画面が出る。



2 項目を選ぶ

- 左右にドラッグして、選択する項目を中央に表示する。
 - ◀または▶をタッチして、選択する項目を中央に表示することもできる。
- 項目をタッチする。
 - 選択した項目の設定画面が表示される。

撮るモードの場合



見るモードの場合



■ ホーム画面の紹介

撮るモードと見るモードで操作できる機能が異なります。

項目	内容	モード		
		撮る	見る	
 セットアップ	撮影や再生するときに使う機能を設定する。	○	○	31、217
 記録設定	動画形式や録画モード、記録先*、記録方法を設定する。	○	—	55～59
撮影モード	場面や被写体に合わせてきれいに撮る。	○	—	64
 撮影設定	撮影するときに使う機能を設定する。 撮るモードの画面で  をタッチして直接撮影設定メニューを表示することもできる。	○	—	229
 ライブストリーミング リモコン*	スマートフォンなどをリモコンとして使って、ビデオカメラやスマートフォンなどに記録する。	○	—	148
 静止画再生	静止画の再生画面に切り換わる。	—	○	48
 動画再生	動画の再生画面に切り換わる。	—	○	44
 ベビーアルバム	ベビーモードで撮った動画だけを抽出したインデックス画面に切り換わる。	—	○	45
 ビデオスナップ	AVCHD形式のビデオスナップだけを抽出したインデックス画面に切り換わる。	—	○	45
 Wi-Fi*	動画や静止画をWebサービスにアップロードしたり、スマートフォンなどで保存したりするなど、Wi-Fiを使った機能を利用したり、設定を行う。	—	○	146

* HFR82のみ。

■ セットアップメニューの設定を変える

本機のさまざまな機能の設定を、セットアップメニューで変更できます。

例 「おしらせ音」を「切」に設定する

1 家をタッチする

- ホーム画面が出る。

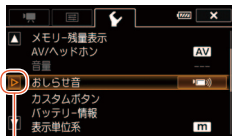
2 設定を選ぶ

- 1 (セットアップ)を中央に表示してタッチする。
- 2 をタッチする。



3 機能を選ぶ

- 1 上下にドラッグして、「おしらせ音」をオレンジ色のバーに合わせる。
 - 左端の▲または▼をタッチしてスクロールすることもできる。
 - 画面の機能名またはアイコンをタッチしてもよい。自動的にオレンジ色のバーまでスクロールされる。
- 2 ▷をタッチする。



4 設定内容を選ぶ

- 1 OFF (切)をタッチする。



5 ×をタッチする

MEMO

- ×をタッチすると、メニューはいつでも終了します。
- 他の機能の設定内容などにより設定できない機能は、灰色で表示されます。

3 基本

ビデオを撮る (34)

動画の基本的な撮影のしかた。

写真を撮る (37)

静止画の基本的な撮影のしかた。

オートモードでできること (38)

オートモードで撮影するときに行えること。

拡大して撮る (41)

ズームを使って拡大して撮るとき。

ビデオを見る (44)

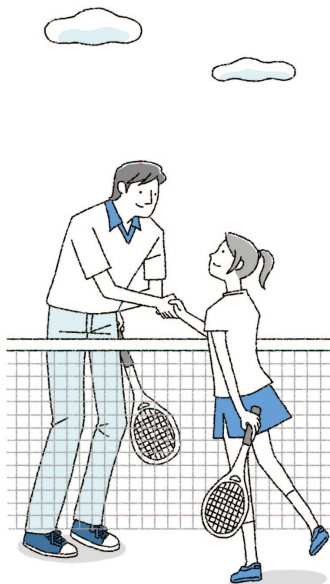
撮った動画を本機で見るとき。

写真を見る (48)

撮った静止画を本機で見るとき。

シーンや写真を消す (51)

撮影した動画や静止画を消すとき。



ビデオを撮る

ここでは基本的な撮影について説明します。

動画形式

AVCHD MP4

撮影モード



AUTO

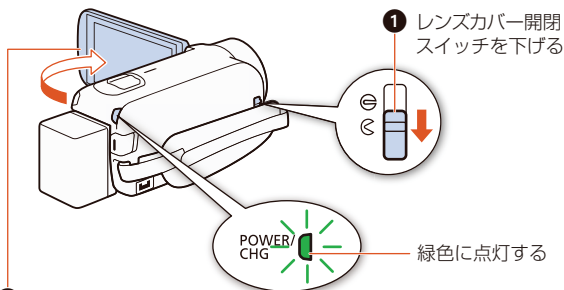


SCN P

再生



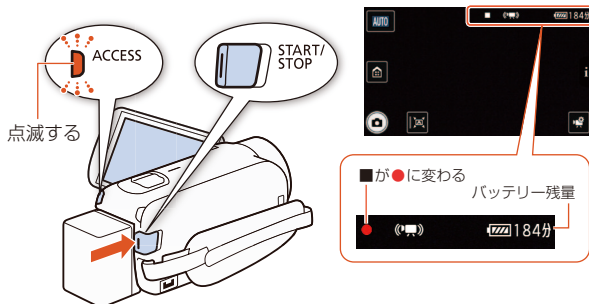
1 レンズカバーと液晶画面を開く



- 電源が自動的に入る。
- ON/OFFボタンを押しても電源が入る。

HFR82 記録先を切り換えるとき
記録先を選ぶ (□ 58)。

2 START/STOPボタンを押す ▶ 撮影開始！



3 もう一度、START/STOPボタンを押す

- 1シーンの動画が記録され、撮影が停止する。

4 電源をOFFにして、レンズカバーを閉じる

- 1 ACCESSランプが消えていることを確認する。
- 2 液晶画面を垂直にしてから閉じるか、ON/OFFボタンを押す。
 - 電源が切れる。
- 3 レンズカバー開閉スイッチを上げる。

ご注意

- 撮影していないときは、レンズを保護するため、必ずレンズカバーを閉じてください。
- 万一のデータ破損に備えて、撮影したデータは必ずバックアップしてください（P130）。データ破損の場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

MEMO

- ご購入時はオートモードに設定されています。オートモードについては38ページをご覧ください。
- バッテリーを使っているときに、約3分間何も操作しないと、節電のため電源が切れます(㊦227)。このときは電源を入れ直してください。
- 画面に光が当たって映像がよく見えないときは、画面の明るさを調節してください(㊦222)。

液晶画面を閉じて撮影する

三脚に取り付けて長時間撮影する場合は、撮影を始めてから液晶画面を閉じて撮影するとバッテリーの持ちが良くなります。まず、**家**→**i**→**手**→「液晶画面で電源オン」を「しない」に設定してから行ってください(㊦227)。

■ 詳細情報を確認する

記録先(HFR82のみ)や、残りの記録可能時間、動画形式などの現在の設定を、情報画面(㊦237)で確認することができます。

1

動画撮影中または撮影一時停止中

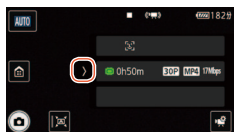
iをタッチする

- 情報画面が表示され、現在の詳細情報が表示される。



2

情報画面を閉じるとき **>**をタッチする



写真を撮る

ここでは静止画の撮影について説明します。撮影するときのポイントや注意していただきたいことについては35ページをご覧ください。

撮影モード



AUTO



SCN P

再生



1 レンズカバーと液晶画面を開く (34)

2 カメラをタッチする

- 画面に > (HFR82) または > (SD) や (緑色) が出て、静止画が記録される。
- 動画撮影中でも、同時に静止画を記録できる。このとき は表示されない。



3 電源をOFFにして、レンズカバーを閉じる (35)

MEMO

- 記録可能枚数の目安については245ページをご覧ください。
- フェーダーの動作中は静止画を記録できません。

オートモードでできること

AUTO (オート)

撮影モードを **AUTO** (オート) にすると、ビデオカメラにおまかせで気軽に撮影できます。

動画形式 **AVCHD MP4**

撮影モード



AUTO



SCN P

再生



■ **AUTO** (オート) にすると有効になる機能

機能	内容	📖
こだわりオート	ビデオカメラが被写体や撮影状況を判別して、シーンに最適な設定にする。	39
マルチシーンIS	ビデオカメラが撮影状況に合わせて最適な手ブレ補正を設定する。	40
フェイスキャッチ&追尾	人物の顔を自動で検出してピントと明るさを合わせる。被写体が動いても自動的に追いかける。	84
テレマクロ	望遠端付近にズームして被写体に近づくと、約50 cm まで近寄って撮影できる。	97

■ 撮影状況に合わせて自動で調整する（こだわりオート）

ピント合わせや被写体の明るさ、色合い、手ブレ補正、画質が最適になるように自動的に調整します。判別した被写体やシーンに応じて、画面に次のようなマークが出ます。

背景 被写体	明るい (灰色)	青空 (水色)	鮮やかな色 (緑／黄／赤色)	夕景 (オレンジ色)
静止した人物				—
動いている人物				—
風景など、人物 以外の被写体				
近くの被写体				—

() は逆光下の場合。

背景 被写体		暗い(紺色)	
		スポットライト	夜景
静止した人物		—	—
動いている人物		—	—
風景など、人物 以外の被写体			
近くの被写体		—	—

- シーンによっては、実際のシーンと異なるマークが表示されることがあります。特に背景がオレンジ色や青色の壁などのときは、や「青空」のマーク類が出て、適切な色合いで撮影できないことがあります。そのときは**P**（プログラムAE）モードで撮影することをおすすめします。
- 「フェイスキャッチ&追尾」(M84)で被写体をタッチしたときなど、こだわりオートが働かないときは**AUTO**が表示されます。

■ 最適な手ブレ補正に調整 (マルチシーンIS)

AUTO (オート)や😊 (ベビーモード)のときは、撮影状況によって自動的に設定された手ブレ補正に合わせてアイコンが変わります。手動で行う手ブレ補正については「手ブレ補正」(P220)をご覧ください。

表示されるアイコン	撮影状況
📷 (ダイナミック)	ズームの広角側で撮影しているとき。 ズームの望遠側で、カメラを左右に動かして被写体を追いかけて撮影しているとき。
📷 (パワードIS)*	ズームの望遠側で、遠くの被写体を静止して撮影しているとき。
📷 (マクロIS)	近くの被写体を撮影しているとき。
📷 (三脚モード)	三脚で撮影しているとき。

* 🏠 → 📷 → 📷 → 「マルチシーンIS」でパワードISのあり／なしを選べます (P217)。

拡大して撮る

ズーム

ズームレバーを操作して、拡大して撮影できます。「ズームスピード」や「ズーム倍率」についての詳細は、218、230ページをご覧ください。

動画形式

AVCHD MP4

撮影モード



AUTO

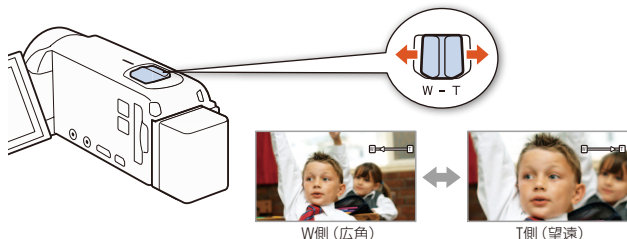


SCN P

再生



1 ズームレバーを左右に押す



MEMO

被写体との距離について

- ズーム撮影をするときは被写体から1 m以上離れてください。
- ズームレバーを**W**側に押して最も広角にすると、約1 cmまで近づいて撮影できます。
- テレマクロ (P97) 撮影中は、約50 cmまで近づいて撮影できます (望遠端時)。
- 撮影停止状態でのズームは、撮影中に比べスピードが速くなります (ただし、「ズームスピード」を「可変速」に設定したときのみ)。また撮影停止中にプレREC (P231) を **ON** にしていると遅くなります。
- 電源を入れ直したときに前回のズーム位置で起動するように、設定できます (P218)。

■ **ズーム撮影中に見失った被写体を探す（フレーミングアシスト）**
 遠くの被写体を拡大して撮影しているときに、被写体を見失うことがあります。フレーミングアシストを使うと一時的に広角になるので、被写体を探しやすくなります。フレーミングアシストの操作は、メニューでオート（自動）とマニュアル（手動）を切り換えることができます。

オート（自動）で操作する

1 フレーミングアシストを「オート」にする

- 1 家屋アイコンをタッチする。
- 2 三脚アイコン（セットアップ）を中央に表示してタッチする。
- 3 三脚アイコン → 「フレーミングアシスト」をタッチする。
- 4 「オート」 → ✕ をタッチする。

2 画角をタッチする

- フレーミングアシストのオートモードが有効になる。もう一度押すと無効になる。



3 ズーム撮影中に被写体を見失ったとき カメラを動かしながら被写体を探す

- 元の撮影範囲が白い枠で表示され、一時的に広角になる。
- 自動で広角にならないときは、カメラを速く動かす。



4 カメラを静止させる

- 白い枠の撮影範囲に再びズームする。



マニュアル（手動）で操作する

1 フレーミングアシストを「マニュアル」にする（📖42）

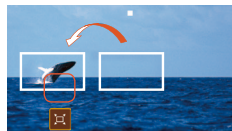
2 ズーム撮影中に被写体を見失ったとき 🔍をタッチし続ける

- 元の撮影範囲が白い枠で表示され、一時的に広角になる。



3 被写体を見つけて白い枠に入れる

- 白い枠（撮影範囲）の大きさはズームレバーで変更できる。



4 🔍を離す

- 白い枠の撮影範囲に再びズームする。



MEMO

- フレーミングアシスト（オート）のズーム動作中にズームレバーを操作すると、ズーム動作は停止します。
- フレーミングアシスト中の画角の大きさは、🏠 → 📐 → 🔍 → 「フレーミングアシスト範囲」で選べます。

フレーミングアシストが使用できない場合

- 区間Slow & FastがOnのとき。

ビデオを見る

撮った動画を再生します。ベビーモードの動画や、AVCHD形式のビデオスナップのみを再生することもできます。ここではAVCHD形式の動画を見るときを例に説明します。

動画形式 **AVCHD MP4**

撮影モード



AUTO

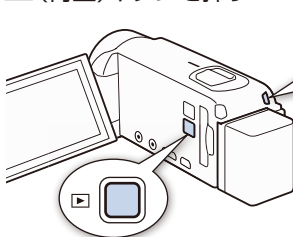


SCN P

再生



1 再生ボタンを押す



緑色に点灯する

- もう一度押すと撮るモードに切り換わる。
- 電源OFF時に押すと見るモードで起動。

2 インデックス画面で見たいシーンを探す

メモリー（HFR82のみ）と動画形式を切り換えるとき

- 1 **AVCHD** をタッチする。
- 2 **HFR82** タッチして （内蔵メモリー）または **SD**（カード）を選ぶ。
- 3 タッチして **AVCHD**（AVCHD形式）または **MP4**（MP4形式）を選ぶ。
- 4 **OK** をタッチする。



ベビーモードの動画のみ再生するとき

- 1 家屋のアイコンをタッチする。
- 2 赤ちゃんの顔のアイコン(ベビーアルバム)を中央に表示してタッチする。



AVCHD形式のビデオスナップのみを再生するとき

- 1 家屋のアイコンをタッチする。
- 2 AVCHD (ビデオスナップ)のアイコンを中央に表示してタッチする。



* MP4形式の動画のときはi(シーン情報)が表示されます(□47)。

3 シーンをタッチする ▶ 再生開始！

- タッチしたシーンの再生が終わると、インデックス画面の最後のシーンまで自動的に再生される。
- 画面をタッチすると、操作ボタンが出る。操作しないと数秒で消える(再生中のみ)。

再生中の操作

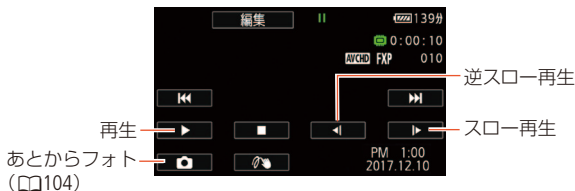


* MP4形式動画のときは日付のみ。

音量を調整する

1. 再生中に画面をタッチ→ をタッチする。
2. または をタッチして調整→ をタッチする。

再生一時停止中の操作



ボタン	内容
◀◀ (早戻し)	操作するたびに再生速度が5倍→15倍→60倍に切り換わる。早送り/早戻し中、音声は出ない。
▶▶ (早送り)	
◀◀ (前へスキップ)	現在のシーンの先頭から再生する。連続して2回タッチすると、前のシーンの先頭から再生する。
▶▶ (次へスキップ)	次のシーンの先頭から再生する。
◀ (逆スロー再生)	操作するたびに再生速度が1/8倍→1/4倍に切り換わる。スロー再生/逆スロー再生中、音声は出ない。
▶ (スロー再生)	

POINT

撮影データを保護する（ファイルロック）

大切な撮影データを誤って消去／編集してしまわないように、**編集**（編集ボタン）をロック（使用禁止に）することができます。

→ → → 「ファイルロック」を「入」にする。

MEMO

- 再生画面に日時を表示するときは、 → → → 「日時表示」を「入」にしてください（221）。
- MP4形式の動画インデックス画面で、 → シーンをタッチすると、シーン情報（撮影モード、撮影時間、撮影日時）を確認できます。
- MP4形式のビデオスナップは、動画のインデックス画面からのみ再生できます。
- 撮影条件によっては、シーンが切り換わるときに映像が止まったり、音声途切れたりすることがあります。
- ハイスピードHDMIケーブルHTC-100/SS（付属）やヘッドホン端子を使用中は内蔵スピーカーから音声は出ません。
- 他機でカードに記録した動画は本機で再生できないことがあります。

早送り／早戻し、スロー／逆スロー再生について

- 画面が乱れることがあります。
- 画面に表示される倍速表示は目安です。
- 逆スロー再生は、連続したコマ戻しのよう再生されます。
- （高輝度優先）で撮影した映像を本機で再生して見るときは、 → → → 「ビューアシスト」を「入」にする。

写真を見る

撮った静止画を再生します。

動画形式 AVCHD MP4

撮影モード



AUTO

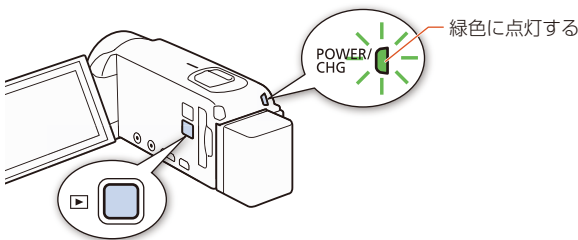


SCN P

再生



1 再生ボタンを押す



2 静止画の再生画面を表示する

- 1 再生ボタンを押す。
- 2 再生ボタン(静止画再生)を中央に表示してタッチする。



3 見たい静止画を探す



HFR82 メモリーを切り換えるとき

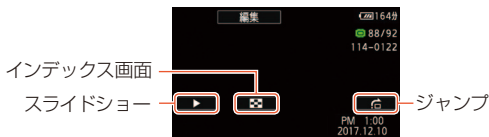
- 1 をタッチする。
- 2 タッチして (内蔵メモリー) または (カード) を選ぶ。
- 3 をタッチする。



4 静止画をタッチする

- 静止画が再生される (1枚表示画面)。
- 左右にドラッグすると次または前の静止画に切り換わる。

再生中の操作



ボタン	内容
▶ (スライドショー)	静止画を順番に再生する。音楽と一緒に再生したり、効果を付けて再生したりすることもできる (109, 220)。
📀 (インデックス画面)	静止画再生中にインデックス画面に切り換える。
🔍 (ジャンプ)	ジャンプのつまみを左右にドラッグすると他の静止画にジャンプする。 👉 をタッチして終了。

POINT

撮影データを保護するには

大切な撮影データを誤って消去してしまわないように、**編集** (編集ボタン) をロック (使用禁止に) することができます。

📁 → 📷 → 📁 → 「ファイルロック」を「🔒 入」にする。

MEMO

- 次の静止画は正しく再生されないことがあります。
 - 他機で記録したとき。
 - パソコンで作成や加工をしたとき。
 - パソコンでファイル名を変更したとき。

シーンや写真を消す

消去

不要なシーンや静止画を複数選んでまとめて消すことができます。日付を指定して一括消去したり、表示しているメモリー内のすべてのシーンや静止画を消したりすることもできます。「ファイルロック」(P47)を使えば誤消去を防止できます。

■ シーンや静止画を選んで消す

動画形式 AVCHD MP4

撮影モード



AUTO



SCN P

再生



1 インデックス画面を表示する (P44, 48)

- 消去するシーンまたは静止画を含むインデックス画面を表示する。

特定の日の全シーンまたは全静止画を消すとき

左右にドラッグして、消去するシーンまたは静止画を表示する。

2 消去を選ぶ

[編集] → 「消去」をタッチする。

3 いずれかの消去方法をタッチする

特定の日の全シーン*1を消すとき (操作5へ)

選んで消すとき

すべて消すとき*2 (操作5へ)



*1 MP4形式の動画／静止画では、「101_1210」のような日付ごとに作成されたフォルダー名が表示される。フォルダー名の下4桁はフォルダーが作成された日付を表す。

*2 静止画のときは「すべての静止画」が表示される。

4

選んで消すとき シーンまたは静止画を選ぶ

- 1 消すシーンまたは静止画をすべてタッチする。
 - ✓が表示される。もう一度タッチすると選択が解除される。

選択をすべて解除するとき

「全解除」→「はい」をタッチする。

- 2 **実行** をタッチする。



5

消去する

- 1 「はい」をタッチする。

中止するとき

「中止」をタッチする。一部のシーンまたは静止画は消去される。

- 2 **OK** をタッチする。

再生一時停止中のシーンを消す

動画形式 **AVCHD MP4**

撮影モード



AUTO



SCN P

再生



1

シーン再生中 画面をタッチ→||をタッチする

- 再生が一時停止する。

2

消去する

- 1 **編集** → 「消去」→ 「はい」をタッチする。
- 2 **OK** をタッチする。



■ 再生中の静止画を消す

撮影モード



AUTO



SCN P

再生



1 静止画再生中 画面をタッチする

- 操作ボタンが出る。

2 消去を選ぶ

- 1 [編集] → 「消去」をタッチする。
 - 左右にドラッグして別の静止画を選ぶこともできる。
- 2 「実行」→ 「はい」をタッチする。



3 ×をタッチする

ご注意

- 一度消したシーンや静止画は元に戻りませんので、消す前にシーンを確認してください。
- 大切な映像データは、あらかじめバックアップしてください (P130)。

MEMO

- 他機でプロテクトされている静止画は消せません。
- メモリーに記録されているすべてのシーンや静止画を消して容量を元に戻す場合は、初期化します (P25)。

4 応用 (撮影・再生・編集)

記録設定や撮影モードを変更する … 55

動画形式、録画モード、記録先や、撮影モードを変更したいとき。

便利な撮影機能を使う … 68

スロー & ファストモーションやビデオスナップの記録、映像にデコレーションするときなど。

詳細に調整をして撮影する … 89

露出、フォーカス、ホワイトバランスの調整、フレームレートの変更、テレマクロを使うとき。

音声を記録する … 99

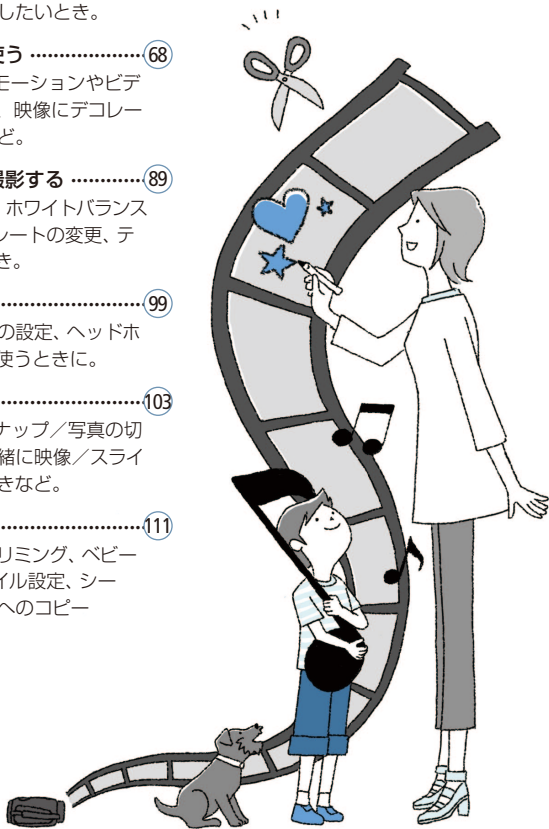
場面に合わせた音の設定、ヘッドホン/外部マイクを使うときに。

再生機能を楽しむ … 103

映像からビデオスナップ/写真の切り出し、音楽と一緒に映像/スライドショーを見るときなど。

編集機能を使う … 111

シーンの分割/トリミング、ベビーアルバムのサムネイル設定、シーン/写真のカードへのコピー (HFR82 のみ) など。



動画形式を選ぶ

AVCHD / MP4

2つの動画形式で動画を記録できます。AVCHD形式で記録すると、より美しい映像を鑑賞できます。また、BD（ブルーレイディスク）レコーダーやDVDレコーダーなどにダビングすることもできます。MP4形式で記録すると、変換しなくてもYouTubeなどへアップロードしたり、iPhoneのようなスマートフォンなどに保存したりできます。

動画形式

AVCHD MP4

撮影モード



AUTO



SCN P

再生



1 家をタッチする

- ホーム画面が出る。

2 動画形式を選ぶ

- 1 設定アイコン（記録設定）を中央に表示してタッチする。
- 2 「動画形式」をタッチする。
- 3 いずれかを選ぶ。
- 4 戻るアイコンをタッチする。



3 Xをタッチする

動画の画質を選ぶ

録画モード

AVCHD形式の動画の録画モードには60P、MXP、FXP、LPがあります。高画質で撮影したいときは60PまたはMXP、長時間撮影したいときはLPをお選びください。また、MP4形式の動画の録画モードには、35Mbps、24Mbps、17Mbps、4Mbpsがあります。高画質で撮影したいときは35Mbpsまたは24Mbps、長時間撮影したいときは4Mbpsをお選びください。

動画形式

AVCHD MP4

撮影モード



AUTO



SCN P

再生



1 家をタッチする

- ホーム画面が出る。

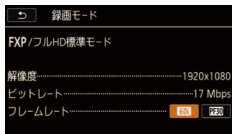
2 画質を選ぶ

- 記録設定を中央に表示してタッチする。
- 「録画モード」をタッチする。
- いずれかをタッチする。



録画モードの詳細を表示するとき

- i をタッチする。
- をタッチする。
- をタッチする。



3 ×をタッチする

MEMO

- 記録可能時間の目安については245ページをご覧ください。
- 「60P」では、映像を60コマ／秒で撮影して記録します。「35Mbps」を選ぶと60Pで記録されます。「bps」(ビットレート)とは、1秒間に記録される映像データの情報量のことです。
- 録画モードによっては、お使いのスマートフォンや機器で保存前に動画の内容を確認(プレビュー)できなかったり、保存後に再生できなかったりすることがあります。
- 「60P」、「MXP」の動画を使って、AVCHD規格のDVDを作成することはできません。AVCHD Ver.2.0に準拠したBD(ブルーレイディスク)レコーダーへは、カードを使ってダビングできます。
- 録画時間は撮影する被写体によって変化します。被写体に合わせて自動で画質を調整するVBR(Variable Bit Rate)方式を採用しているためです。
- 以下のMP4形式のシーンは、他の機器では複数のファイルとして認識されます。
 - データ容量が4GBを超えるもの。
 - 録画モードが「35Mbps」で30分以上のもの、または「35Mbps」以外で1時間以上のもの。

「60P」、「35Mbps」について

- 「60P」や「35Mbps」で記録した動画はテレビによっては再生できないことがあります。
- 撮影モードを「シネマ」にしているときは「60P」や「35Mbps」に設定できません。ベビーモードでは「60P」に設定できません。

HFR82 記録先を選ぶ

内蔵メモリー / SDカード

動画や静止画を内蔵メモリーまたはカードに記録できます。

動画形式 AVCHD MP4

撮影モード



AUTO



SCN P

再生



1 家をタッチする

- ホーム画面が出る。

2 記録先を選ぶ

- 1 (記録設定) を中央に表示してタッチする。
- 2 「記録先」をタッチする。
- 3 いずれかをタッチする。
- 4 いずれかをタッチする。
- 5 2回タッチする。



「動画記録先」選択時の画面

3 ×をタッチする

HFR82 2つのメモリーへ記録する

同時記録／リレー記録

「同時記録」では記録先に指定していないメモリーに、転送に適したMP4形式 (4Mbps) の動画を同時に記録します。「リレー記録」では記録先に指定したメモリーがいっぱいになったら、自動でもう一方のメモリーに切り換えて撮影を継続できます。

動画形式 **AVCHD MP4**

撮影モード



AUTO



SCN P

再生



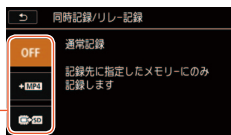
* リレー記録のみ。

1 家をタッチする

- ホーム画面が出る。

2 記録方法を選ぶ

- 1 記録設定 (記録設定) を中央に表示してタッチする。
- 2 「同時記録／リレー記録」をタッチする。
- 3 いずれかをタッチする。
- 4 戻る (戻る) をタッチする。



3 ×をタッチする

MEMO

- 以下の場合は同時記録できません。
 - ベビーモードのとき。
 - 録画モードを「60P」または「35Mbps」にしているとき。
 - スロー & ファストモーションがONのとき。

赤ちゃんの成長を記録する

ベビーモード

赤ちゃんの肌をきれいに撮影したり、生後何日目か分かるようなスタンプを付けたりすることができます (78)。

動画形式 **AVCHD MP4***

撮影モード



AUTO



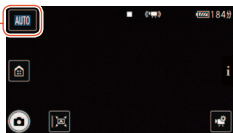
SCN P

再生



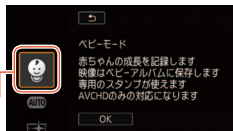
* MP4形式のときにベビーモードを選ぶと、自動的にAVCHD形式に切り換わります。

1 撮影モードをタッチする



2 ベビーモードを選ぶ

😊 (ベビーモード) を中央に表示して **OK** をタッチする。



MEMO

- ベビーモードではプレRECがONになり、撮影チャンスを逃さないよう3秒前からの映像が自動的に記録されます (231)。プレRECは解除できません。
- 動画はベビーアルバム (45) やインデックス画面 (44) から再生できます。
- ベビーモードでは「同時記録」はできません。また「60P」(録画モード) では記録できません。
- ベビーモードでは「デコレーション」が使えます (74)。

映画のように撮る

シネマ

お好みのシネマルックフィルターを選んで撮影すると、映像の色合いや雰囲気を変えて、映画のワンシーンのように撮ることができます。MP4形式の動画に変換するときにシネマルックフィルターをかけることもできます (121)。

動画形式

AVCHD MP4

撮影モード



AUTO



SCN P

再生

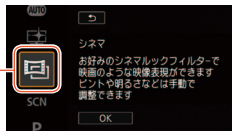


1 撮影モードをタッチする



2 シネマを選ぶ

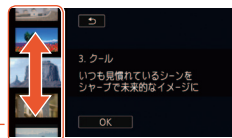
シネマ (シネマ) を中央に表示して [OK] をタッチする。



3 シネマルックフィルターを選ぶ

① いずれかを中央に表示する。

- 画面の表示が、選んだフィルターの色合いに変わる。



② [OK] をタッチする。

別のフィルターに変更するとき

- 撮るモードの画面で、左下の「FILTER X」をタッチする。
- いずれかを中央に表示して [OK] をタッチする。

POINT

シネマリックフィルターの一覧

1. シネマスタンダード

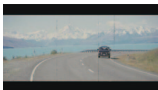
映画のような基本画質。

**3. クール**

見慣れたシーンをシャープで未来的なイメージに。

**5. オールドムービー**

画面に揺れや傷、明滅をつけて映画館のように。

**2. ポップ**

色彩にメリハリをきかせ軽快な印象に。

**4. セピア**

何気ない日常の印象から懐かしい記憶の世界へ。



明るい部分を自然な階調で撮る

高輝度優先

青空や肌、きらきら輝く水面や金属の光沢など、映像の明るい部分が、実際の見た目に近い色味や階調で記録できます。テレビを明るい映像 (画質) 設定にして再生すると、明るい部分の階調が滑らかで、より高精細な映像を楽しむことができます。

動画形式 AVCHD MP4

撮影モード



AUTO



SCN P

再生

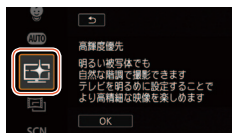


1 撮影モードをタッチする



2 高輝度優先を選ぶ

高輝度優先 (高輝度優先) を中央に表示して [OK] をタッチする。



3 家 → 設定 → 撮影 → 「高輝度優先」を「入」にする

- 実際に近い明るさで映像を確認できる。

MEMO

高輝度優先 (高輝度優先) で撮影した映像を再生するとき

- 本機で再生して見るときは、家 → 設定 → 撮影 → 「高輝度優先」を「入」にする。
- テレビで見るときはテレビの映像 (画質) 設定を明るい設定に、パソコンなどで見るときは画面を明るくすることをおすすめします。

場面や目的に合わせて撮る

撮影モード

撮影時のモードを選んで、場所や被写体に合わせてきれいに撮影できます。

動画形式

AVCHD MP4

撮影モード



AUTO



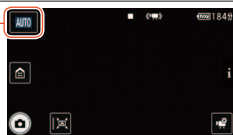
SCN P

再生



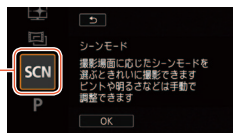
1 撮影モードをタッチする

- 撮影モードはホーム画面から選ぶこともできる。



2 シーンモードを選ぶ

SCN (シーンモード) を中央に表示して [OK] をタッチする。



3 撮影モードを選ぶ

いずれかを中央に表示して [OK] をタッチする。



POINT

「場面に合わせて撮るとき」に選べる項目

📷 ポートレート

背景をぼかして、被写体を引き立たせる。



🏊 スポーツ

動きの速い被写体を撮る。



🌃 夜景

夜景をきれいに撮る。



🎿 スノー

照り返しの強いスキー場で被写体が暗くなるのを防ぐ。



🌊 ビーチ

照り返しの強い海岸で被写体が暗くなるのを防ぐ。



🌅 夕焼け

夕焼けを色鮮やかに撮る。



💡 ローライト

暗い場所で被写体を明るく撮る。



📷 スポットライト

スポットライトが当たった被写体をきれいに撮る。



🎆 打上げ花火

打上げ花火をきれいに撮る。



MEMO

- ポートレート、スポーツ、スノー、ビーチの各モードで撮影した映像を再生すると、なめらかに見えなかったり、ちらつくことがあります。
- ポートレートのときにズームレバーを**T**側にすると、より効果的に背景がぼけます。
- ビーチやスノーのとき、曇りや日陰など周囲が暗いときには、被写体が明るくなりすぎる場合があります。画面で映像をご確認ください。

ローライトについて

- 動きのある被写体は、残像が目立つ映像になることがあります。
- 明るく撮影できる分、通常の撮影に比べて画質が多少劣化することがあります。
- 画面に白い点などが出ることがあります。
- 自動でピント(フォーカス)が合いにくいときは、ピントを調整してください(□91)。

打上げ花火について

打上げ花火を使うときは、手ブレを防ぐために、三脚をお使いになることをおすすめします。

自由に調整して撮る

PプログラムAE

シャッタースピードと絞りが自動で設定され、ビデオカメラまかせで撮影できます。AEとは、Auto Exposure (オートエクスポージャー) の略で、自動露出のことです。

動画形式

AVCHD MP4

撮影モード



AUTO



SCN

P

再生



1 撮影モードをタッチする



2 撮影モードを選ぶ

P (プログラムAE) を中央に表示して **OK** をタッチする。



スロー & ファストモーションで撮る

常時Slow & Fast / 区間Slow & Fast

MP4形式の動画は、動きのある映像を1/2倍で記録（スロー記録）したり、自然観察など時間の経過に伴う変化を間欠的に記録（ファスト記録）したりすることができます。

常時Slow & Fast：ひとつのシーンを同じ倍速のスロー & ファストで記録する

区間Slow & Fast：お好みの区間を等倍や1/2倍速、2倍速のスロー & ファストに切り換えて記録する

スロー & ファストモーションの記録中、等倍の記録部分も含めて音声は記録されません。**HFR82** MP4形式の動画からファストモーション映像を作成することもできます。(123)。

■ 常時Slow & Fastで撮る

スロー & ファストの倍速は、1/2倍から1200倍までの10種類から選べます。また、ファスト記録は間欠記録時間を「1フレーム」または「0.5秒」から選択できます。

動画形式 AVCHD **MP4**

撮影モード



AUTO



SCN P

再生



1 充電したバッテリーを取り付けるかコンパクトパワーアダプター (ACアダプター)をつなぐ

2  をタッチする

- ホーム画面が出る。

3 画質を選ぶ

- 1 設定 (記録設定) を中央に表示してタッチする。
- 2 「録画モード」をタッチする。
- 3 「24Mbps」または「17Mbps」をタッチする。
 - 1/2倍で記録するときは「17Mbps」を選ぶ。
- 4 戻る をタッチする。



4 × をタッチする

5 Slow & Fast モーションを選ぶ

- 1 設定 (Slow & Fast) をタッチする。
- 2 (Slow & Fast) をタッチする。



6 常時Slow & Fastを選ぶ

「常時」をタッチする。



7 倍速を選ぶ

いずれかの倍速をタッチする。

x10 ~ x1200を選んだとき

必要に応じて間欠記録時間を選ぶ。



倍速		間欠記録時間と記録間隔		1分の動画を記録するのにかかる時間
		1フレーム記録	0.5秒記録	
x1/2	スロー	1/60秒ごと		30秒
x2	ファスト	1/15秒ごと		2分
x4		約0.13秒ごと		4分
x10		約0.33秒ごと	5秒ごと	10分
x20		約0.67秒ごと	10秒ごと	20分
x60		2秒ごと	30秒ごと	1時間
x120		4秒ごと	1分ごと	2時間
x300		10秒ごと	2分30秒ごと	5時間
x600		20秒ごと	5分ごと	10時間
x1200		40秒ごと	10分ごと	20時間

8 ×をタッチする

- 画面に☞と選択した倍速が出る。

常時Slow & Fast を解除するとき

- 操作3で「切」をタッチする。
- ×をタッチする。

9 START/STOPボタンを押す

- 撮影が始まる。
- 撮影中は、記録済みの時間*が表示され、「:」が点滅する。

* 倍速が大きいほど、カウントアップが遅くなる。



10

撮影を終了するとき もう一度START/STOPボタンを押す

- 記録が終わる。

■ 区間Slow & Fastで撮る

お好みの区間を等倍や1/2倍（スロー記録）、2倍（ファスト記録*）に切り換えて記録できます。

* ファスト記録の間欠記録時間は「1フレーム」のみ。

動画形式

AVCHD MP4

撮影モード



AUTO



SCN P

再生



1

充電したバッテリーを取り付けるかコンパクトパワーアダプター（ACアダプター）をつなぐ

2

🏠をタッチする

- ホーム画面が出る。

3

画質を選ぶ

- 🔧（記録設定）を中央に表示してタッチする。
- 「録画モード」をタッチする。
- 「17Mbps」をタッチする。
- ⏮をタッチする。



4

✕をタッチする

5 Slow & Fast モーションを選ぶ

- 1 音をタッチする。
- 2 (Slow & Fast) をタッチする。



6 区間Slow & Fastを選ぶ

「区間」をタッチする。



7 倍速を選ぶ

ファスト記録をするとき

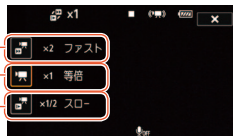
「x2 ファスト」をタッチする。

等倍の記録をするとき

「x1 等倍」をタッチする。

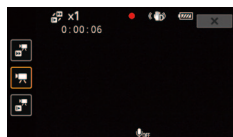
スロー記録をするとき

「x1/2 スロー」をタッチする。



8 START/STOPボタンを押す

- 撮影が始まる。
 - 撮影中は、記録済みの時間*が表示される。
- * ファスト記録のときはカウントアップが遅くなる。
スロー記録のときはカウントアップが速くなる。



9 撮影を終了するとき もう一度START/STOPボタンを押す

- 記録が終わる。

10 ×をタッチする。

- 区間Slow & Fastの設定が解除される。

MEMO

- スロー & ファストモーションの記録中は、音声記録されないため、撮影画面に  が表示されます。
- 区間Slow & Fastの記録中は、倍速が切り換わらないことがあります。そのときは、もう一度操作してください。

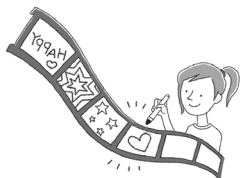
スロー & ファストモーションで記録できない場合

- 撮影モードがシネマのとき。常時Slow & Fastはx1/2以外が使用可能。
- フレームレートが24Pのとき。
- **HFR82** ライブストリーミングリモコンを使用しているとき。

映像をデコレーションする

タッチデコレーション

画面に手書き文字やマーク、アニメーション、背景画像などをデコレーション（飾り付け）して動画を撮影できます。MP4形式の動画に変換するときデコレーションすることもできます（121）。



■ デコレーションして撮る

動画形式 **AVCHD MP4**

撮影モード



AUTO



SCN P

再生



1 デコレーションを選ぶ

- ① 噴をタッチする。
- ② ぬ（デコレーション）をタッチする。
 - ベビーモードのときは、画面のぬをタッチする。

2 デコレーションする

- 各ツールを使ってデコレーションする。



 ペン&スタンプ (📖76)	ペンのツールを使って指で描いたり、スタンプしたりできる。
 アニメーション (📖77)	アニメーションのパターンを選び、好きな位置に配置できる。
 日付/時刻 /  (📖78)	好きな位置に日付や時刻を表示する。ベビーモード時は赤ちゃんの身長や体重などのスタンプも付けられる。
 ミックス画選択 (📖80)	映像とミックス画(フレーム画像)を合成する。

ツールバーを最小化するとき

 をタッチする。 をタッチすると再び出る。

画面の映像を静止するとき

 をタッチする。

- 静止した映像にデコレーションできる。
-  をタッチすると再び映像が出る。

3 START/STOPボタンを押す

- デコレーションと一緒に映像が記録される。
- 撮影中にデコレーションすることもできる。

4 ✕をタッチする

- デコレーションモードの画面が閉じる。

MEMO

- 「アニメーション」は、「日付/時刻」や  (ベビーモード)のスタンプと一緒に使用できません。
- 録画モードを「60P」や「35Mbps」にしているときや、記録方法を「同時記録」(**HFR82**のみ)に設定しているときは、デコレーションできません。

■ 「ペン&スタンプ」でデコレーションする

ペンの太さや色、スタンプの種類や色を選べます。描いた線やスタンプは1画面分のみ保存できます。

動画形式

AVCHD MP4

撮影モード



AUTO



SCN P

再生



1 「ペン&スタンプ」を選ぶ

- ① 74ページの操作2でをタッチする。

ペンやスタンプの種類を選ぶとき
いずれかをタッチする。

色を選ぶとき

- ① をタッチする。
② 好みの色をタッチする。

- ② **OK** をタッチする。



2 指先で描く

描いた「ペン&スタンプ」を消去するとき

- 「クリア」→ 「はい」→ **OK** をタッチする。

消しゴムで消すとき

- ① → または → **OK** をタッチする。
② 線やスタンプの上を指先でなぞる。

描いた「ペン&スタンプ」を保存するとき

- 「 保存」(**HFR82**)または「 保存」(**HFR800**) → 「はい」→ **OK** をタッチする。

- ・ 撮影中／再生中のときは一時停止してから操作する (82)。
- ・ キャンバス上の「ペン&スタンプ」が内蔵メモリー (**HFR82**) またはカード

(HFR800)に保存される。

保存した「ペン&スタンプ」を読み込むとき

🔍 → 「📺読み込み」(HFR82)または「📺読み込み」(HFR800) → 「はい」 → **OK** をタッチする。

- 撮影中／再生中のときは一時停止してから操作する(📺82)。

MEMO

- メモリーを初期化すると、保存した「ペン&スタンプ」は消去されます。
HFR82 ご購入時に内蔵メモリーに保存されているミックス画は消去されません。

■ 「アニメーション」でデコレーションする

ベビーモードにしているときは、専用のアニメーションを使えます。

動画形式 **AVCHD MP4**

撮影モード



AUTO



SCN P

再生



1 「アニメーション」を選ぶ

- 1 74ページの操作2で🔍をタッチする。
- 2 いずれかをタッチする。
- 3 **OK** をタッチする。



2 画面をタッチやドラッグする

- 選んだパターンが表示される。

■ 「日付/時刻」でデコレーションする

動画形式 AVCHD MP4

撮影モード



AUTO



SCN P

再生



* 再生

* ベビーアルバム以外のみ。

1 「日付/時刻」を選ぶ

- 74ページの操作2で☑️をタッチする。
- 表示する項目をすべてタッチする。
 - もう一度タッチすると解除される。
- OK をタッチする。
 - キャンバスに選んだ日時が出る。



2 位置を調整する

表示された日時をドラッグして、好きな位置に移動する。

■ ベビーモード／ベビーアルバムでスタンプをつける

ベビーモードで撮影するとき、またはベビーアルバムから再生するときは、日付、時刻のほか赤ちゃんの生後日数(年齢)や身長、体重を表わすスタンプを付けることができます。赤ちゃんは3人まで登録できます。

動画形式 AVCHD MP4

撮影モード



AUTO



SCN P

再生



* 再生

1 赤ちゃんの情報を登録する

- 74ページの操作2で👤をタッチする。
- いずれかをタッチする。
 - 赤ちゃんごとにスタンプの模様が異なる。



誕生日を登録するとき

- ① 年齢の右の👉→年、月、日をタッチする。
 - 2015年から登録できる。
- ② ▲/▼をタッチ→OKをタッチする。

身長や体重を登録するとき

身長または体重の右の👉→▲/▼をタッチ→OKをタッチする。

2 デコレーションする

- ① 表示する項目をすべてタッチする。
 - もう一度タッチすると解除される。
- ② OKをタッチする。
 - 選んだ項目のスタンプが出る。



3 スタンプの位置を調整する

表示されたスタンプをドラッグして、好きな位置に移動する。



MEMO

- 年齢のスタンプは下記のように表示されます。

生後6日目まで： 「生後〇日」 1週間以上1か月未満：「生後〇週」
 1か月以上1歳未満：「生後〇か月」 1歳以上2歳未満： 「〇歳〇か月」
 2歳以上： 「〇歳」

■ 「画像ミックス」でデコレーションする

画像ミックスはペン&スタンプやアニメーションと組みあわせることもできます。ご購入時、ミックス画は内蔵メモリーに保存されています (HFR82のみ)。カードの動画と合成するときは、まずミックス画をパソコンにダウンロードし、パソコンでカードリーダーなどを使用してカードに保存してください (p248)。

動画形式 AVCHD MP4

撮影モード



AUTO



SCN P

再生



1 HFR82 ミックス画が保存されているメモリーを選ぶ (p58)

2 「画像ミックス」を選ぶ

74ページの操作2でをタッチする。

3 ミックス画を選ぶ

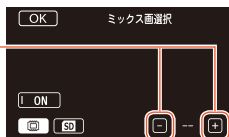
HFR82「動画記録先」がカードのとき

ミックス画が保存されているメモリーをタッチする。

- 1 「+」または「-」をタッチしてミックス画を選ぶ。

- 26種類 (ベビーモード時は20種類) から選ぶ。

- 2 OK をタッチする。



POINT

作った画像をミックス画として使う

カードに記録するときは、自分で作った画像をミックス画として使うことができます。

- ① パソコンで画像を作成する。ミックス画の形式でカードに保存する (📖248)。
 - 映像に置き換えたい部分を緑または青にする。
- ② 🖱️ → 🖼️ → SD をタッチする。
- ③ 「+」または「-」をタッチして、①で保存したファイルの番号を選ぶ。
- ④ ▶️ → 「グリーン」または「ブルー」をタッチする。
- ⑤ バーの左右の◀️または▶️をタッチして切り抜き具合を調整する。
 - バー上をドラッグして調整することもできる。
- ⑥ OK をタッチする。

ミックス画の例



MEMO

- 動画記録／再生中は、ミックス画を選択できません。

■ デコレーションして見る

再生しながら動画にデコレーションできます。デコレーションは記録されません。保存しておいた「ペン&スタンプ」のデコレーションを読み込むこともできます (図76)。

動画形式 AVCHD MP4 撮影モード AUTO SCN P 再生

1 動画のインデックス画面を表示する (図44)

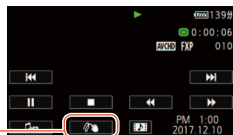
- ベビーモード専用のアニメーション、スタンプ、ミックス画を使ってデコレーションするときは、ベビーアルバムを表示する (図45)。

2 シーンをタッチする

- 再生が始まる

3 デコレーションを選ぶ

- 画面をタッチする。
 - 操作ボタンが出る。
- をタッチする。



4 デコレーションする (図76 ~ 81)

再生一時停止するとき

|| をタッチする。

- 一時停止した映像にデコレーションできる。
- ▶** をタッチすると再び再生する。

ビデオスナップを撮る

4秒間の短い映像（ビデオスナップ）を記録できます。短い映像にすることで、再生時の場面切り換えのテンポが良くなります。音楽と一緒に再生することもできます（[105](#)）。

動画形式

AVCHD MP4

撮影モード



AUTO



SCN P

再生



1 ビデオスナップを選ぶ

- 1 をタッチする。
- 2 (ビデオスナップ) → 「ON」をタッチする。
 - 画面に青い枠が出る。

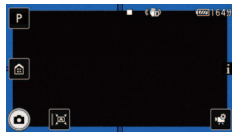
解除するとき 「OFF」をタッチする。



2 ✕をタッチする

3 START/STOPボタンを押す

- 約4秒間撮影し、自動的に撮影が停止する。
- 撮影中は青い枠が動く。



MEMO

- 記録時間は、 → → → 「ビデオスナップ記録時間」で変更できます（[217](#)）。
- 以下の場合、ビデオスナップモードは解除されます。
 - 電源を切る、 (再生) ボタンを操作する、撮影モードを変更するなどしたとき。
 - 動画形式 (AVCHD / MP4) や録画モード、フレームレートを切り換えたとき。
 - スロー & ファストモーションをONにしたとき。

顔を検出してきれいに撮る

フェイスキャッチ&追尾

人物の顔を検出して、自動的にピンツや明るさを調整します。主な被写体を変えたいときは、その人物の顔をタッチします。ペットなどの動いている被写体をタッチすることもできます。

動画形式 AVCHD MP4 撮影モード AUTO SCN P 再生

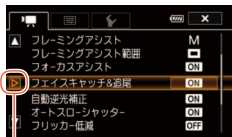
* **AUTO** やベビーモードでは自動的に「フェイスキャッチ&追尾」が「入」になります。

1 をタッチする

- ホーム画面が出る。

2 フェイスキャッチ&追尾を選ぶ

- (セットアップ) を中央に表示してタッチする。
- 「フェイスキャッチ&追尾」をタッチする。
- ON** (入) をタッチする。



解除するとき

OFF (切) をタッチする。

- X** をタッチする。

3 カメラを被写体に向ける

- 主な被写体と判断した顔に白い枠、その他の顔にグレーの枠が表示される。



特定の人を選ぶとき

特定の人物の顔やペットをタッチする。

- タッチした人物の顔に白い2重枠が出る。
- 被写体が動くと、自動で枠も一緒に動く。

解除するとき

「**OFF**」をタッチする。



MEMO

- 人物以外の被写体を、誤って顔として検出することがあります。その場合は「フェイスキャッチ&追尾」を「切」にしてください。
- 被写体の特徴的な部分（色など）をタッチすると追尾しやすくなります。特徴が似ている被写体が周囲にあると、別の被写体を追尾することがあります。そのときは、もう一度被写体をタッチしてください。

顔が検出されない主な例

- 顔が画面全体に対して、極端に小さいか大きい、または暗いか明るいとき。
- 顔が横、斜め、または逆さまのとき。顔の一部が隠れているとき。

フェイスキャッチ&追尾が使用できない場合

- 撮影モードの**SCN**(シーン)を「夜景」、「ローライト」、「打上げ花火」に設定しているとき。
- スロー & ファストモーションがONのとき。
- デジタルズームで228倍を超えて拡大しているとき。
- **HFR82** ライブストリーミングリモコン機能を使って撮影しているとき。

タッチ追尾が働かない場合

- 被写体の大きさが、画面上で非常に小さい、または大きすぎる時。
- 被写体と背景が似ているとき。
- 被写体のコントラストがないとき。
- 高速で動く被写体を撮影するとき。
- 暗い室内などで撮影するとき。

場面の切り換え効果をつける

フェーダー

映画で場面が切り換わるときのように、シーンの始まりと終わりを演出します。思い出のシーンにひと工夫加えてみましょう。

F1 オートフェード



F2 ワイプ



動画形式 **AVCHD MP4**

撮影モード



AUTO



SCN P

再生



1 目的の効果を選ぶ

- 1 噴をタッチする。
- 2 噴 (フェーダー) をタッチする。
- 3 いずれかをタッチする。



フェーダーの色を選ぶとき

「黒」または「白」をタッチする。

フェーダーを使わないとき

OFF (切) をタッチする。

2 ×をタッチする

3 START/STOPボタンを押す

- 撮影が始まり、映像と音声徐徐に出る。

4 START/STOPボタンを押す

- 映像と音声徐徐に消えて、撮影が停止する。
- 撮影中にもフェーダーの設定を変更できる。

MEMO

フェーダーが使用できない場合

- 撮影モードを「シネマ」にしてシネマルックフィルターで「オールドムービー」を選んでいるとき。
 - スロー & ファストモーションがONのとき。
 - デコレーションしているとき。
 - ビデオスナップモードのとき。
 - プレRECが **ON** のとき。
 - 録画モードを「60P」や「35Mbps」に設定しているとき。
 - **HFR82** ライブストリーミングリモコン機能を使って撮影しているとき。
- フェーダーの設定は、電源を切ると **OFF** (切)に戻ります。

明るさを調整する

露出

逆光のときに被写体が黒くなったり、強い光が当たったときに白くとんでしまうことがあります。このようなときは明るさ（露出）の調整をします。タッチした被写体に最適な露出に調整することもできます。

動画形式

AVCHD MP4

撮影モード



AUTO



SCN P

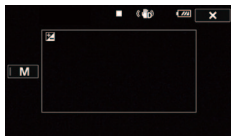
再生



露出を調整する

1 露出を選ぶ

- 1 被写体をタッチする
- 2 露出アイコン（露出）をタッチする。



2 露出を調整する

- 1 M をタッチする
 - メーターが出る。
- 2 ◀または▶ をタッチする。
 - メーターを左右にドラッグして選ぶこともできる。
 - 調整後の明るさで固定される。
 - 明るさによっては数値がグレーになり、調整可能な範囲が変わる。



自動の露出調整に戻るとき

M をタッチする。

3 ×をタッチする

- 露出固定中は、画面に☒と露出の調整値が出る。

■ 被写体をタッチして調整する

1 露出を選ぶ

89ページの操作1を行う。

2 露出を調整する

露出を合わせたい被写体をタッチする。

- タッチした場所に・が点滅して、明るさが自動で調整され、露出が固定される。
- メーターでさらに調整することもできる。

自動の露出調整に戻るとき

Mをタッチする。

3 ×をタッチする

- 露出固定中は、画面に☒と露出の調整値が出る。

MEMO

- 露出を手動で調整後、撮影モードを切り換えたり、スロー & ファストモーションをONにしたりすると自動調整に戻ります。
- ご購入時は「自動逆光補正」が「入」に設定されています。「切」に変更することもできます (P219)。
- シーンモードが「打上げ花火」のときは、使用できません。
- 区間Slow & Fastのときは、使用できません。

ピントを合わせる

フォーカス

自動でピント (フォーカス) が合いにくい場合は、手でピントの調整をします (マニュアルフォーカス)。なお、ズーム操作はピントを合わせる前に行ってください。

動画形式

AVCHD MP4

撮影モード



AUTO



SCN P

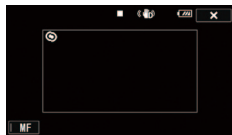
再生



■ ピントを調整する

1 フォーカスを選ぶ

- 1 ❶ をタッチする
- 2 ❷ (フォーカス) をタッチする。

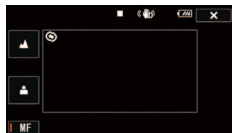


2 ピントを合わせる

- 1 ❶ MF をタッチする。
- 2 ❷ 人または ▲ をタッチして調整する。
 - タッチするたびに、ピント調整の目安として被写体との距離が約2秒間表示される。
 - 画面 → 人 → ❶ → ❷ → 「フォーカスアシスト」が「入」のときは、画面の中央が拡大して表示される。
 - ▲ をタッチし続けて遠くのものにピントを合わせると、画面に ∞ が出る。

自動のピント合わせに戻すとき

MF をタッチする。



3 × をタッチする

- ピント固定中は、画面に MF が出る。

■ 被写体をタッチして調整する

1 フォーカスを選ぶ

91ページの操作1を行う。

2 ピントを合わせる

ピントを合わせたい被写体をタッチする。

- タッチした場所に☆が点滅して、ピントが自動で調整され、ピントが固定される。
- ■または▲をタッチしてさらに調整することができる。

自動のピント合わせに戻るとき

MFをタッチする。

3 ✕をタッチする

- ピント固定中は、画面に**MF**が出る。

POINT

自動でピントが合いにくいときはどんなとき？



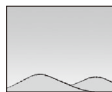
強い光が反射



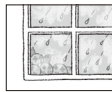
動きが速い



夜景



画面中央の
明暗差がない



水滴が付いた
ガラス越し

MEMO

- ■または▲で手動でピントを調整中でも、表示された枠内をタッチすると、タッチした場所に自動でピントが合います。
- **MF**で花火や山など遠くのものを撮影するときは、∞（無限遠）にあわせることをおすすめします。

色合いを調整する

ホワイトバランス

太陽光や電球など周りの光によって、白い壁や白い紙などはオレンジっぽくなることがあります。そのようなときは、撮影時の光に応じて「白いものを白く」写すように色を調整できます。

動画形式

AVCHD MP4

撮影モード



AUTO



SCN P

再生



1 ホワイトバランスを選ぶ

- 1 設定アイコンをタッチする
- 2 WB (ホワイトバランス) をタッチする。
- 3 いずれかをタッチする。



AWB オート 通常はAWB (オート) *を選択。自動的に自然な色合いに調整される。

太陽光 屋外で撮影するときに選択。

電球 電球や電球色タイプの3波長形蛍光灯のもとで撮影するときに選択。

セット 上記のモードで対応できない場合は、セット (セット) を選ぶ。さまざまな光の下で、白いものを白く写すように調整するとき。

* AWBはオート ホワイト バランスの略です。

セット (セット) を選んだとき

- 1 白紙、白布を画面いっぱいに写す。
 - 2 「白取り込み」をタッチする。
- 設定 (セット) が点滅→消灯に変わったら調整完了。調整されたホワイトバランスは電源を切っても記憶されている。

2 ×をタッチする

MEMO

📷(セット)を選んで調整するとき

- 📷→🔍→「ズーム倍率」が「57x(アドバンスト)」または「1140x(デジタル)」のときは、「32x(光学)」に切り換えてください。
- 場所や明るさが変わったときは再調整してください。
- 光によっては、ごくまれに📷(セット)が点滅→消灯に変わらないことがありますが、自動調整よりも適切なホワイトバランスに調整されていますのでそのままお使いください。

AWB(オート)でうまくいかないとき

次のような条件で撮影するとき、画面の色が不自然なときは📷(セット)で調整をしてください。

- 照明条件が急に変わる場所での撮影。
- クローズアップ撮影。
- 空や海、森など単一色しか持たない被写体の撮影。
- 水銀灯や一部の蛍光灯／LED照明のもとでの撮影。

映像のなめらかさを選ぶ

フレームレート

1秒間に記録されるコマの数(フレームレート)を選ぶことができます。フレームレートによって、記録される動画のなめらかさが変わります。AVCHD形式の動画の場合、通常は**60i**(60i)を選びます。

動画形式

AVCHD MP4

撮影モード



AUTO



SCN P

再生

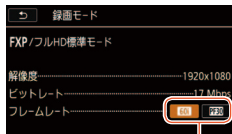


1 ホームをタッチする

- ホーム画面が出る。

2 フレームレートを選ぶ

- 1 (記録設定) を中央に表示してタッチする。
- 2 「録画モード」→ **i** をタッチする。
- 3 いずれかをタッチする。



AVCHD形式：

60i (60i)* テレビ信号と同じように記録する (60フィールドインターレース)。

PF30 (PF30) 映像を30コマ/秒で撮影、60iに変換して記録する。AVCHD形式の動画をインターネットで公開するときなどに便利。

MP4形式：

30P (30P)* 映像を30コマ/秒で撮影して記録する。

24P (24P) 映像を24コマ/秒で撮影して記録する。

* ご購入時の設定。

3 ㄥを2回タッチする

4 ✕をタッチする

MEMO

- 録画モードが「60P」または「35Mbps」のとき、フレームレートは自動的に「60P」になり、変更できません。

近寄って大きく撮る

テレマクロ

テレマクロを使うと、被写体に約50 cm (望遠端時) まで近づいてピントを合わせることができるので、花などの小さな被写体に近寄って拡大して撮影できます。また、テレマクロを使うと背景がぼけるため、被写体を強調したシーンにすることができます。

* **AUTO** (オート) のときは、望遠端付近にズームして被写体に近づくと、自動的にテレマクロが有効になります。

動画形式

AVCHD MP4

撮影モード



AUTO



SCN P

再生



1 テレマクロを選ぶ

① 電源をタッチする

② 「ズーム倍率」→ (テレマクロ) をタッチする。

- 自動的に望遠端までズームされ、近くの被写体へのピント合わせが可能になる。

解除するとき

もう一度 をタッチする。



2 Xをタッチする

MEMO

テレマクロが解除される場合

- 電源を切ったとき。
 -  (再生) ボタンを操作したとき。
 - 撮影モードを **AUTO** やベビーモード、シーンモードの「打上げ花火」に切り換えたとき。
 - ズームレバーを広角側に操作したとき。
- 撮影中はテレマクロをON / OFFできません。

場面に合わせて音の設定を選ぶ

オーディオシーン

内蔵マイクの音質を撮影場面に合わせて選べます。音にこだわった臨場感あふれる動画を簡単に撮影できます。

動画形式 AVCHD MP4

撮影モード



AUTO



SCN P

再生



再生

* ベビーモードでは自動的に「スタンダード」に設定されます。

1 オーディオシーンを選ぶ

- 1 音をタッチする
- 2 AUDIO (オーディオシーン) をタッチする。
- 3 いずれかをタッチする。



STD スタンダード

カメラまかせの標準的な設定。

🎵 音楽

音楽の演奏や歌声を豊かに録音。屋内での演奏や歌声を撮影するとき。

🗣️ スピーチ

声の集音力を高めて録音。スピーチをしている人などを撮影するとき。

🌿 森と野鳥

自然の音の広がり感を鮮明に録音。森や野鳥を撮影するとき。

🚗 ノイズカット

風切音や自動車の走行音を低減して録音。風の強い海辺や騒音の多い所で撮影するとき。

2 Xをタッチする

ヘッドホンを使う

撮影時や再生時にヘッドホンで音声を聞くことができます。

■ ヘッドホンで音声を聞きながら撮影／再生する

Ω (ヘッドホン) 端子は、AV OUT端子と兼用です。

動画形式

AVCHD MP4

撮影モード



AUTO



SCN P

再生

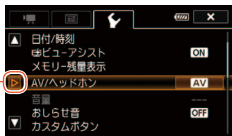


1 家をタッチする

- ホーム画面が出る。

2 ヘッドホンを選ぶ

- 1 設定アイコン (セッアップ) を中央に表示してタッチする。
- 2 設定アイコン → 「AV/ヘッドホン」をタッチする。
- 3 Ω (ヘッドホン) → 設定アイコンをタッチする。



3 Ω (ヘッドホン) 端子にヘッドホンをつなぐ

4 ヘッドホン音量を調整する

- 1 「音量」をタッチする。
- 2 Ω または Ω をタッチして調整する。



5 ×をタッチする

- 情報画面(234)に⓪が出る。
- 調整した位置で音量が固定される。

■ 再生中にヘッドホン音量を調整する

動画形式 **AVCHD MP4**

撮影モード



AUTO



SCN P

再生



* 静止画の場合、スライドショーで音楽と一緒に再生しているときのみ調整できます。

1 再生中 音量を調整する

- 画面をタッチして、操作ボタンを出す。
- 🎵 をタッチする。
- ヘッドホン音量の⓪または⓪をタッチして音量を調整する。



ご注意

- ヘッドホンを使うときは、音量を一度下げてください。
- 「AV/ヘッドホン」を「AV」にしているときは、ヘッドホンを接続しないでください。雑音によって耳を痛めるおそれがあります。

MEMO

- 再生時に設定した「AV/ヘッドホン」は、電源を切ると「AV」に戻ります。
- HFR82** Wi-Fi機能使用中は⓪(ヘッドホン)を選んでも音声は出力されません。

外部マイクを使う

とらえたい音声を確実に記録したいときや、音を録る範囲を指定したいときなど、目的に応じて市販のマイクを使用することで、記録される音声の表現がより豊かになります。

動画形式

AVCHD MP4

撮影モード



AUTO



SCN P

再生



■ 市販のマイクを使う

本機には市販のマイクを取り付けることもできます。電源を内蔵したコンデンサーマイクをお使いください。端子の直径が3.5 mmのステレオマイクなら、多くが使用できます。ただし、録音時の音量は内蔵マイクと異なります。

1 市販のマイクをMIC端子につなぐ

MEMO

- 静かな場所で撮影するときに、内蔵マイクが本体の振動音を收音してしまうことがあります。このような場合は、外部マイクの使用をおすすめします。
- 市販のマイクをMIC端子につなぐと、自動的にマイクレベル (231) のレベルメーターが表示されます。

映像からビデオスナップや写真を作る

撮影した映像から4秒間のビデオスナップを作ったり、写真として切り取ったりすることができます。

■ 映像からビデオスナップを作る

動画形式 **AVCHD MP4**

撮影モード



AUTO



SCN P

再生



SCN P

1 シーンを再生する (P44)

- ビデオスナップを作成するシーンを再生する。

2 START/STOPボタンを押す

- 4秒間のビデオスナップが作成され、再生が一時停止する。
- ビデオスナップ作成中は青い枠が動く。
- 画面上をタッチ→ (ビデオスナップ) をタッチしても作成できる。



3 ■ をタッチして、再生を終える

- 元のシーンと同じ日付の末尾に保存される。

MEMO

- 記録時間は、 →  →  → 「ビデオスナップ記録時間」で2秒、4秒、8秒のいずれかに変更できます (P220)。
- 再生中のみビデオスナップを作成できます。再生一時停止中は作成できません。
- 約1秒未満のシーンのときはビデオスナップは作成できません。再生中のシーンがビデオスナップのときは、作成元となるシーンの記録時間によってはビデオスナップを作成できないことがあります。

- シーンの終わってから約1秒以内の位置で作成すると、次のシーンの先頭からのビデオスナップになります。
- 再生中のシーンから作ったビデオスナップは、再生時、シーンのつなぎ目で映像と音声が入ることがあります。

■ 映像を写真として切り取る（あとからフォト）

撮影した映像から、気に入った場面を静止画として切り取れます。

動画形式 **AVCHD MP4** 撮影モード **AUTO** **SCN P** 再生

1 静止画を切り取る位置で再生一時停止にする

画面をタッチ→をタッチする。

2 をタッチする



3 をタッチして、再生を終える

MEMO

- 記録される静止画のサイズは、1920×1080です。
- 切り取った静止画の撮影日時は、元の動画を撮影したときの日時が設定されます。
- 動きの速い映像を静止画として切り取ると、ブレた静止画になることがあります。
- **HFR82** 静止画は、撮るモードのときに → → 「記録先」→ 「静止画記録先」で選んだメモリーに記録されます。

ビデオを音楽と一緒に再生する

撮りためた映像を好きな音楽と一緒に再生して、短編映画のような映像を楽しむことができます。

動画形式

AVCHD MP4

撮影モード



AUTO



SCN P

再生



映像と一緒に記録された音声(以下「音声」と記載)とビデオカメラ内の音楽(BGM)を合成して再生できます。音声と音楽の合成比率(BGMバランス)を変更することもできます。

1 動画のインデックス画面を表示する(📖44)

2 🏠をタッチする

- ホーム画面が出る。

3 選曲する

- 🔊(セットアップ)を中央に表示してタッチする。
 - 🔊→「BGM選択」→ON(入)をタッチする。
 - ▼または▲をタッチして曲の番号を選ぶ。
- ▶(再生)をタッチすると曲が試聴できる。■をタッチすると停止する。
 - OFF(切)をタッチすると撮影時の音声再生される。



曲を消すとき

- 3の後、🗑️→「はい」をタッチする。

4 BGMバランスを調整する

🔊 または 🎵 をタッチして調整する。

- 🔊 をタッチすると音声が大きくなり、
🎵 をタッチすると音楽 (BGM) が大きくなる。



5 ✕ をタッチする

6 シーンをタッチする

- 映像と音楽が再生される。

再生中にBGMバランスを調整する

- 画面をタッチ→ 🔊 をタッチする。
- 🔊 または 🎵 をタッチして調整→ 🔁 をタッチする。

で注意

- 本機能で複製した音楽著作物は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。責任を持ってご使用ください。

MEMO

音楽ファイルについて

- 音楽ファイルを本機に転送するときは、まずパソコンにダウンロードします (📄247)。
- パソコンにダウンロードした音楽は、AVCHD形式の動画用ソフトウェアTransfer Utility LEを使って転送できます。その際、再生する動画と同じメモリーに保存してください。詳しくは、Transfer Utility LEの取扱説明書 (電子マニュアル) をご覧ください。
- メモリーを初期化すると、パソコンから転送した音楽が消去されます。
HFR82 ご購入時に内蔵メモリーに保存されている音楽は消去されません。

お好みのコマから再生する

タイムライン

1シーンの中からお好みのコマを選んで、選んだコマから再生できます。コマの一覧には一定の時間ごとのコマが表示され、コマの間隔は変更できます。

動画形式

AVCHD MP4

撮影モード



AUTO



SCN P

再生



1 AVCHD形式の動画インデックス画面を表示する (📖44)

2 シーンを選ぶ

- 1 🖱️ をタッチする。
- 2 シーンをタッチする。

3 コマを選ぶ



他のシーンを見るとき

◀または▶をタッチする。

次/前の5つのコマを表示するとき

左右にドラッグする。

コマの間隔を変えるとき

- ① 「6秒」をタッチする。
- ② いずれかをタッチ→👉をタッチする。

インデックス画面に戻るとき

👉を2回タッチする。

4 コマをタッチする

- 再生が始まる。

写真を音楽と一緒に再生する

スライドショー

音楽と一緒に静止画を順番に再生します。テレビにつないで家族や友人と見る
ときなどに便利です。音を出さないで再生することもできます。

撮影モード



AUTO



SCN P

再生



1 静止画のインデックス画面を表示する (📖48)

2 🏠をタッチする

- ホーム画面が出る。

3 選曲する

- 🔊 (セットアップ) を中央に表示してタッチする。
 - ▶ → 「BGM選択」 → ON (入) をタッチする。
 - ▼ または ▲ をタッチして曲の番号を選ぶ。
- ▶ (再生) をタッチすると曲が試聴できる。■ をタッチすると停止する。



曲を消すとき

- ③の後、🗑️ → 「はい」をタッチする。

4 ✕をタッチする

シーンを分割する

AVCHD形式のシーンを分割できます。分割することで、必要な部分だけを残したシーンにできます。

動画形式

AVCHD MP4

撮影モード



AUTO



SCN P

再生



1 シーンを再生する (📺44)

2 再生一時停止にする

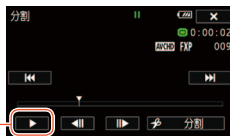
画面をタッチ→⏸をタッチする。

3 分割を選ぶ

編集 → 「分割」をタッチする。

4 分割する位置を決める

- 1 分割する位置を探す。
 - ▶をタッチすると再生する。もう一度タッチすると一時停止になる。



再生中／一時停止中	⏮ / ⏭	シーンの始まりへ／終わりへ
再生中	⏮ / ⏭	早戻し／早送り
一時停止中	⏮ / ⏭	コマ戻し／コマ送り

- 2 分割する位置で一時停止にする。

5 分割する

「✂ 分割」→「はい」をタッチする。

- 分割した元のシーンの次に挿入される。

MEMO

- 分割する位置を決めるときのコマ戻し／コマ送りの間隔は0.5秒です。
- 一時停止した位置で分割できないことがあります。その場合はコマ送りなどで位置を変えてください。
- 再生時、分割したシーンのつなぎ目で映像と音声がかかります。

分割できない場合

- 約3秒未満のシーンのとき。
- シーンの始め、または終わりから約1秒以内の位置のとき。

シーンを切り取る

トリミング

MP4形式のシーンから必要な部分だけ切り取って残すことができます。指定した位置より前または後ろの部分を消して、必要な部分を残せます。

動画形式

AVCHD MP4

撮影モード



AUTO



SCN P

再生



1 シーンを再生する (📺44)

2 再生一時停止にする

画面をタッチ→⏸をタッチする。

3 トリミングを選ぶ

編集 → 「トリミング」をタッチする。

4 切り取る位置を決める

① 位置を探す。

- ▶をタッチすると再生する。もう一度タッチすると一時停止する。



再生中／一時停止中	⏮ / ⏭	シーンの始まりへ／終わりへ
再生中	⏪ / ⏩	早戻し／早送り
一時停止中	⏮ / ⏭	コマ戻し／コマ送り

② 切り取る位置で一時停止にする。

5 シーンを切り取る

- ① 「トリミング」をタッチする。
- ② 「前部を削除」または「後部を削除」をタッチする。
- ③ 「新規保存」または「上書き保存」をタッチする。

「新規保存」を中止するとき

「中止」をタッチする。

MEMO

- 以下のMP4形式のシーンはトリミングできないことがあります。
 - **HFR82** 内蔵メモリーからSDXCメモリーカードにコピーしたシーン。
 - 他機で記録したり、コピーしたりしたシーン。
- シーンの始め、または終わりから約0.5秒以内の位置では、トリミングできません。

サムネイルを設定する

ベビーアルバムのインデックス画面に表示される画像 (サムネイル) を、お好みの場面に設定できます。

動画形式

AVCHD MP4

撮影モード



AUTO



SCN P

再生



1 ベビーアルバムのシーンを再生する

- 1 をタッチする。
 - ホーム画面が出る。
- 2 (ベビーアルバム) を中央に表示してタッチする。
- 3 シーンをタッチする。
 - 再生が始まる。

2 再生一時停止にする

画面をタッチ→ をタッチする。

3 サムネイル設定を選ぶ

→ 「サムネイル設定」をタッチする。

4 設定する場面を選ぶ

① 設定する場面を探す。

- ▶ をタッチすると再生する。もう一度タッチすると一時停止になる。



再生中／一時停止中	⏮ / ⏭	シーンの始まりへ／終わりへ
再生中	⏪ / ⏩	早戻し／早送り
一時停止中	⏸ / ⏹	コマ戻し／コマ送り

② 設定する位置で一時停止にする。

5 サムネイルを設定する

「決定」→「はい」をタッチする。

MEMO

- 設定したサムネイルはベビーアルバムのようにみに反映されます。
- サムネイルを設定したシーンを分割した場合、サムネイルの設定は解除されます。

HFR82 ビデオ／写真をカードにコピーする

撮影した動画や静止画を内蔵メモリーからカードへコピーできます。選んだシーンや静止画、すべてのシーンや静止画をまとめてコピーします。AVCHD形式の動画は特定の日に撮影したシーンをすべて、MP4形式の動画／静止画は日付ごとに作成されたフォルダーごとコピーできます。

■ 動画または静止画をコピーする

動画形式 **AVCHD MP4**

撮影モード



AUTO



SCN P

再生



1 カードスロットにコピー先となるカードを入れる

2 コピー元となる内蔵メモリーのインデックス画面を出す (44、48)

特定の日に撮ったシーンをコピーするとき

左右にドラッグして、コピーするシーンの日付を画面に出す。

3 コピーを選ぶ

編集 → 「コピー」 [ → ] をタッチする。

4 いずれかのコピー方法をタッチする

特定の日の全シーンまたは全静止画をコピーするとき^{*1}(操作6へ)

選んでコピーするとき

すべてコピーするとき^{*2}(操作6へ)



^{*1} MP4形式の動画では、「101_1210」のような日付ごとに作成されたフォルダー名が表示される。

^{*2} 静止画のときは「すべての静止画」が表示される。

5 選んでコピーするとき シーンまたは静止画を選ぶ

① コピーするシーンまたは静止画をすべてタッチする。

- ✓が付く。もう一度タッチすると選択が解除される。



選択をすべて解除するとき 「全解除」→「はい」をタッチする。

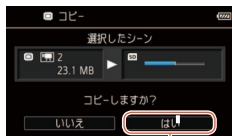
② **実行** をタッチする。

6 カードにコピーする

① 「はい」をタッチする。

中止するとき 「中止」をタッチする。

② **OK** をタッチする。



■ 再生中の静止画をコピーする

撮影モード



AUTO



SCN P

再生



1 カードスロットにコピー先となるカードを入れる

2 静止画を1枚表示する (p48)

- 内蔵メモリーに保存されている静止画を選ぶ。

3 コピーする

- 画面をタッチ→**編集**→「コピー」[→SD]をタッチする。

- コピー画面が出る。
- 左右にドラッグして別の静止画を選ぶこともできる。

- 「実行」→「はい」をタッチする。



4 ×をタッチする

MEMO

コピーできない場合

- カードカバーが開いていたり、カードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているとき。
- カード内のフォルダー数とファイル数が最大になり、新しくファイル番号が作成できないとき (p227)。

MP4形式の動画に変換する

MP4変換

本機で記録したAVCHD形式やMP4形式の動画を、より容量の少ないMP4形式の動画に変換できます。インターネットにアップロードするときなどに便利です。変換するときにシネマリックフィルターをかけて、映画のワンシーンのような色合いや雰囲気の動画に上げたり、BGMを付けたり、デコレーションしたりすることができます。

HFR82 内蔵メモリーに保存されているシーンのみ変換でき、変換したMP4形式の動画はカードに保存されます。

動画形式 AVCHD MP4

撮影モード



AUTO



SCN P

再生



1 動画インデックス画面を表示する (P44)

- **HFR82** 内蔵メモリーのインデックス画面を表示する。
- BGMを付けるときは105ページの操作2～5を行う。

2 MP4変換を選ぶ

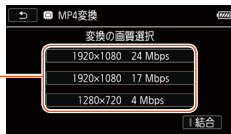
- 1 **編集** → 「MP4変換 [📷➡️📺]」 **HFR82** または「MP4変換」(**HFR800**)をタッチする。
- 2 **OK** をタッチする。



3 変換後の画質を選ぶ

複数のシーンを結合するとき
「結合」をタッチする。

いずれかをタッチする。



4 シーンを選ぶ

① 変換するシーンをすべてタッチする。

- ・シーンが選択され、✓が付く。もう一度タッチすると選択が解除される。

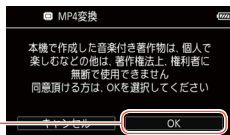
選択をすべて解除するとき

「全解除」→「はい」をタッチする。

② 「実行」をタッチする。

著作権に関する確認画面が出たとき

同意する場合は「OK」をタッチする。

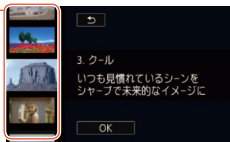


③ 「次へ」をタッチする。

5 好みに合わせて変更する

シネマリックフィルターをかけるとき

- ① FILTER 1 をタッチする。
- ② いずれかを中央に表示して「OK」をタッチする。
- ・解除するときには「FILTER1 ~ 5」をタッチする。



音量やBGMバランスを変更するとき

- ① 🎵 をタッチする。
- ② 調整バーの左右のアイコンをタッチするか、バー上を左右にドラッグする。
- ③ ↺ をタッチする。

デコレーションするとき

🔍 をタッチしてデコレーションする (76 ~ 80)。

- ・シネマリックフィルターとデコレーションは同時に使用できない。

6 変換する

- ① 「START」をタッチする。

中止するとき 「STOP」をタッチする。

- ② OK をタッチする。

MEMO

変換前後の画質とサイズ

変換前 \ 変換後		35 Mbps (1920×1080)	24 Mbps (1920×1080)	17 Mbps (1920×1080)	4 Mbps (1280×720)
AVCHD*	60P(1920×1080)	—	—	—	—
	MXP(1920×1080)	—	○	○	○
	FXP(1920×1080)	—	○	○	○
	LP(1440×1080)	—	○	○	○
MP4	35 Mbps(1920×1080)	—	—	—	—
	24 Mbps(1920×1080)	—	○	○	○
	17 Mbps(1920×1080)	—	○	○	○
	4 Mbps(1280×720)	—	—	—	○

* AVCHD形式の60iで記録した動画は、フレームレートが「30P」に変換されます。

- 記録や消去を繰り返しているカードの場合、データの書き込み速度が低下し、変換が停止することがあります。
- 24Pと30Pのシーンを結合してMP4変換することはできません。

HFR82 ファストモーション映像に変換する

Fastモーション変換

内蔵メモリーに記録したMP4形式の動画を、ファストモーションの動画に変換してカードにコピーします。選択できる倍速と間欠記録時間は、常時Slow & Fast(□68)と同じです。

動画形式

AVCHD

MP4

撮影モード



AUTO



SCN P

再生



1 内蔵メモリーの動画インデックス画面を表示する (□44)

2 Fastモーション変換を選ぶ

[編集] → 「Fastモーション変換 [□ → □]」をタッチする。



3 変換後の画質を選ぶ

複数のシーンを結合するとき「結合」をタッチする。

いずれかをタッチする。



4 倍速を選ぶ

いずれかの倍速 → [OK] をタッチする。

x10 ~ x1200を選んだとき

必要に応じて間欠記録時間を選ぶ。



5 シーンを選ぶ

- ① 変換するシーンをすべてタッチする。
 ・ シーンが選択され、✓が付く。もう一度タッチすると選択が解除される。

選択をすべて解除するとき

「全解除」→「はい」をタッチする。

- ② 「実行」をタッチする。
- ③ 「次へ」をタッチする。

6 変換する

- ① 「START」をタッチする。

中止するとき 「STOP」をタッチする。

- ② 「OK」をタッチする。



MEMO

- 記録や消去を繰り返しているカードの場合、データの書き込み速度が低下し、変換が停止することがあります。

5 保存・共有・鑑賞

テレビで見る.....126

テレビで再生するとき。

さまざまな保存方法.....130

撮影データの保存方法の紹介。

パソコンに保存する.....131

撮影データをパソコンに保存するとき。

Connect Stationにつないで

保存する.....136

Connect StationにUSBで接続して、動画や静止画を保存するとき。

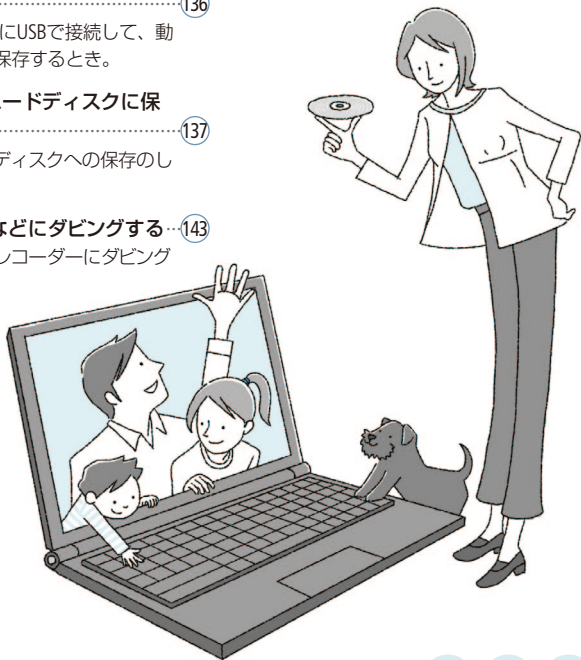
HFR82 外付けハードディスクに保

存して見る.....137

外付けハードディスクへの保存のしかたについて。

BDレコーダーなどにダビングする.....143

動画を市販のレコーダーにダビングするとき。



テレビで見る

HDMI入力端子または映像音声入力端子があるテレビで再生できます。ハイビジョンテレビにつないで美しい映像をお楽しみください。

動画形式

AVCHD MP4

撮影モード



AUTO



SCN P

再生



1 テレビの端子をチェックし、接続方法を決める



2 本機とテレビの電源を切る

3 ケーブルを使ってテレビと接続する

接続方法

A

B

次ページ

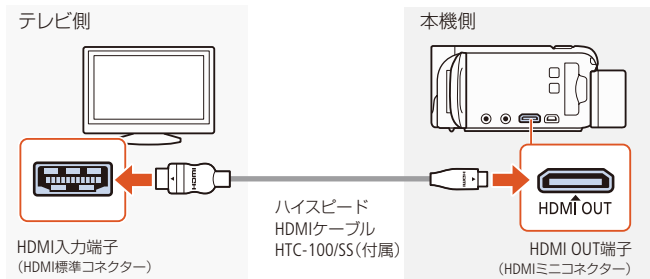
4 本機とテレビの電源を入れる

- テレビ側で入力端子を切り換える。

5 再生する

- 動画を見るとき (📺44) / 静止画を見るとき (📺48)

A ハイビジョン画質で見る HDMI端子に接続する



ご注意

- HDMI OUT端子は出力専用です。他機の出力端子と接続しないでください。故障の原因となります。

MEMO

- HDMI OUT端子で接続していると、AV OUT端子から映像は出力されません。
- DVI対応モニターとの接続は保証していません。
- テレビによっては正しく表示されないことがあります。そのときは、Bの方法で接続してください。

HDMIとは？

1本のケーブルで映像と音声を高品位なデジタル信号のままで送受信できる規格です。本機のHDMI OUT端子では、接続するテレビの解像度に応じて映像を出力します。

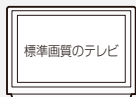
B

標準画質で見る

映像／音声端子に接続する

つなぐ

テレビ側



映像音声入力端子



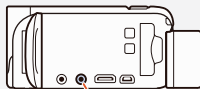
(赤)

(白)

(黄)

ステレオビデオケーブル
STV-250N(別売)

本機側



AV OUT端子



設定する

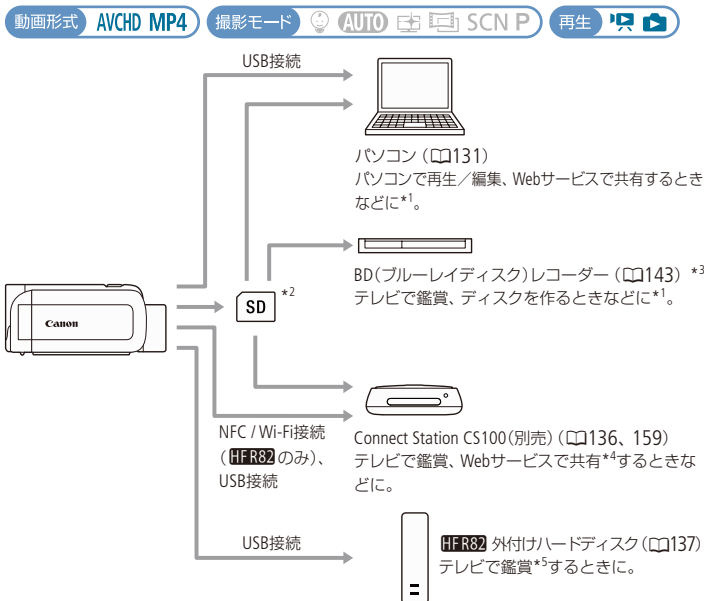
- 1 ワイド (16:9) モードのない標準画質のテレビ (4:3) につなぐときは、
 → → → 「テレビタイプ」(221) を「4:3テレビ」に設定する。
- 2 → → → 「AV/ヘッドホン」(223) を「AV」に設定する。

MEMO

- テレビで見るときは、本機にコンパクトパワーアダプター（ACアダプター）をつなぐと、バッテリーの消耗を気にせずご覧になれます。
- HDMI OUT端子やAV OUT端子にケーブルをつなぐと、スピーカーから音声は出ません。
- **HFR82** Wi-Fi機能使用中は、HDMI OUT端子やAV OUT端子から映像や音声は出力されません。
- 接続方法 **B** でつなぐ場合、テレビがビデオID-1方式に対応していると、自動的にワイド画面（16：9）に切り換わります。切り換わらない場合は、テレビ側で切り換えてください。
- お使いのカードに対応したカードスロットがあるAVCHD規格対応*のテレビやレコーダーで、AVCHD形式の動画を記録したカードを再生できます。詳しくはお使いの機器の説明書をご覧ください。
* AVCHD規格に対応した機器でも、機器によっては正しく再生できないことがあります。その場合は本機で再生してください。
- （高輝度優先）で撮影した映像をテレビで見るときは、テレビの映像（画質）設定を明るい設定にすることをおすすめします。
- テレビによっては、映像の周辺部分が表示されないことがあります。

さまざまな保存方法

ここでは本機で撮影した動画や静止画の保存のしかたを紹介します。撮影データの楽しみ方に応じて選択してください。



*1 パソコン／BDレコーダーへの保存後に行えることは、使用している機器およびソフトウェアによって異なる。

*2 **HFR82** 内蔵メモリーの撮影データは、カードにコピー (117) する必要がある。

*3 MP4形式の動画は保存できないことがある。

*4 CS100同士またはCANON iMAGE GATEWAYを使った共有が可能。

*5 再生時はビデオカメラ本体との接続が必要。

パソコンに保存する

撮影した動画や静止画を万が一に備えてパソコンに保存（バックアップ）しましょう。AVCHD形式の動画はTransfer Utility LE^{*1}、MP4形式の動画／静止画はCameraWindow DC^{*2}を使って保存します。

^{*1} PIXELA社製のAVCHD形式の動画用ソフトウェア。

^{*2} MP4形式の動画／静止画用ソフトウェア。



■ AVCHD形式の動画を保存する（Windows ／ Mac OS）

動作環境およびインストール方法については、株式会社ピクセラのウェブサイト（下記）をご覧ください。

動画形式 **AVCHD MP4**

撮影モード



AUTO



SCN P

再生



準備する

ソフトウェアTransfer Utility LEをダウンロードしてインストールします。ダウンロードには、インターネット接続が必要です。詳しくはスタートガイド（付属）のTransfer Utility LEスタートアップガイドのページをご覧ください。

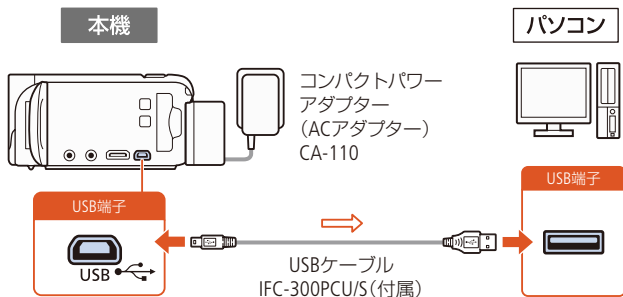
1 パソコン ソフトウェアをダウンロードする

- 1 Transfer Utility LEの圧縮ファイルを株式会社ピクセラのウェブサイトからダウンロードする。
http://pixela.jp/cjtule_dl
- 2 圧縮ファイルを、インストーラと取扱説明書（PDF形式の電子マニュアル）に展開する。

2 パソコン ソフトウェアをインストールする

- 株式会社ピクセラのウェブサイト(□131)のインストール方法に従って操作する。

パソコンに保存する



1 本機 コンパクトパワーアダプター (ACアダプター)をつなぐ

2 本機 見るモードにして、AVCHD形式の動画インデックス画面を表示する(□44)

- 内蔵メモリー (HFR82 のみ) またはカードのインデックス画面に切り換える。

3 本機とパソコンを付属のUSBケーブルでつなぐ

「接続機器を選択してください」が出たとき 「パソコン」をタッチする。

4

パソコン Transfer Utility LEを起動してパソコンに保存する

- Windowsの場合、パソコンの画面に「自動再生」ダイアログが出たときは閉じる。
- ① 右のアイコンをダブルクリックする。
- パソコンの画面にTransfer Utility LEの起動画面が出る。
- ② 画面の案内に従って操作する。

参考 ▶ Transfer Utility LEの取扱説明書（電子マニュアル）

**MP4形式の動画／静止画を保存する（Windows／Mac OS）**

動作環境はキヤノンのウェブサイトをご覧ください。

動画形式 AVCHD **MP4**

撮影モード



AUTO



再生

**準備する**

ソフトウェアCameraWindow DCをインストール*しましょう。すでにインストールされているときでも再度インストールしてください。カメラに最適な更新や新しい機能をオートアップデート機能により追加できることがあります。

* インターネットに接続されているパソコン（WindowsまたはMac OS）にインストールできます。

1

パソコン ソフトウェアをダウンロードする

- ① 下記のウェブサイトから「CameraWindow DC」をダウンロードする。
www.canon.com/icpd
「Japan」を選んだ後、ダウンロードページへ進んでください。

2

パソコン ソフトウェアをインストールする

ダウンロードしたファイルをダブルクリックしてインストールする。

パソコンに保存する

1 本機 コンパクトパワーアダプター (ACアダプター)をつなぐ

2 本機 見るモードにして、MP4形式の動画または静止画のインデックス画面を表示する (□44、48)

- 内蔵メモリー (HFR82のみ)またはカードのインデックス画面に切り換える。

3 本機とパソコンを付属のUSBケーブルでつなぐ

「接続機器を選択してください」が出たとき
「パソコン」をタッチする。

Windowsの場合

パソコンの画面に表示される「自動再生」ダイアログで、「画像をキャノンカメラからダウンロードします」をクリックする。

- CameraWindow DCのメニュー画面が出る。

Mac OSの場合

- 自動的にCameraWindow DCが起動して、メニュー画面が出る。自動的に起動しない場合には、手動で起動する。
- 選択画面が出たら、ビデオカメラの型名を選ぶ→「OK」をクリックする。

4 パソコン MP4形式の動画／静止画を保存する

- 「カメラ内の画像の取り込み」→「未転送画像を取り込む」を選ぶ。
- パソコンに保存していない撮影データの転送が始まり、終了すると完了画面が出る。

中止するとき 「キャンセル」をクリックする。

- 「OK」をクリック→CameraWindow DCを終了する。

ご注意

- パソコンに接続しているときは次のことを必ず守ってください。
 - カードカバーを開けない。
 - カードを抜き差ししない。
 - パソコンから本機のメモリー内のフォルダーやファイルを直接操作しない。記録したデータが破損するおそれがあります。AVCHD形式の動画はTransfer Utility LEを、MP4形式の動画／静止画はCameraWindow DCを使ってパソコンに保存することをおすすめします。
 - Windowsのスリープ／休止状態や、Mac OSのスリープ機能を使用しない。
- 大切な元のデータを消さないために、画像は必ずパソコンにコピーし、コピーした画像をパソコンで使用してください。

MEMO**CameraWindow DCをアンインストールするには**

Windows：「コントロールパネル」＞「プログラムと機能」＞「Canon Utilities CameraWindow DC 8」＞「アンインストールと変更」をクリック
→「OK」をクリック。

Mac OS：「アプリケーション」＞「Canon Utilities」＞「CameraWindow」をゴミ箱にドラッグ&ドロップ。

- 以下のMP4形式のシーンは、パソコンでは複数のファイルとして認識されます。
 - データ容量が4GBを超えるもの。
 - 録画モードが「35Mbps」で30分以上のもの、または「35Mbps」以外で1時間以上のもの。
- パソコンによっては正しく動作しなかったり、保存した動画を正しく再生できないことがあります。
- CameraWindow DCのバッテリー残量*は、実際の残量にかかわらず常に「充分」と表示されます。
* コンパクトパワーアダプター（ACアダプター）を使用しないときに表示される。

Connect Stationにつないで保存する

本機とConnect Station CS100 (別売) を付属のUSBケーブルでつないで、撮影した動画や静止画をCS100に保存することができます。CS100に保存した撮影データは、アルバムに整理したり、テレビで鑑賞したり、Webサービスで共有したりして楽しむことができます。CS100の詳細については、CS100の使用説明書をご覧ください。

HFR82 本機をCS100にタッチさせてワイヤレスで保存することもできます (P159)。



1 本機 コンパクトパワーアダプター (ACアダプター)をつなぐ

2 本機 見るモードにする

3 本機 USBの接続方法を選ぶ

- ① → → → 「USB接続設定」をタッチする。
- ② 「 Connect Station」または「 接続時に選択」をタッチする。
- ③ をタッチする。

4 本機とCS100を付属のUSBケーブルでつなぐ

「接続機器を選択してください」が出たとき
「Connect Station」をタッチする。

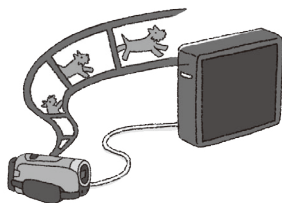
- 接続が完了すると、自動的に本機内の撮影データがCS100に保存される。
- 保存の終了はCS100で確認できる。

参考 ▶▶ CS100の使用説明書

5 USBケーブルを抜く

- 本機の画面にインデックス画面が出る。

HFR82 外付けハードディスクに保存して見る



本機と市販の外付けハードディスク（HDD）をUSBケーブルで接続すると、撮影した動画や静止画を、パソコンを使わずに保存（コピー）できます。また、本機を操作して、外付けハードディスクに保存した動画や静止画を見することもできます。なお、はじめて外付けハードディスクを使用する場合は、本機での操作による初期化が必要です（[P.141](#)）。

動画形式 **AVCHD MP4**

撮影モード



AUTO

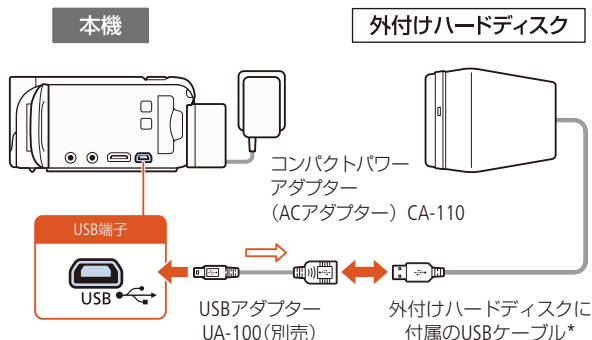


SCN P

再生



■ 外付けハードディスクに保存する



* お使いのUSBケーブルが本機のUSB端子に接続できない場合は、USBアダプター UA-100 (別売)を使用してください。

1 本機 コンパクトパワーアダプター (ACアダプター)をつなぐ

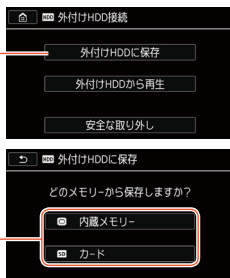
2 本機 見るモードにする

3 本機と外付けハードディスクをつなぐ

- USBケーブル (付属)とUSBアダプター UA-100(別売)を使ってつなぐ。

4 本機 メモリーを選択する

- 1 「外付けHDDに保存」をタッチする。
 - 2 「内蔵メモリー」または「カード」をタッチする。
- 保存する動画・静止画が記録されているメモリーを選ぶ。



5 本機 外付けハードディスクに保存する

- 1 「はい」をタッチする。
- 外付けハードディスク内にフォルダー (保存先フォルダー)が作成され、選んだメモリーの動画、静止画、音楽ファイルが保存される。
 - 保存先フォルダー名称は、保存した日 (例: 2017.12.10)になる。



中止するとき 「中止」→「はい」をタッチする。

- 2 「OK」をタッチする。

POINT

外付けハードディスクを安全に取り外すには

外付けハードディスクを取り外すときは、データの破損を防ぐため、安全な取り外しを行ってください。

- ① 「安全な取り外し」をタッチする。
- ② 「はい」をタッチ→USBケーブルを抜く。



ご注意

- 外付けハードディスクを接続するときは、必ず本機にコンパクトパワーアダプター（ACアダプター）をつないでください。接続中に本機からコンパクトパワーアダプターが外れると、接続が切断され、ハードディスク内のデータが破損するおそれがあります。

MEMO

保存先フォルダーについて

- 同じ日に複数回保存したときは、保存先フォルダーの名称の末尾に保存順を示す番号（「-1」、「-2」・・・）が付けられます。
- 同じ日に作成できる保存先フォルダーの数は、10フォルダーです。また、同じ外付けハードディスク内に作成できる保存先フォルダーの総数は300フォルダーです。
- 以下の機器は使用できません。
 - USBからの給電で動作するポータブルハードディスク
 - 2TB（テラバイト）を超える容量の外付けハードディスク
 - 一般的なUSBメモリーやカードリーダー
- 複数のドライブにパーティション分け（区分け）された外付けハードディスクをお使いの場合、先頭のドライブしか認識しません。

■ 外付けハードディスクから再生する

外付けハードディスクに保存した動画や静止画を、本機で再生することができます。

1 本機と外付ハードディスクをつなぐ

- 138ページの操作1～3を行う。

2 本機 再生する

- ① 「外付けHDDから再生」をタッチする。
 - 保存した日付の一覧が表示される。
- ② 再生する日付をタッチする。
- ③ シーンまたは静止画をタッチして再生する。

再生フォルダーを切り換えるとき

📁 → 再生する日付をタッチする。

シーンや静止画を消すとき (📖51)

再生フォルダーを消すとき

- ① 🏠 → 📁 → 🗑️ → 「フォルダー消去」をタッチする。
- ② 「はい」をタッチする。
 - 中止するときは「中止」をタッチする。
- ③ (OK) をタッチする。



3 安全に取り外す

- ① 📁 → 🗑️ をタッチする。
 - 操作2で再生フォルダーを消したときは、この操作は不要。
- ② 安全に取り外す (📖139)。

ご注意

- 保存先フォルダーを消すとフォルダー内のすべてのデータが消去されるため、消す前に確認してください。

■ 外付けハードディスクを初期化する

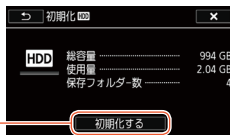
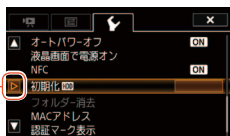
外付けハードディスクをはじめて使用するときや、外付けハードディスクに保存した動画や静止画の情報を消す時に初期化します。初期化には「初期化」と「完全初期化」があり、データを完全に消去する必要があるときは「完全初期化」を選びます。

1 本機と外付ハードディスクをつなぐ

- 138ページの操作1～3を行う。
- 初期化中はコンパクトパワーアダプター（ACアダプター）を取り外さない。

2 本機 初期化を選ぶ

- 1 本機アイコンをタッチする。
- 2 設定アイコン（歯車）を中央に表示してタッチする。
- 3 設定メニューから「初期化（HDD）」をタッチする。
- 4 「初期化する」をタッチする。

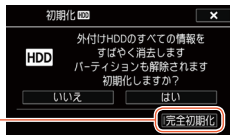


データを完全に消去するとき

「完全初期化」をタッチする。

- 外付けハードディスクの容量によっては、数時間かかることがある。

- 5 「はい」をタッチする。



完全初期化を中止するとき 「中止」をタッチする。

6 をタッチする。

3 安全に取り外す (📖139)

ご注意

- 初期化すると、外付けハードディスク内のすべての情報（本機および他機から保存したデータも含む）が消え、元に戻せません。残しておきたいデータがある場合は、パソコンなどにバックアップしてから初期化してください。また、パーティション（区分け）の有無にかかわらず、外付けハードディスクのすべての領域が初期化されます。

BDレコーダーなどにダビングする

撮影した映像をBD（ブルーレイディスク）レコーダーやDVDレコーダーなどにダビングすることができます。



■ ハイビジョン画質のままダビングする

レコーダーがお使いのカードに対応するSDカードスロットを備えていれば、カードからハイビジョン画質のままダビングできます。

HFR82内蔵メモリーに記録した動画は、カードにコピー（117）してからダビングしてください。

なお、本機との動作確認については、お使いのレコーダーの説明書などでご確認ください。

MEMO

- 本機とBDレコーダーをUSBケーブルでつないでダビングすることはできません。

■ 標準画質に変換してダビングする

本機で撮った動画を映像／音声端子付きのDVDレコーダーなどにダビングできます。画質は標準画質に変換されます。



1 本機とレコーダーをステレオビデオケーブルSTV-250N(別売)でつなぐ

参考 ▶「映像／音声端子に接続する」(128)

2

本機 コンパクトパワーアダプター (ACアダプター)をつなぐ

3

本機 動画のインデックス画面を表示する (📖44)

4

本機 設定を確認する

- 🏠→⚙️→🔊→「AV/ヘッドホン」が「AV」になっていることを確認する (📖223)。

5

レコーダー 録画一時停止状態にする

6

本機 シーンをタッチして再生する

- 🏠→⚙️→🕒→「日時表示」で、画面の日時表示を変更できる (📖221)。

7

レコーダー 録画を始める場面で録画する

8

レコーダー 録画を終える

9

本機 再生を終える

画面をタッチ→■をタッチする。

MEMO

- 60P、MXPモードの動画はAVCHD Ver.2.0に準拠したBDレコーダーにダビングできません。

HFR82 Wi-Fi(無線接続)

Wi-Fiで何ができるの?146

Wi-Fi機能を使ってできることを紹介。

スマートフォンなどをリモコンに して撮る148

離れた場所のビデオカメラをスマートフォンから操作して撮影したいとき。

スマートフォンなどに保存する156

スマートフォンなどに保存したいとき。

Connect Stationに保存する159

撮影データをConnect Station CS100
(別売)に保存したいとき。

Webサービスで共有する161

動画や静止画をWebサービスで公開
したいとき。

アクセスポイントにWi-Fi接続する168

Wi-Fi設定を表示／変更する174

用語の説明176

用語の意味を知りたいとき。



Wi-Fiで何ができるの？

無線でスマートフォンなどと接続し、動画や静止画を他機に保存したり、Webサービスにアップロードしたりできます。Wi-Fi関連の用語については「用語の説明」(176)をご覧ください。



スマートフォンやタブレット (iOS / Android)

- スマートフォンやタブレットをリモコンとして使って撮る (148)。
- スマートフォンやタブレットなどに保存 (156)



Connect Station CS100(別売)

- 撮影データを保存、再生、共有。NFCを使って簡単にWi-Fi接続可能 (159)。



CANON iMAGE GATEWAY

- アクセスポイント経由でCANON iMAGE GATEWAYやYouTubeなどのWebサービスにアップロード (161)。

■ Wi-Fi機能を使う前に

Wi-Fi接続には、スマートフォンなどのWi-Fi機器と直接接続する方法と、アクセスポイント（無線親機）*1を使用して接続する方法の2つがあり、使用するWi-Fi機能によってどちらかに決まります。使いたい機能を選んで画面に従って操作して接続します。

また、お使いのスマートフォンなどがNFC*2に対応するときは、本機にタッチするだけで簡単にWi-Fi接続することができます*3。

*1 無線LAN親機、無線LANルーターなど、メーカーによって名称が異なることがあります。

*2 近距離無線通信の国際標準規格。Near Field Communicationの略。

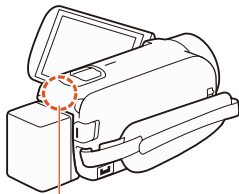
*3 NFCに対応するAndroid機器（Android 4.1 / 4.2 / 4.3 / 4.4 / 5.0 / 5.1 / 6.0）のみ。

ご注意

- セキュリティで保護されていない無線LANやネットワーク環境に接続することは避けてください。お客様の個人情報などのデータが第三者に漏洩する危険性があります。

MEMO

- Wi-Fi機能使用時は充電したバッテリーやコンパクトパワーアダプター（ACアダプター）を使用することをおすすめします。
- Wi-Fi接続中は、内蔵ワイヤレスアンテナ付近を手などで覆わないでください。通信電波がさえぎられ、Wi-Fiの通信状態が悪くなります。
- Wi-Fi接続中は、カードカバーを開けないでください。
- Wi-Fi機能使用中は、 →  →  → 「オートパワーオフ」は動きません。



ワイヤレスアンテナ（内蔵）

スマートフォンなどをリモコンにして撮る

ライブストリーミングリモコン

CameraAccess plus*を使うと、離れた場所にあるビデオカメラの映像を手元のスマートフォンなどで見ながらビデオカメラに記録できます。宅内モードではスマートフォンなどに保存することもできます。お使いの機器がNFCに対応（[Q147](#)）していれば、簡単な操作で接続できます。

* 株式会社ピクセラから、アップル社のApp StoreまたはGoogle™社のGoogle Play™を通じて無料で提供されるソフトウェア（アプリ）。



動画形式

AVCHD MP4

撮影モード



AUTO



SCN P

再生



■ 家の中で操作する（宅内モード）

家の中などで離れた場所に設置したビデオカメラの映像を、スマートフォンなどの画面で見ながら操作できます。

1 スマートフォンなど 最新のCameraAccess plusをインストールする

iOS機器

[https://
appstore.com/
cameraaccessplus](https://appstore.com/cameraaccessplus)



Android機器

[https://play.google.com/
store/apps/details?id=jp.
co.pixela.cameraaccessplus](https://play.google.com/store/apps/details?id=jp.co.pixela.cameraaccessplus)



- NFC対応機器は、本機にタッチ（[Q149](#)）してインストールすることもできる。
- 2回目から、この操作は不要。

2 本機 宅内モードを選ぶ

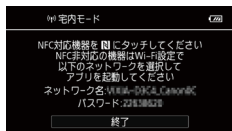
- ① 撮るモードで  をタッチする。

- ホーム画面が出る。

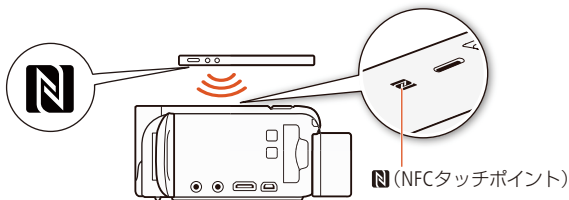
- ② （ライブストリーミングリモコン）を中央に表示してタッチする。

- ③ （宅内モード）を中央に表示して **OK** をタッチする。

- 画面に「ネットワーク名」と「パスワード」が表示され、スマートフォンからの接続待ち状態になる。



3 NFC対応機器 NFCを使って、本機とWi-Fi接続する



- ① NFC対応機器^{*1}のN (NFCタッチポイント)を、本機のNにタッチする。
- それぞれのNFCタッチポイントの中央を合わせてタッチする。反応がないときは、タッチしたまま位置をずらす。
 - NFC対応機器から音が鳴り^{*2}、CameraAccess plusが自動的に起動する。

^{*1} NFCタッチポイントのマーク、位置や、NFC機能の詳細については、お使いの機器の説明書をご覧ください。

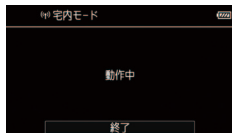
^{*2} お使いの機器の仕様や設定によっては音が鳴らないことがあります。

- ② 画面の「OK」をタッチする。

- 本機の画面に「動作中」が出たら、Wi-Fi接続完了。
- NFC対応機器のCameraAccess plus上に本機の映像が表示される。

NFC非対応機器 Wi-Fiで本機に接続して、CameraAccess plusを起動する

- ① 設定画面でWi-Fiを有効にする。
 - 見つかったWi-Fiネットワークが一覧表示される。
- ② 本機の画面に表示されているネットワーク名をタッチする。
- ③ パスワードを入力して接続する。
 - 本機の画面に「動作中」が出たら、接続完了。
 - 2回目からは、③の操作なしで自動的に接続される。
- ④ 操作1でインストールしたアプリ CameraAccess plusを起動する。



4 スマートフォンなど 画面上で操作して撮影する

5 本機「終了」をタッチする。

- 宅内モードが終了する。

MEMO

NFC対応機器を使うとき

- タッチするとき、本機に強く当てないでください。本機やNFC対応機器に傷が付くことがあります。
- 本機やNFC対応機器にケースなどを付けていると、通信できないことがあります。
- 鞆の中で本機とスマートフォンが接触することにより、意図せず本機の電源が入ることがあります。🏠→📶→🔌→「NFC」を「切」にすると防止できます。

■ 屋外から操作する（宅外モード）

屋外にいるとき、家の中に設置したビデオカメラの映像をスマートフォンなどで見たり、ビデオカメラに記録できます。

「宅外モード診断」ではWi-Fi環境で宅外モードを使用できるかどうかの目安を確認できます（Windowsのみ）。詳しくは株式会社ピクセラのウェブサイトをご覧ください。

<http://pixela.jp/cjrmc>

* 宅外モードを使用する場合、UPnP(Universal Plug and Play)対応のアクセスポイントと、グローバルIPアドレスが取得可能なインターネット接続環境が必要です。

準備する

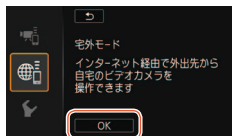
例 初めて宅外モード設定やアクセスポイントへの接続を行う場合

1 スマートフォンなど CameraAccess plusをインストールする（148）

- CameraAccess plusをインストール済みの場合、この操作は不要。

2 本機 宅外モードを選ぶ

- 1 撮るモードで  をタッチする。
 - ホーム画面が出る。
- 2 （ライブストリーミングリモコン）を中央に表示してタッチする。
- 3 （宅外モード）を中央に表示して  をタッチする。



3

本機 パスワードとポート番号を設定する

- 宅外モード設定が済んでいるときはこの操作は不要。

- ① **OK** をタッチする。
- ② パスワード入力エリアをタッチする。
- ③ 4～8文字の英数字*を入力して **OK** をタッチする。

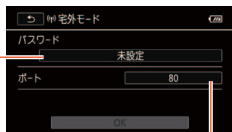
* 宅外モード使用時に必要なパスワード。8文字（英数字混合）で設定することをおすすめします。

- ④ ポート番号入力エリアをタッチする。
- ⑤ ポート番号を入力して **OK** をタッチする。

参考 ▶ 「文字入力のしかた」(154)

- 通常は「80」を使用し、必要に応じて変更。

- ⑥ **OK** をタッチする。

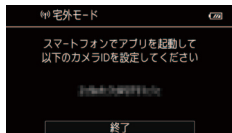


4

本機 アクセスポイントに接続する

- アクセスポイントが1つ登録済みのときは、自動的に接続される（操作5に進む）。
- 複数のアクセスポイントを登録しているときは、表示される接続先を確認して **OK** をタッチする（操作5に進む）。接続先を変更するときは、「接続先変更」→好みの接続先→ **OK** をタッチする。
- アクセスポイントが未登録のときは、「アクセスポイントを登録します」が出る。

- ① **OK** をタッチする。
 - ② 「アクセスポイントにWi-Fi接続する」(168) の手順に沿って、アクセスポイントに接続する。
- 右の画面が表示されたら、接続完了。



5 カメラIDとパスワードを登録する

NFC対応機器のとき

- 1 NFC対応機器の（NFCタッチポイント）を、本機の（NFCタッチポイント）にタッチする（149）。
- NFC対応機器から音が鳴り*、CameraAccess plusが自動的に起動する。
- 本機とNFC対応機器がWi-Fi接続し、NFC対応機器にカメラIDが設定される。
- * お使いの機器の仕様や設定によっては音が鳴らないことがあります。
- 2 NFC対応機器のWi-Fiをオフにする旨のメッセージが出たら、「Wi-Fiをオフする」または「Wi-Fiをオフしない」→「決定」をタッチする。
- 本機とNFC対応機器のWi-Fi接続が解除され、本機が自動的にアクセスポイントにWi-Fi接続する。
- NFC対応機器で引き続きWi-Fiを使用するときは、「Wi-Fiをオフしない」を選ぶ。

NFC非対応機器のとき

- カメラIDを登録済みの場合、この操作は不要。
- 1 本機と同じアクセスポイントに接続する。
 - 2 CameraAccess plusを起動する。
 - 3 「設定」→「開始」をタッチする。
 - カメラIDがスマートフォンに登録される。
 - 4 「終了」をタッチする。
 - 5 アクセスポイントの接続を解除する。

宅外モードで撮影する

1 スマートフォンなど 本機に接続して撮影する

- 1 屋外でCameraAccess plusを起動する。
- 2 「開始」をタッチ→パスワード（152）を入力→「接続」をタッチする。
- 3 CameraAccess plusの画面で操作して撮影する。

2 本機「終了」をタッチする

- 宅外モードが終了する。

POINT

文字入力のしかた

手で文字入力が必要なときは、キーボードが表示されます。



①	OK	入力の決定→キーボードの終了
②	—	入力フィールド
③	—	文字入力キー
④	123 / ABC	アルファベット／数字の切り換え
⑤	キャンセル	入力の中止
⑥	◀ ▶	カーソル移動キー
⑦	—	スペースキー
⑧	←	バックスペースキー（カーソルの左の文字を削除）
⑨	A/a / #%? / *&+	アルファベット入力時：大文字／小文字の切替 数字入力時：記号入力

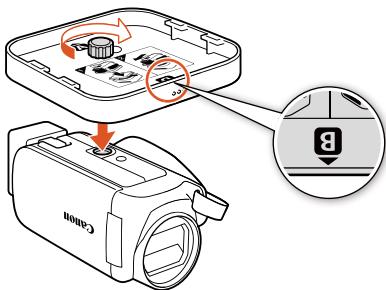
MEMO

- CameraAccess plusの詳細については、株式会社ピクセラのウェブサイトをご覧ください。
<http://pixela.jp/cjcap>
- ライブストリーミングリモコンで撮影中、撮影モードは自動的に**AUTO**になります。
- フレームレートを24Pに設定していても、30Pで記録されます。
- 記録設定が次のときは、本機能を使用できません。
 - 録画モードが「60P」または「35Mbps」のとき。
 -  →  → 「同時記録/リレー記録」で「同時記録」や「リレー記録」を選んでいるとき。
- お使いの回線や電波の状況によっては、映像が途切れたり、反応が遅くなったりすることがあります。



カメラパンテールCT-V1(別売)について

- CT-V1を使うと、CameraAccess plus をインストールしたスマートフォンなどをリモコンとして使って、本機の向きを左右に振って（パン）撮影できます。
- CT-V1を取り付ける向きはビデオカメラによって異なります。カメラベース（裏側）のの方向に本機のレンズを向けてください。詳しくは「カメラパンテールCT-V1 使用説明書」をご覧ください。



スマートフォンなどに保存する

Camera Connect

スマートフォンやタブレットにCamera Connect*¹をインストールすると、MP4形式の動画／静止画をスマートフォンやタブレットに保存できます。また、保存する前に動画／静止画の内容を確認（プレビュー）*²することもできます。

*¹ キヤノンから、アップル社のApp StoreまたはGoogle™社のGoogle Play™を通じて無料で提供されるソフトウェア（アプリ）

*² 動画の録画モード（56）によっては、お使いのスマートフォンやタブレットで保存前に動画の内容を確認（プレビュー）できません。



動画形式

AVCHD

MP4

撮影モード



AUTO



SCN P

再生



1 スマートフォンなど 最新のCamera Connectをインストールする

- iOS機器のときはApp Storeからダウンロードして、インストールする。
- Android機器のときはGoogle Play™からダウンロードして、インストールする。
- NFC対応機器は、本機にタッチ（157）してインストールすることもできる。
- 2回目から、この操作は不要。

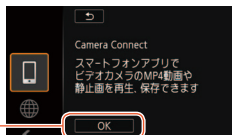
2 本機 動画のインデックス画面で をタッチする

- ホーム画面が出る。

3

本機 Camera Connectを選ぶ

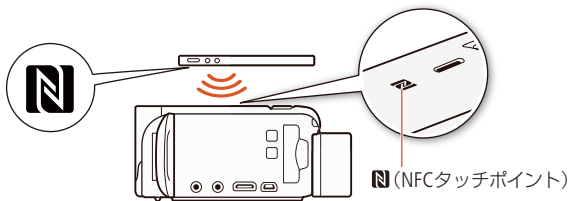
- 1 (Wi-Fi)を中央に表示してタッチする。
- 2 (Camera Connect)を中央に表示して「OK」をタッチする。



- 画面に「ネットワーク名」と「パスワード」が表示され、スマートフォンなどからの接続待ち状態になる。

4

NFC対応機器 NFCを使って、本機とWi-Fi接続する



- 1 NFC対応機器^{*1}のN (NFCタッチポイント)を、本機のNにタッチする。
 - それぞれのNFCタッチポイントの中央を合わせてタッチする。反応がないときは、タッチしたまま位置をずらす。
 - NFC対応機器から音が鳴り^{*2}、Camera Connectが自動的に起動して、ネットワークの検索やネットワークと本機への接続を開始する。
 - 本機の画面に「動作中」が出たら、Wi-Fi接続完了。

^{*1} NFCタッチポイントのマーク、位置や、NFC機能の詳細については、お使いの機器の説明書をご覧ください。

^{*2} お使いの機器の仕様や設定によっては音が鳴らないことがあります。

5 NFC非対応機器 Wi-Fiで本機に接続して、Camera Connectを起動する

- 1 設定画面でWi-Fiを有効にする。
 - 見つかったWi-Fiネットワークが一覧表示される。
- 2 本機の画面に表示されているネットワーク名をタッチする。
- 3 パスワードを入力して接続する。
 - 本機の画面に「動作中」が出たら、接続完了。
 - 2回目からは、③の操作なしで自動的に接続される。
- 4 操作1でインストールしたアプリCamera Connectを起動する。



6 スマートフォンなど 動画や静止画を保存する

- 1 Camera Connectを操作して保存する。

7 本機「終了」→ **OK** をタッチする

- Wi-Fi接続が終了し、インデックス画面に戻る。

MEMO

- 通信状態によっては、動画の内容を確認（プレビュー）できなかったり、確認や保存に時間がかかったりすることがあります。
- お使いの機器のOSバージョンによっては、Wi-Fi接続の操作が異なることがあります。
- 以下のMP4形式のシーンは、スマートフォンなどでは複数のファイルとして認識されます。
 - データ容量が4GBを超えるもの。
 - 録画モードが「35Mbps」で30分以上のもの、または「35Mbps」以外で1時間以上のもの。

Connect Stationに保存する

撮影した動画や静止画をConnect Station CS100（別売）に保存することができます。本機の **N**（NFCのマーク）をCS100のNFC接続ポイントにかざすだけで、本機とCS100がWi-Fiで接続され、自動的に撮影データが保存されます*。CS100に保存した撮影データは、アルバムに整理したり、テレビで鑑賞したり、Webサービスで共有したりして楽しむことができます。CS100の詳細については、CS100の使用説明書をご覧ください。

* 本機とCS100をUSBケーブルでつないで保存することもできる（P.136）

動画形式 **AVCHD MP4**

撮影モード



AUTO



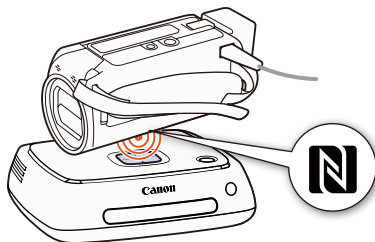
SCN P

再生



1 本機 コンパクトパワーアダプター（ACアダプター）をつなぐ

2 本機 電源OFFまたは見るモードのインデックス画面で、CS100のNFC接続ポイントにゆっくりかざす



- CS100のNFC接続ポイントに、本機の **N** の中央を合わせて、ゆっくりかざす。
- 反応がないときは、かざしたまま位置をずらすか軽く触れる。

- 本機が電源OFFのときは、見るモードで起動する。
- CS100から音が鳴り、Wi-Fi接続が完了すると自動的に本機内の撮影データがCS100に保存される。

3

本機 をタッチする

MEMO

Connect Station CS100への保存時間の目安

4分の動画を保存するのに約5分かかります。ファイル数が多いと、保存に時間がかかることがあります。

Connect Stationのファームウェアについて

最新のファームウェアをお使いください。ファームウェアを更新することで、不具合の修正や新機能の追加が行われることがあります。更新方法についてはConnect Stationの使用説明書をご覧ください。

Webサービスで共有する

Webサービスに接続

CANON iIMAGE GATEWAY（キヤノンイメージゲートウェイ）^{*1}に会員登録すると、オンラインアルバムに動画や静止画をアップロードして、Webサービス^{*2}にアップロードできます。なお、この機能を使用するには、インターネットに接続可能なアクセスポイントが必要です。



ビデオカメラ



アクセス
ポイント



Web サービス^{*3}

^{*1} オンラインアルバム（無料）やPHOTOPRESSO（フォトブックサービス：一部有料）などを利用できます。

^{*2} 利用できるWebサービスについては、CANON iIMAGE GATEWAYのヘルプなどをご覧ください。

^{*3} 本書では、CANON iIMAGE GATEWAYと連携するインターネットのサービスを「Webサービス」と呼びます。

準備する

1 ソフトウェアCameraWindow DCをパソコンにインストールする

- 133ページの操作1～2に従ってインストールする。

2 CANON iIMAGE GATEWAYの会員登録（無料）をする

- Webブラウザで次のURLにアクセスし、画面の指示にしたがって登録する。
www.canon.com/cig

3 使用するWebサービスのアカウント情報を確認する

- YouTubeなど、使用するWebサービス（[Q163](#)）のユーザー名とパスワードを確認する。

■ 使用するWebサービスをビデオカメラに登録する

ソフトウェアCameraWindow DCを使ってCANON iMAGE GATEWAYにログインし、使用するWebサービスをビデオカメラに登録します。

動画形式 AVCHD **MP4** 撮影モード **AUTO** SCN P 再生

1 **本機** 見るモードでMP4形式の動画のインデックス画面を表示する（[Q44](#)）

- 静止画のインデックス画面で操作することもできる（[Q48](#)）。

2 本機とパソコンを付属のUSBケーブルでつなぐ

3 **パソコン** CameraWindow DCを起動する

Windowsの場合

パソコンの画面に表示される「自動再生」ダイアログで、「画像をキャノンカメラからダウンロードします」をクリックする。

- CameraWindow DCのメニュー画面が出る。

Mac OSの場合

- 自動的にCameraWindow DCが起動して、メニュー画面が出る。自動的に起動しない場合には、手動で起動する。
- 選択画面が出たら、ビデオカメラの型名を選ぶ→「OK」をクリックする。

4

パソコン CANON iMAGE GATEWAYにログインする

- ① 「カメラ設定」を選ぶ→「Webサービスを設定する」をクリックする。
- ② 画面の案内に従ってCANON iMAGE GATEWAYにログインする。
 - ログインすると、カメラ設定の画面が出る。

5

パソコン Webサービスの設定を行う

- ① 「Webサービスの編集」をクリックする。
 - Webサービスの設定画面が出る。
- ② 使用するWebサービスの「設定」をクリックする。
- ③ 画面の指示に従って、選んだWebサービスのユーザー名やパスワードなどを入力して、「設定する」をクリックする。

メールの宛先を登録するとき

画面に従ってメールアドレスを設定する。

- ④ 「完了」をクリックする。
 - カメラ設定の画面に戻る。

6

パソコン Webサービスを本機に登録する

- ① 登録するWebサービスを選ぶ→画面中央の  をクリックする。
 - 選んだWebサービスがカメラ欄に表示される。
- ② 複数のWebサービスを登録するときは、①の操作を繰り返す。
 - ▲または▼をクリックして、本機の画面に表示される順番を変えることもできる。
- ③ 「メニュー」をクリックする。
 - 選んだWebサービスが本機に登録され、CameraWindow DCのメニュー画面に戻る。

7 パソコン CameraWindow DCを終了する

- CameraWindow DCの終了を確認したら、本機をパソコンから取り外す。

MEMO

- 本機の日付設定が正しくないときは、CANON IMAGE GATEWAYに接続できません。接続の前に本機の設定を確認してください。
- 登録数が上限に達すると新たなWebサービスを登録できません。このときは、不要なWebサービスを削除してから、使用したいWebサービスを登録してください。
- メール以外のWebサービスには、複数のアカウントを設定できません。

■ 動画や静止画をWebサービスに公開する

撮影した動画や静止画をWebサービスに公開して、家族や友人と共有できます。

動画形式 AVCHD MP4

撮影モード



AUTO



SCN P

再生

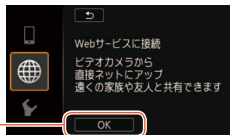


1 動画のインデックス画面で🌐をタッチする

- ホーム画面が出る。

2 「Webサービスに接続」を選ぶ

- 1 📶 (Wi-Fi)を中央に表示してタッチする。
- 2 🌐 (Webサービスに接続)を中央に表示して **OK** をタッチする。



3 接続するアクセスポイントを選ぶ

- アクセスポイントが登録済みのときは、1番目のアクセスポイントが自動的に選択される（操作4に進む）。
 - アクセスポイントが未登録のときは、「アクセスポイントを登録します」が出る。
- ① **OK** をタッチする。
 - ② 「アクセスポイントにWi-Fi接続する」(□168)の手順に沿って、アクセスポイントを選択する。

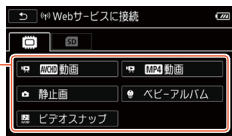
4 使用するWebサービスを選ぶ

使用するWebサービスをタッチする。

5 アップロードするデータを選ぶ

いずれかを選ぶ。

- 使用するWebサービスによって、アップロードできるデータが異なる。



6 シーンまたは静止画を選ぶ

動画のとき

シーンをタッチする。

静止画のとき

- ① アップロードする静止画をすべてタッチする。もう一度タッチすると選択が解除される。
 - 1度に10枚までアップロードできる。
 - 選択をすべて解除するときは「全解除」→「はい」をタッチする。
- ② **実行** をタッチする。



7 アップロードする

YouTubeのとき

利用規約を確認して、同意する場合は「同意する」をタッチする。

- アップロードがはじまる。

中止するとき 「中止」をタッチする。



8 OK をタッチする

■ CANON iIMAGE GATEWAYで確認する

CANON iIMAGE GATEWAYのオンラインアルバムにアップロードした動画や静止画は、オンラインアルバムのライブラリ画面またはアルバム画面で確認できます。また、Webサービスの設定情報一覧や送信履歴を確認することもできます。CANON iIMAGE GATEWAYの詳細については「ヘルプ」をご覧ください。

1 パソコンなど CANON iIMAGE GATEWAYにログインする

2 パソコンなど 画面の案内に従って操作し、オンラインアルバムにログインする

- ライブラリ画面が表示される。

MEMO

- 一度にアップロードできる動画は1シーン、静止画は10枚までです。アップロードできる動画の最大時間やサイズはWebサービスによって異なります。
- アクセスポイントの性能や設定、通信状態によっては、アップロードに時間がかかることがあります。

アクセスポイントにWi-Fi接続する

アクセスポイント（無線親機）に接続します。アクセスポイントへの接続設定は、本機に4つまで記憶されます。

動画形式

AVCHD MP4

撮影モード



AUTO



■ 必要なものを確認する

Wi-Fi接続を行う前に、必要なものをご確認ください。

- アクセスポイントは、Wi-Fi認証を受け（右のロゴマークがある）、無線LAN規格IEEE802.11b/g/n対応のものであること。
- アクセスポイントと家庭内ネットワークが正しくセットアップされていること。



■ 接続方法を選ぶ

接続方法は次の4種類から選択できます。アクセスポイントについては、お使いの機器の説明書をご覧ください。

1

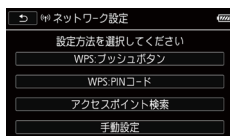
本機 使用する接続方法をタッチする

「WPS:プッシュボタン」のとき (P.169)

「WPS:PINコード」のとき (P.170)

「アクセスポイント検索」のとき (P.170)

「手動設定」のとき (P.172)



WPS*：プッシュボタン	アクセスポイントのボタンを押し続けたあと、本機の画面をタッチするだけ。アクセスポイントがWPSに対応していれば一番簡単に接続できます。
WPS*：PINコード	Webブラウザからアクセスポイントの設定画面を開き、ビデオカメラの画面に表示された番号を入力します。アクセスポイントがWPSに対応していて、パソコンなどアクセスポイントに接続済みの機器が必要です。
アクセスポイント検索	本機の画面で、お使いのアクセスポイントの名前を選び、パスワードを入力します。
手動設定	アクセスポイントの名前とパスワードのほか、さまざまなネットワーク設定を手動で行います。無線LANやネットワークに詳しい上級者用の設定方法です。

* WPSとは、アクセスポイントへの接続を簡単に行うための規格です。

■ WPSで接続する

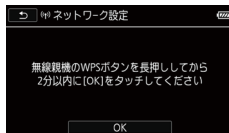


お使いのアクセスポイント（無線親機）がWPSに対応していれば、本機とアクセスポイントを簡単に接続できます。WPSの接続には、プッシュボタン方式とPINコード方式があります。なお、WPSでうまく接続できないときは、「アクセスポイント検索で接続する」(□□170)をお試しください。

「WPS：プッシュボタン」の場合

1 無線親機 WPS用のボタンを長押ししてWPSを起動する

- 長押し時間は無線親機によって異なる。無線親機の説明書をご覧ください。無線親機をWPS起動状態にする。

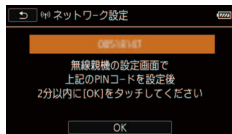


「WPS：PINコード」の場合

1

無線親機 PINコードを設定してWPSを起動する

- ① パソコンなど無線親機と接続済みの機器のWebブラウザから、WPS（PINコード方式）の設定画面を開く。
- ② ビデオカメラの画面に表示された8桁の数字を入力して、WPSを起動する。



2

本機 無線親機へ接続する

- ① 操作1から2分以内に **OK** をタッチする。
 - 無線親機への接続を開始する。

接続を中止するとき

「中止」→ **OK** をタッチする。

- ② **OK** をタッチする。
 - 接続が完了すると、選んだ機能の画面に戻る。
「スマートフォンなどをリモコンにして撮る」へ（[148](#)）
「Webサービスに接続」へ（[163](#)、[165](#)）
「アクセスポイント接続設定」へ（[175](#)）

■ アクセスポイント検索で接続する

ビデオカメラが周囲のアクセスポイントを自動的に検出します。接続するアクセスポイントを選んでパスワード（暗号化キー）を入力し接続します。

1

アクセスポイントの設定情報を確認する

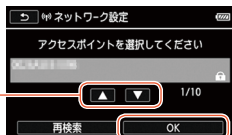
- 接続するアクセスポイントのSSIDと暗号化キー（必要なとき）をあらかじめ確認する。

2 接続するアクセスポイントを選ぶ

- 検出されたアクセスポイントのSSIDが出る。

- ▲ / ▼ をタッチして接続するアクセスポイントを選ぶ。

- OK をタッチする。



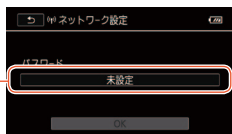
3 アクセスポイントのパスワード（暗号化キー）を入力する

- 操作2で選んだアクセスポイントに🔒が表示されていない場合、この操作は不要。

- タッチする。
- パスワードを入力→OK をタッチする。

参考 ▶ 「文字入力のしかた」(154)

- OK をタッチする。



4 OK をタッチする

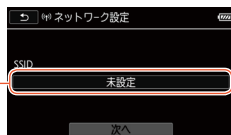
- 接続が完了すると、選んだ機能の画面に戻る。
「スマートフォンなどをリモコンにして撮る」へ (148)
「Webサービスに接続」へ (163、165)
「アクセスポイント接続設定」へ (175)

■ 手動設定で接続する

アクセスポイントへの接続を手動で設定します。また、ステルス機能が有効になっていることなどにより、「アクセスポイント検索」でアクセスポイントが検出されないときも手動で接続できます。この接続方法は、無線LANやネットワークに詳しい上級者の方のみご利用ください。

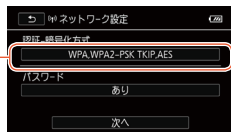
1 SSIDを入力する

- 1 タッチする。
- 2 SSIDを入力→**OK**をタッチする。
参考▶「文字入力のしかた」(□154)。
- 3 「次へ」をタッチする。



2 認証-暗号化方式を選択する

- 1 タッチする。
- 2 いずれかの認証・暗号化方式をタッチする。
 - 「OPEN WEP」選択時、WEPインデックスは1となる。



3 パスワード（暗号化キー）を入力する

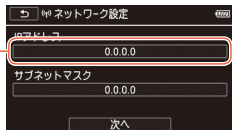
- 操作2で「OPEN NONE」を選んだ場合、この操作は不要。
- 1 パスワード入力エリアをタッチする。
 - 2 パスワードを入力→**OK**をタッチする。
参考▶「文字入力のしかた」(□154)
 - 3 「次へ」をタッチする

4 IPアドレスの取得方法を選ぶ

- 「オート」または「マニュアル」をタッチする。
- 「オート」をタッチしたときは操作6に進む。

5 IPアドレスなどをマニュアルで設定する

- ① タッチする。
- ② ▲ / ▼ をタッチしてIPアドレスの各値を入力→「OK」をタッチする。
- ③ ①～②と同じ要領でサブネットマスクを入力→「次へ」をタッチする。
- ④ ③と同じ要領で、デフォルトゲートウェイと各DNSサーバーを設定する。



6 「OK」をタッチする

- 設定が保存される。
- 接続が完了すると、選んだ機能の画面に戻る。
 「スマートフォンなどをリモコンにして撮る」へ（[148](#)）
 「Webサービスに接続」へ（[163、165](#)）
 「アクセスポイント接続設定」へ（[175](#)）

MEMO

- 使用できるWi-Fiの機能とセットアップ方法は、お使いのWi-Fiネットワークの設定や制限などによって異なります。

Wi-Fi設定を表示／変更する

Wi-Fi機器やアクセスポイントへ接続したり、宅外モードを使用したりするときの設定内容を表示し、変更することができます。

動画形式

AVCHD MP4

撮影モード



AUTO



SCN P

再生



1 家をタッチする

- ホーム画面が出る。

2 「設定確認/変更」を選ぶ

- 撮るモードのときは （ライブストリーミングリモコン）、見るモードのときは （Wi-Fi）を中央に表示してタッチする。
- （設定確認/変更）を中央に表示して **OK** をタッチする。

■ スマートフォンの接続設定を確認／変更する

1 スマートフォン接続設定を選ぶ

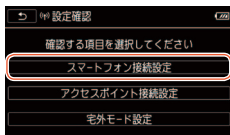
- 「スマートフォン接続設定」をタッチする。
 - ビデオカメラのネットワーク名とパスワードが出る。

設定を変更するとき

「編集」→ **OK** → **OK** をタッチする。

- 本機のネットワーク名とパスワードが変更される。
- 次回接続時は、スマートフォンのWi-Fi設定の変更が必要となる。

- を2回タッチして「設定確認/変更」画面から出る。
 - 設定を変更したときはこの操作は不要。



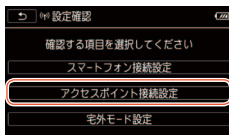
例：撮るモードの場合

2 ㄥ→✕をタッチする

■ アクセスポイントの接続設定を確認／変更する

1 「アクセスポイント接続設定」をタッチする

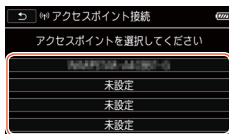
- 本機に記憶されている4つのSSIDが表示される。



例：撮るモードの場合

2 設定を確認する

- 設定を表示するSSIDをタッチする。
 - 「未設定」をタッチすると、「アクセスポイントにWi-Fi接続する」(□□168)の操作に進み、接続が終わると、「設定確認/変更」画面に戻る。
- ▲／▼で表示内容を切り換える。



設定を消去するとき

- 「編集」→「消去」→「はい」をタッチする。
- ㄥを2回タッチする

設定を変更するとき

- 「編集」→「手動設定」をタッチする。
- 「手動設定で接続する」(□□172)の操作に進む。
- ㄥを3回タッチして「設定確認/変更」画面を出す。

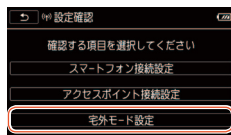
3 ㄥ→✕をタッチする

■ 宅外モード設定を確認／変更する（撮るモードのみ）

1 宅外モード設定を選ぶ

① 「宅外モード設定」をタッチする。

- パスワードとポート番号が出る。

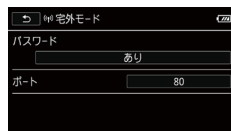


設定を変更するとき

① パスワードまたはポート番号の入力エリアをタッチする。

② 入力して「OK」をタッチする。

参考 ▶▶「文字入力のしかた」(154)



② 戻るを3回タッチ→Xをタッチする。

■ 用語の説明

この章の説明で使われている用語をまとめました。Wi-Fi関連の名称や略語の意味を知りたいときにご覧ください。

用語	説明	170
暗号化キー	セキュリティで保護（暗号化）されたWi-Fiネットワークに接続するためのパスワード。アクセスポイントに設定され、使用される文字や文字数は、暗号化方式によって異なる。	170
暗号化方式	Wi-Fi通信を暗号化するための方式。暗号の破られにくさが高い順に「WPA2-PSK AES / WPA-PSK AES」、 「WPA2-PSK TKIP / WPA-PSK TKIP」、 「WEP」となる。	172
サブネットマスク	IPアドレスからネットワークアドレスを識別するための数値。	173
ステルス機能	アクセスポイントなどのSSIDを他の機器から見えないようにする機能のこと。ネットワークへの接続を許可していない機器からの接続を防ぐために設定する。	172

用語	説明	📖
優先DNSサーバー 代替DNSサーバー	パソコンのドメイン名をIPアドレスに変換するサーバーのこと。Domain Name Systemの略。	173
デフォルトゲートウェイ	使用しているネットワークと外部のネットワーク（インターネットなど）をつなぐ出入口となる機器のこと。	173
ポート番号	ネットワークに接続されたパソコンや通信機器内のアプリケーションに割り振られる識別番号のこと。	152
無線LAN	無線（ワイヤレス）で構築したオフィスや家庭などのネットワーク（LAN*）のこと。 * Local Area Networkの略。	147
DHCPサーバー	IPアドレスを自動で振り分けるサーバーのこと。 Dynamic Host Configuration Protocolの略。	200
IPアドレス	ネットワークに接続されたパソコンや通信機器1台ずつに割り振られる識別番号（4組の数値*）のこと。 * IPv4アドレスの場合。	172
NFC	NFC Forumが定めた近距離無線通信の規格。対応機器同士をタッチさせて通信することができる。	149
PINコード	機器を識別するための認証パスワードのこと。PIN：Personal Identification Numberの略。	168
SSID	アクセスポイントを識別するための名前のこと。任意の英数字（最大32文字まで）を設定できる。Service Set Identifierの略。	171
UPnP	パソコンや通信機器などネットワークに接続された機器が、お互いを認識して、機能を連携させる規格。Universal Plug and Play の略。	151
Wi-Fi（ワイファイ）	Wi-Fi Allianceによって認証された、Wi-Fi機器同士の接続方式の名称。Wireless Fidelityの略。	146
WPS	アクセスポイント（無線親機）のWi-Fi接続やセキュリティの設定を容易に行うための規格。プッシュボタン方式とPINコード方式がある。Wi-Fi Protected Setupの略。	169

7 ふろく

故障かな？179

「故障かな？」と思ったときや、いつも通りに操作できないとき。

メッセージが出たら？190

画面にメッセージが出たとき。

安全上のご注意203

安全に使っていただくための注意事項です。かならずお読みください。

取り扱い上のご注意207

取り扱うときに注意していただきたいこと。

日常のお手入れ213

本機の汚れが気になったときのお手入れ方法。

海外で使う214

旅先で充電する、テレビで見るなど、海外で使うとき。

その他234

画面の見かた、アクセサリや仕様など。



故障かな？

修理に出す前にこの「故障かな？」で説明する内容をもう一度確認してください。それでも直らないときは、カメラ修理受付センター（☎254）にご相談ください。

まずココを確認しよう！

電源

- ☐ バッテリーは充電されていますか？（☎17）
- ☐ 本機とコンパクトパワーアダプター（ACアダプター）は正しく接続されていますか？（☎17）

撮影するとき

- ☐ 電源を入れて撮るモードにしていますか？見るモードになっているときは ▶（再生）ボタンを押してください。
- ☐ カードに記録するときは、本機にカードが入っていますか？（☎21）

再生するとき

- ☐ 電源を入れて見るモードにしていますか？撮るモードになっているときは ▶（再生）ボタンを押してください。
- ☐ カードから再生するときは、本機にカードが入っていますか？（☎21）



■ 電源

こんなときは	どうするの？	📖
電源が入らない。 途中で電源が切れる。	● バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。 ● バッテリーを正しく取り付け直す。	17
バッテリーが充電できない。	● 電源を切ってから充電する。 ● バッテリーの温度が使用温度（約0℃～40℃）の範囲外になったため充電を停止した。バッテリーを取り外して温めるか、または放置して使用温度の範囲内になってから、充電を行う。 ● 周囲の温度が約0℃～40℃のときに充電する。 ● バッテリーが故障しているので、別のバッテリーを使用する。 ● 本機と通信できないバッテリー（キヤノン推奨以外）が取り付けられているため、充電できない。 ● キヤノン推奨のバッテリーを使用している場合は、ビデオカメラまたはバッテリーの故障の可能性がある。カメラ修理受付センターにご相談ください。	17 17 17 — — 254
コンパクトパワーアダプター（ACアダプター）から音がする。	● コンパクトパワーアダプター（ACアダプター）を使用中に小さな音がすることがある。故障ではない。	—
常温でバッテリーの消耗が極端に早い。	● バッテリーの寿命と考えられる。新しいバッテリーを購入する。	—

■ 撮影中

こんなときは	どうするの？	📖
START/STOPボタンを押しても録画しない。	- 撮影した映像を本機に書き込んでいる間は録画できない。書き込み終了まで待つ。 - メモリーに空き容量がない。またはAVCHD形式の動画が3999シーン記録されている。不要なシーンや静止画を消すか、初期化する。 - MP4形式の動画／静止画に割り当てられるファイル番号が最大になった。撮影データをバックアップしてから「オートリセット」してメモリーを初期化する。	— 25 51 227
START/STOPボタンを押した時点と、記録されたシーンの始めと終わりの時点が異なる。	START/STOPボタンを押してから、録画の開始・終了までに、多少時間がかかることがある。故障ではない。	—
ピントが合わない。	- 被写体によってはピントが自動で合いにくいことがある。手動でピントを調整する。 - レンズが汚れているのでお手入れする。	91 213
被写体が横切るとき、被写体がゆがんで見える。	撮像素子にCMOSセンサーを使用しているため、本機の前を被写体が素早く横切ると、少しゆがんで見えることがある。故障ではない。	—
動画の●撮影／■撮影停止／▶再生の切り換えに時間がかかる。	シーン数が多いとこのようになることがある。動画と静止画をバックアップしてメモリーを初期化する。	25 130
動画や静止画を正しく記録できない。	記録や消去を繰り返すと、このようになることがある。動画と静止画をバックアップしてメモリーを完全初期化する。	25 130

こんなときは	どうするの？	
動画撮影中、静止画を記録できない。	• 次の場合は動画撮影中に静止画を記録できない。 • 撮影モードが  (高輝度優先)、 (シネマ) のとき。 • フェーダー実行中のとき。	—
長時間使うと熱くなる。	• 長時間使いつづけると熱くなることがあるが、そのまま使用しても問題ない。本機の温度が急激に上昇したり、持てないほど熱くなったときは故障の可能性がある。カメラ修理受付センターにご相談ください。	254

■ 再生中

こんなときは	どうするの？	
シーンの消去に時間がかかる。	• シーン数が多いとこのようになることがある。動画と静止画をバックアップしてメモリーを初期化する。	25 130
ビデオスナップを作成できない。	• MP4形式の動画のシーンでは作成できない。 • 他機で記録したシーンからは作成できない。 • メモリーに空き容量がない。不要なシーンや静止画を消す。	— — 51

こんなときは	どうするの？	📖
音楽と映像を組合せて再生した場合、正しく再生できない。	- 記録や消去を繰り返したメモリーに音楽を転送すると、このようになることがある。 内蔵メモリーのとき（HFR82のみ）：動画／静止画を本機で完全初期化したカードにコピーして、カードから再生する。内蔵メモリーは本機で完全初期化する。 カードのとき：カード内の全ファイルをいったんパソコンにコピーし、本機でカードを完全初期化したあと、再び全ファイルをカードにコピーし直して、カードから再生する。音楽は動画／静止画をコピーしたカードに転送する。 - Transfer Utility LEを使って音楽を転送中に、USBケーブルが抜けると、本機で再生できない音楽ファイルになることがある。その曲を消去してから、転送し直す。 - カードの読み取り速度が遅い。推奨のカードを使う。	25 117 130
シーンを分割できない。	メモリーに空き容量がない。不要なシーンや静止画を消す。	105
シーンまたは静止画を選択できない。	シーンや静止画は、100を超えて選択できない。「選択」ではなく、「全シーン」または「すべての静止画」を選ぶ。	20
		51
		51

■ 表示やランプ

こんなときは	どうするの？	📖
画面に  （赤色）が出る。	バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。	17
画面に  が出る。	本機と通信できないバッテリーが取り付けられているため、バッテリー残量を表示できない。	—

こんなときは	どうするの？	📖
画面に  (赤色)が出る。	カードエラー。電源を切り、カードを出し入れする。それでも赤く点灯しているときは、カードを初期化する。	21 25
画面に  END(赤色)が出る。	カードに空き容量がない。別のカードと入れ換えるか、不要なシーンや静止画を消す。	21 51
撮影を中断してもACCESSランプが点灯している。	撮影したシーンをカードに書き込んでいる。故障ではない。	—
充電中にCHGランプが速く点滅する。 (0.5秒に1回の点滅)	- バッテリーの温度が使用温度(約0℃～40℃)の範囲外になったため充電を停止した。バッテリーを取り外して温めるか、または放置して使用温度の範囲内になってから、充電を行う。 - 周囲の温度が約0℃～40℃のときに充電する。 - バッテリーが故障しているので、別のバッテリーを使用する。 - コンパクトパワーアダプター(ACアダプター)、またはバッテリーに異常があるため、充電を中止した。カメラ修理受付センターにご相談ください。	—

■ 画面や音

こんなときは	どうするの？	📖
本機を振るとカタカタ音がする。	撮るモードにしたときに音がしなければ、内部のレンズが動く音です。故障ではありません。	—
液晶画面が暗い。	バックライトが低輝度設定になっている。明るくするときは、 →  →  → 「液晶バックライト」を「通常」または「高輝度」に設定する。	222

こんなときは	どうするの？	📖
画面の映像が暗い。	「ビューアシスト」が「切」のとき、撮るモードを  (高輝度優先) にしたり、 (高輝度優先) で撮影したシーンを再生したりすると、画面が暗く感じることがある。「ビューアシスト」を「入」にする。	222
画面がついたり消えたりを繰り返す。	- バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。 - バッテリーを正しく取り付け直す。	17
画面に通常出ない文字が出たり、正常に動作しない。	バッテリーを取り外し、しばらくしてから取り付ける。	17
画面にノイズが出る。	プラズマテレビや携帯電話などから離して本機を使用する。	207
画面に横帯が出る。	撮像素子にCMOSセンサーを使用しているため、撮影時の照明によっては横帯が見えることがある。フリッカー低減設定で「50 Hz」または「60 Hz」を選択すると低減する。故障ではない。	219
音がひずんだり、実際より小さく記録される。	大きな音の近く（打上げ花火やコンサートなど）で撮影すると、このようになることがある。マイクレベルを手動で調整する。	231
映像は出るが、内蔵スピーカーから音が出ない。	- スピーカーの音量が「切」になっているので、音量を調整する。 - ハイスピードHDMIケーブル（付属）やステレオビデオケーブルをはずす。 「AV/ヘッドホン」を「AV」にする。	46 — 223
ヘッドホンから音が聞こえない。	HFR82 Wi-Fi機能使用中はヘッドホン端子から音声は出力されない。	—

■ アクセサリー

こんなときは	どうするの？	📖
カードが入らない。	正しい向きでカードを入れる。	22
カードに記録できない。	- カードに空き容量がない。別のカードと入れ換えるか、不要なシーンや静止画を消す。 - はじめて使用するときは、カードを完全初期化する。 - カードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているので、反対側にする。 - 動画を記録する場合は、対応しているカードを確認する。 - MP4形式の動画／静止画に割り当てられるファイル番号が最大になったためカードに記録できない。新しいカードを入れて、→→→「ファイル番号」を「オートリセット」にする。	21 51 25 22 20 227

■ 他機

こんなときは	どうするの？	📖
テレビの放送画面にノイズが出る。	テレビの近くで使用するときは、テレビやアンテナケーブルからコンパクトパワーアダプター（ACアダプター）を離す。	—
テレビに映像や音が出ない。	- テレビの設定を、接続した端子に切り換える。 - ハイスピードHDMIケーブル（付属）を抜き差しするか、本機の電源を入れ直す。 - ハイスピードHDMIケーブル（付属）をつないでいると、AV OUT端子から映像が出力されない。ハイスピードHDMIケーブルを抜く。 - HFR82 Wi-Fi機能使用中は映像や音声は出力されない。	— — — —

こんなときは	どうするの？	📖
テレビやパソコンなどの画面上の映像が暗い。	● ☞ (高輝度優先)で撮影したシーンを再生するとこのようになることがある。テレビの映像(画質)設定を明るい設定に変更する。パソコンなどのときは画面を明るくする。	—
正しく接続しているのにパソコンから本機が認識されない。	● 接続ケーブルを抜き差しし、本機の電源を入れ直す。 ● パソコンの別のUSB端子につなぐ。	— —
CameraWindow DCが自動的に起動しない	● Macの場合、OSによっては自動で起動しない。DockのCameraWindowアイコンをクリックして起動する。 	—
MP4形式の動画／静止画をパソコンに取り込めない。	● メモリーに2500以上 (Windows) /1000以上 (Mac OS)のシーンや静止画があると、パソコンに取り込めないことがある。 ● カードリーダーなどを使って取り込む。 HFR82 内蔵メモリーの場合は、カードにコピーしてからパソコンに取り込む。	— 117
HFR82 NFC対応機器とタッチしても、認識されない。	● 本機のNとNFC対応機器のNFCタッチポイントをタッチする。反応がないときはタッチしたまま位置をずらす。 ● ☞ → !! → 👉 → 「NFC」を「入」にする。	— 223
HFR82 NFC対応機器とタッチしても本機が起動しない。	● バッテリーが消耗している。 ● コンパクトパワーアダプター (ACアダプター)をつなぐか、バッテリーを充電して、再度NFC対応機器とタッチする。	— 17

HFR82 Wi-Fi 接続

お使いのアクセスポイント（無線親機）の説明書も合わせてご覧ください。

こんなときは	どうするの？	📖
アクセスポイント（無線親機）に接続できない。	• アクセスポイントが正常に起動しているか確認する。	—
	• 電波状況によっては通信可能な距離が短くなることもある。本機とアクセスポイントの距離を近づける。	—
	• 電波の干渉を避けるため、コードレス電話など電波を発する機器から離れて操作する。	208
	• Wi-Fi 設定をするとき、アクセスポイントでステルス機能を有効にしていると、アクセスポイントを検出できない。「手動設定」で接続するか、アクセスポイントのステルス機能を無効にする。	172
ファイル転送中にWi-Fi通信が切れた。	• ファイル転送中にWi-Fi通信が切れると、転送先に不要なファイルが残ることがある。	—
	• ファイル転送が中断したときは、「未転送ファイル」を選び、あらためて転送の操作を行う。新しいファイルとして転送される。	—
	• 転送先に不要なファイルが残っているときは、十分に内容を確認してから、削除する。	—

こんなときは	どうするの？	
本機にWi-Fi接続できない。	•  →  →  → 「設定初期化」を行うと、本機のネットワーク名が初期設定になり、パスワードが変更される。Wi-Fi機器で以前のネットワーク設定を削除したあと、本機に接続する。	—

メッセージが出たら？

本機の画面にメッセージが出たときは、次のような対処をしてください。

HFR82 外付けハードディスク接続時／Wi-Fi機能使用時／Wi-Fi機能のWebサービス使用時のメッセージについては197～202ページをご覧ください。

メッセージ	どうするの？	📖
空き容量が不足しています	カードの不要なシーンや静止画を消去するか、録画モードを「LP」または「4Mbps」に設定する。	51 56
カードカバーがあいています	カードを入れたらカードカバーを閉じる。	22
カードカバーを閉めてください	Connect Station CS100(別売)と接続中に、本機のカードカバーを開けた。カードカバーを閉める。	22
カードがありません	- カードを本機に入れる。 - カチッと音がするまでカードを入れ直す。	22
カードがいっぱいです	カードに空き容量がない。別のカードと入れ換えるか、不要なシーンや静止画を消す。	21 51
HFR82 カードシーン数がいっぱいです	カードにAVCHD形式の動画が3999シーン記録されているため、動画のコピーができない。カードの不要なシーンを消す。	51
カードテレビ方式が異なります認識できません	カードに記録されている動画のテレビ方式が異なるため再生できない。	—
カードに書き込みエラーがありますデータの修復を試みますか？	記録中に電源がはずれた後、電源を入れた。撮影データを修復するときは「はい」を選ぶ。他機で記録したカードを入れたときは「いいえ」を選ぶことを推奨します。	—

メッセージ	どうするの？	📖
カードの誤消去防止ツマミを確認してください	カードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているため、カードに書き込めない。誤消去防止ツマミを反対側にする。	22
カードの修復が必要です カードの誤消去防止ツマミを解除してください	カードに記録中に電源が切れた後、カードの誤消去防止ツマミをLOCK側にした。誤消去防止ツマミを反対側にする。	22
カードへの書き込みが間に合わないため 記録を中止しました	- カードの書き込み速度が遅いため、記録を中止した。Class 4 / 6 / 10*のカードを使用する。 * 録画モードが「60P」または「35Mbps」のときは、Class 6 / 10のカード。 - 記録や消去を繰り返しているカードでは、データの書き込み速度が低下して、記録が停止することがある。本機でカードを完全初期化してから使用する。	20 25
カードを確認してください	- カードにアクセスできない。カードが正しく入っているか、カードに不具合がないか確認する。 - カードにエラーがあり、記録や再生ができない。カードを出し入れするか、別のカードと入れ換える。 - マルチメディアカードを入れた。推奨のカードを入れる。 「カードを確認してください」が4秒後に消えて  (赤色) が点灯するときは、電源を切り、カードを出し入れする。  (緑色) が点灯すれば、そのまま記録や再生ができる。それでも赤く点灯しているときは、動画と静止画をバックアップして初期化する。	21 — 20 21 25 130
キャンバスが保存できません	キャンバスのデータをメモリーに書き込めない。動画と静止画をバックアップしてメモリーを初期化する。	25 130

メッセージ	どうするの？	📖
キャンパスが読み込めません	• キャンパスのデータが壊れている。 • 他機で保存したキャンパスのデータは読み込めない。	— —
記録できません	• ビデオスナップは、他機で記録したシーンから作れない。 • メモリーに異常があるため、記録できない。頻繁に発生する場合は、カメラ修理受付センターにご相談ください。	— 254
記録できません カードを確認してください	• カードに異常があるため、記録できない。 • カードを完全初期化する。それでも解決しないときは、別のカードと入れ換える。	— 25
HFR82 記録できません 内蔵メモリーにアクセスできません	• 内蔵メモリーに異常があるため、記録できない。 • 内蔵メモリーを完全初期化する。それでも解決しない場合は、カメラ修理受付センターにご相談ください。	— 25 254
このカードでは動画記録できないことがあります	• SDスピードクラスに対応していないカードまたはClass 2のカードを入れた。Class 4 / 6 / 10のカードを使用する。	20
このカードでは録画モード「長時間モード」を推奨します	• Class 2のカードは、長時間モード（「LP」または「4Mbps」）以外の録画モードにすると、動画が正しく記録できないことがある。	—
このカードでは録画モード「60P記録モード」以外を推奨します	• Class 4のカードは、録画モードを「60P」や「35Mbps」にすると、動画が正しく記録できないことがある。	—
このカードは動画記録（動画再生）できません	• 64 MB以下のカードは動画の記録・再生ができない。推奨のカードを入れる。	20

メッセージ	どうするの？	📖
このカードは動画記録（動画再生）できません 本機で初期化してお使いください	パソコンで初期化されたカードを入れた。本機で初期化する。	25
このシーンは変換できません	- MP4形式の動画の場合、変換画質の解像度より低い解像度のシーンは変換できない。 - 録画モードが「4Mbps」のシーン、フレームレートが24Pのシーン、またはスロー & ファストモーションで記録したシーンは、Fast モーション変換できない。 - 他機で記録したシーンはMP4形式の動画に変換できない。	—
HFR82 コピーできません	- カードの空き容量がコピーするデータ量より小さい。カードの不要なシーンを消すか、コピーするシーンを減らす。 - AVCHD形式の動画が記録可能なシーン数（3999シーン）に達した。不要なシーンを消す。	51 51
再生できない画像です	他機で記録したり、パソコンで作成や加工したりした静止画は再生できないことがある。	—
再生できません	- 他機で記録したり、パソコンで作成や加工したりしたシーンは再生できないことがある。 - メモリーに異常があるため、再生できない。頻繁に発生する場合は、カメラ修理受付センターにご相談ください。	— 254
再生できません カードを確認してください	カードに異常があるため、再生できない。カードを完全初期化する。それでも解決しない場合は、別のカードと入れ換える。	25
HFR82 再生できません 内蔵メモリーにアクセスできません	内蔵メモリーに異常があるため、再生できない。内蔵メモリーを完全初期化する。それでも解決しない場合は、カメラ修理受付センターにご相談ください。	25 254

メッセージ	どうするの？	📖
シーン数がいっぱいです	AVCHD形式の動画が記録可能なシーン数(3999シーン)に達した。不要なシーンを消す。	51
シーン番号を選択してください	動画管理情報が異なる同一日付が複数あった。日付変更線の付近で撮影すると、このようになることがある。いずれかを選択する。	—
消去ができないシーンがありました	他機でプロテクトや編集をしたシーンは消去できない。	—
処理中です 電源をはずさないでください	撮影データをメモリーに書き込んでいる。書き込みが終わるまで待つ。	—
静止画とMP4動画の総数が多すぎます USBケーブルをぬいてください	- メモリーに記録されているMP4形式の動画／静止画が多すぎる。USBケーブルを抜き、カードリーダーなどを使用してパソコンに移動する。または総数が以下になるように消す(Windows：2500未満。Mac OS：1000未満)。その後、USBケーブルを接続し直す。 HFR82 MP4形式の動画／静止画をカードにコピーしたあと、カードリーダーなどを使用してパソコンに保存する。 - OSの設定によってはパソコンのモニターにメッセージが出ることもある。メッセージを閉じてからUSBケーブルを接続し直す。	117
接続機器を確認してください	🏠 → 📶 → 📶 → 「USB接続指定」の設定と異なる機器を接続した。接続する機器に合わせて設定後、再接続する。	228
テレビ方式が異なります 認識できません	テレビ方式が異なる映像は本機で認識できない。	—
テレビを明るめに設定して再生することをおすすめします	🔊 (高輝度優先)で撮った映像を見るときは、テレビの映像(画質)設定を明るい設定にする。	—
データを修復できませんでした	壊れたデータを修復できない。動画と静止画をバックアップして、メモリーを初期化する。	25 130

メッセージ	どうするの？	📖
動画／静止画データのバックアップは定期的に行ってください	万一の故障やデータ破損に備えて、撮影したデータを定期的にバックアップする。	130
トリミングできません	SDXCメモリーカードにコピーしたり（HFR82のみ）、他機で記録やコピーしたりしたシーンはトリミングできない。	—
HFR82 内蔵メモリーから動画再生できません 本機で初期化してお使いください	内蔵メモリーが正しく認識できない。本機で初期化する。	25
HFR82 内蔵メモリーがいっぱいです	内蔵メモリーに空き容量がない。画面に「 END」が出る。不要なシーンを消すか、動画と静止画をバックアップして内蔵メモリーを初期化する。	25 51 130
HFR82 内蔵メモリーが認識できません	内蔵メモリーが壊れている。カメラ修理受付センターにご相談ください。	254
HFR82 内蔵メモリーにアクセスできません	内蔵メモリーが壊れている。カメラ修理受付センターにご相談ください。	254
HFR82 内蔵メモリーに書き込みエラーがあります データの修復を試みますか？	記録中に電源がはずれた後、電源を入れた。撮影データを修復するときは「はい」を選ぶ。	—
HFR82 内蔵メモリーに動画記録できません 本機で初期化してお使いください	内蔵メモリーが正しく認識できない。本機で初期化する。	25
バックライトが低輝度に設定されています セットアップの「液晶バックライト」で変更できます	明るくするときは、 →  →  → 「液晶バックライト」を「通常」または「高輝度」に設定する。	222

メッセージ	どうするの？	📖
バッテリーと通信できません このバッテリーを使用しますか？	• キヤノンの推奨以外のバッテリーを取り付けて、電源を入れた。 • キヤノン推奨のバッテリーを使用している場合は、ビデオカメラまたはバッテリーの故障の可能性がある。カメラ修理受付センターにご相談ください。	— 254
バッテリーパックを充電してください	• バッテリーが消耗している。バッテリーを充電する。	17
ファイル名が作成できません	• フォルダー番号やファイル番号が最大になった。MP4形式の動画と静止画をバックアップしてから、「オートリセット」してメモリーを初期化するか、MP4形式の動画と静止画をすべて消す。	25 51 227
分割できません	• 本機の動画管理情報がいっぱいになったため、分割できない。不要な動画と静止画を消して、再度分割を行う。	51 111
本機で記録したシーンではありません 再生できません (分割できません)	• 他機で記録したシーンは、再生、分割できない。 • ソフトウェアなどで編集したシーンは、分割できない。	—
本機で初期化してお使いください	• メモリーに異常があるためアクセスできない。内蔵メモリー (HFR82のみ) またはカードを本機で初期化する。	25
レンズカバーが開いていることを確認してください	• レンズカバーを開ける。	34
24Pと30Pのシーンは結合変換できません	• 24Pと30Pのシーンを結合してMP4形式の動画に変換することはできない。	—
60Pのシーンは変換できません	• 60Pのシーンは、MP4形式の動画またはFastモーション動画に変換できない。	—

HFR82 外付けハードディスク (HDD)接続時

メッセージ	どうするの？	📖
外付けHDDに書き込みエラーがあります データの修復を試みますか？	記録中に電源がはずれた後、電源を入れた。撮影データを修復するときは「はい」を選ぶ。	—
外付けHDDのすべての情報をすばやく消去します パーティションも解除されます 初期化しますか？	初期化すると、パーティションの有無にかかわらず、外付けハードディスク内の全領域が初期化され、すべてのデータが消去される。消去したくないデータがある場合は、パソコンなどにバックアップ (保存) してから初期化する。	141

HFR82 Wi-Fi 機能使用時

お使いのアクセスポイント (無線親機)の説明書も合わせてご覧ください。

メッセージ	どうするの？	📖
アクセスポイントが見つかりませんでした	- 本機に記憶されているアクセスポイントが見つからなかった。 - 電波の干渉を避けるため、コードレス電話など電波を発する機器から離れて操作する。 - アクセスポイントのSSIDを確認して、同じSSIDを本機に設定する。 - MACアドレスでフィルタリングしているときは、本機のMACアドレスをアクセスポイントに登録する。	— 208 170 168
アクセスポイントがUPnPに対応していません	接続したWi-Fi環境内に、UPnP (Universal Plug and Play) 対応のルーターが見つからなかった。UPnP対応のルーターを使用する。UPnP対応のルーターの場合は機能を有効にする。	—
液晶画面を閉じるとカメラの電源が切れます 転送は中止されます	Connect Stationに撮影データを保存中、本機の液晶画面は開いたままにする。	—

メッセージ	どうするの？	📖
カードカバーがあいています	カードにアクセス中にカードカバーが開けられたため、Wi-Fi機能を中止して、Wi-Fi接続を切断した。カードカバーを閉じて、再びWi-Fi接続を行う。	—
グローバルIPアドレスが取得できませんでした。	- 本機が接続しているインターネット接続環境にグローバルIPアドレスが割り当てられていない。ブロードバンドルーターのWAN側にグローバルIPアドレスが割り当てられているか確認する。 - 家庭内ネットワークに複数のルーターが接続されている。ルーターを1つにする。	—
サーバーに接続できませんでした	宅外モードで使用する外部サーバーにアクセスできなかった。本機を接続したアクセスポイントを、インターネットに接続する。本機の「日付/時刻」を正しく設定する。	224
接続できませんでした	電波の干渉を避けるため、コードレス電話など電波を発する機器から離れて操作する。	208
設定情報にアクセスできませんでした	本機の電源を入れ直す。それでも解決しない場合は、お客様相談センターにご相談ください。	—
転送できませんでした。	- Connect Stationに撮影データを保存中にエラーが発生した。Connect Stationにエラーが発生していないか確認する（参考 ▶ Connect Stationの使用説明書）。 - Connect Stationと本機の電源を入れ直してから、もう一度試す。それでも解決しないときは、お客様相談センターにご相談ください。	— 255

メッセージ	どうするの？	📖
複数のアクセスポイントが検出されました もう一度操作してください	他のWi-Fi機器がWPSのプッシュボタン方式で接続を行っている。しばらくしてから操作するか、「WPS：PINコード」または「アクセスポイント検索」で接続する。	168
ポート番号が不正です 設定し直してください	指定されたポート番号では設定できなかった。宅外モード設定で、他の機器と重ならないポート番号に変更する。	152
無線機能が正しく動作していません	電波の干渉を避けるため、コードレス電話など電波を発する機器から離れて操作する。	208
	本機とアクセスポイントの電源を入れ直して、再度、Wi-Fi設定を行う。それでも解決しない場合は、お客様相談センターにご相談ください。	255
ワイヤレスマイクロホン接続中はWi-Fiを使用できません	ワイヤレスマイクロホンWM-V1とWi-Fi機能は同時に使用できない。MIC端子からマイクを抜く。	—
Connect Stationと接続できませんでした	Connect Stationとの接続時にエラーが発生した。Connect Stationが接続可能な状態であることを確認して、もう一度本機をConnect Stationにかざす。	—
IP アドレスが重複しています	同じネットワークに接続している他の機器とIP アドレスが重複しないよう、本機または他機のIP アドレスを変更する。	173

メッセージ	どうするの？	📖
IP アドレスを取得できませんでした	• DHCP サーバーを使用していないときは、Wi-Fi接続を「手動設定」で行い、IPアドレスを「マニュアル」で設定する。 • DHCP サーバーについて確認する。 ・ 電源が入っていて正常に動作しているか。 ・ 割り当てられるアドレスに余裕はあるか。 • DNS サーバーを使用していないときは、DNS アドレスを「0.0.0.0」に設定する。 • 使用するDNS サーバーと同じIP アドレスを本機に設定する。 • DNS サーバーについて確認する。 ・ 電源が入っていて正常に動作しているか。 ・ IP アドレスと、そのアドレスに対応する名前が正しく設定されているか。 • ゲートウェイ機能を持つアクセスポイントを使用しているときは、本機を含むすべてのネットワーク機器に、正しいゲートウェイアドレスを設定する。	173 — 173 173 — 175
Wi-Fi のパスワードが違います	• アルファベットの太文字／小文字を確認して、正しいパスワード（暗号化キー）を入力する。	172
Wi-Fi の暗号化方式が違います	• 本機とアクセスポイントは同じ認証／暗号化方式で設定する。 • MAC アドレスでフィルタリングしているときは、本機のMAC アドレスをアクセスポイントに登録する。	172 168
Wi-Fiの接続が切れました	• 電波の干渉を避けるため、コードレス電話など電波を発する機器から離れて操作する。 • Wi-Fi 機器にほかからのアクセスが集中している場合など、接続できない状態になっている。しばらくしてから接続する。	208 —

メッセージ	どうするの？	📖
Wi-Fi の認証ができませんでした	● 本機とアクセスポイントは同じ認証／暗号化方式、パスワード（暗号化キー）で設定する。	174
Wi-Fi の認証方式が違います	● MAC アドレスでフィルタリングしているときは、本機のMAC アドレスをアクセスポイントに登録する。	168
WPS で接続できませんでした	● 本機と無線親機（アクセスポイント）の電源を入れ直して、設定し直す。それでも解決しないときは、「アクセスポイント検索」で接続する。	170
WPS で接続できませんでした もう一度操作してください	● 無線親機（アクセスポイント）の説明書で指示されている時間、WPS ボタンを押し続ける。 ● 無線親機のWPS ボタンを長押ししてから2分以内に本機の「OK」をタッチする。 ● 無線親機の設定画面でPIN コードを入力してから2分以内に本機の「OK」をタッチする。	— — —

■ HFR82 Wi-Fi機能のWebサービス使用時

メッセージ	どうするの？	📖
サーバーが混雑していますしばらくしてから実行してください	● CANON iIMAGE GATEWAYサーバーに接続が集中して、繋がりにくくなっている。本機のWi-Fi接続を切り、しばらくしてから接続する。	—
サーバーに接続できませんでした	● CANON iIMAGE GATEWAYサーバーに接続できなかった。本機を接続したアクセスポイントを、インターネットに接続する。	—
サーバーの空き容量が不足しています	● CANON iIMAGE GATEWAYサーバーに保存可能なデータ容量を超えた。不要なデータを消去して、あらためて保存する。	—

メッセージ	どうするの？	📖
送信できない画像です	Webサービスに対応していない形式や容量の映像を送信しようとした。映像の状態を確認してから送信する。	—
送信できる動画は○分*までです。	- 送信する動画の時間（長さ）が、利用するWebサービスの規定を超えた。動画の時間を短くして送信し直す。 * 送信できる動画の時間（長さ）は、Webサービスによって異なります。	—
パソコンと接続し本機に対応のソフトウェアで設定してください ただし、お使いの地域によってはご利用できないことがあります	Webサービスを利用するには、CANON iIMAGE GATEWAYで設定した情報を、ビデオカメラに書き込む必要がある。CameraWindow DCをパソコンにインストールして、CANON iIMAGE GATEWAYで設定する。	161
もう一度実行して下さい	CANON iIMAGE GATEWAYサーバーが一時的に停止しているか、またはサーバーとの通信に不具合が生じた。本機のWi-Fi接続をいったん切り、再接続する。再度同じエラーが出るときは、しばらくしてから再接続する。	—
ネットワーク設定を確認してください	本機のネットワーク設定に誤りがある。接続先やSSIDなどの情報を確認する。	—
パソコンと接続し本機に対応のソフトウェアで設定し直してください	CANON iIMAGE GATEWAYサーバーとの接続に不具合が生じた。CANON iIMAGE GATEWAYで設定した情報を確認して、ビデオカメラに書き込み直す。	162

安全上のご注意

安全に使っていただくための注意事項です。必ずお読みください。
お使いになる方だけでなく、他人への危害や損害を防ぐためにお守りください。

⚠ 警告 死亡や重傷を負うおそれがある内容です。

煙が出ている、異臭がするなどの異常が発生したときは使わない。

破損したときは、内部に触れない。

液体でぬらしたり、内部に液体や異物を入れない。

雷が鳴り出したら、コンセントにつながれた製品
に触れない。ぬらさない。

感電の原因となります。

分解や改造をしない。

強い衝撃や振動を与えない。



禁止



バッテリーや電池を使うときは、次のことに注意する。

- 指定外の製品で使わない。
 - 熱したり、火中投入しない。
 - 指定外の製品で充電しない。
 - 端子に他の金属や金属製のピンやゴミを触れさせない。
 - 液漏れしたものは使わない。
- 液漏れして身体や衣服についたときは、水でよく洗い流す。目に入ったときは、きれいな水で十分洗った後、すぐ医師に相談してください。
- 廃却するときは、接点にテープを貼るなどして絶縁する。
- 感電、破裂、火災の原因となります。



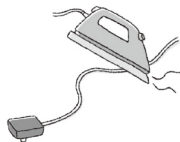
乳幼児の手の届くところに置かない。

指定外の電源は使わない。



バッテリーチャージャーやACアダプター（コンパクトパワーアダプター）を使うときは、次のことに注意する。

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
- 電源プラグの差し込みが不十分なまま使わない。
- 電源プラグや端子に金属製のピンやゴミを触れさせない。
- 電源コードに重いものをのせたり、傷つけたり、破損させたり、加工したりしない。
- 使用中および使用後すぐに、製品に布などをかけない。
- コードを引っ張って電源プラグを抜かない。
- 電源に長時間つないだままにしない。



禁止

長時間、身体の同じ部位に触れさせたまま使わない。

熱いと感じなくても、皮膚が赤くなったり、水ぶくれができたりするなど、低温やけどの原因となることがあります。気温の高い場所で使うときや、血行の悪い方や皮膚感覚の弱い方などが使うときは、三脚などを使ってください。

電源プラグやコンセントのほこりを、定期的に乾いた布で拭き取る。



強制

使用が禁止されている場所では、電源を切るなどの指示に従う。

電波の影響で機器類が誤動作し、事故の原因となるおそれがあります。



注意 傷害を負う可能性がある内容です。



禁止

製品を高温や低温となる場所に放置しない。

製品自体が高温や低温になり、触れるとやけどやけがの原因となります。



強制

三脚を使うときは、十分に強度があるものを使う。

長い時間、ファインダーや画面を見続けない

乗り物酔いのような症状をおこすことがあります。すぐに製品の使用を中止して休息をとってください。

取り扱い上のご注意

ここでは本機やバッテリーとカードなどを取り扱うときに注意していただきたいことを説明しています。

■ ビデオカメラ本体

データはバックアップする

故障などに備えて、撮影した動画や静止画はパソコンやDVD / BD (ブルーレイディスク) レコーダー、Connect Station CS100 (別売) などにバックアップしてください。データ消失については、当社では一切の責任を負いかねます。

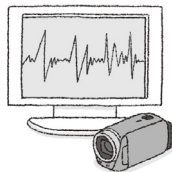


ホコリなどの多い場所で使わない

ホコリ・砂・水・泥・塩分の多い場所で使用・保管しないでください。本機は防水・防じん構造になっていませんので、これらが内部に入ると故障の原因となります。

磁石の近くなどで使わない

磁石、モーターの近くや電波塔の近くなど、強い磁気や電波が出る場所で使うと映像や音声が乱れることがあります。



強い光源にレンズを向けない

レンズを強い光源 (晴天時の太陽や人工的な強い光源など) に向けしないでください。撮像素子などの内部の部品が損傷する恐れがあります。本機を使用しないときはレンズカバーを閉じてください。

液晶画面を...

つかんでもちあげない

→ 液晶画面の接合部が破損することがあります。

無理に閉じない

→ 正しい位置に戻してから閉じないと破損することがあります。

ボールペンなどのとがったものでタッチしない

→ タッチパネルが破損することがあります。

強くタッチしない

→ タッチパネルの表示がムラになったり、液晶画面の接合部が破損することがあります。

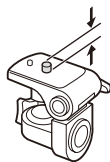
金属類に接触させない

→ 液晶画面に触れて誤動作することがあります。

ネジの長い三脚は使わない

取り付けネジの長さが5.5 mm以上の三脚を取り付けると、本体を破損することがあります。

5.5mm 未満



HFR82 Wi-Fi機能について

電波に関するご注意

- 本製品のうち、外国為替、および外国貿易法の規定により、戦略物資等（または役務）に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本政府の輸出許可（または役務取引許可）が必要です。
- 航空機内で使用する場合は、乗務員の指示に従ってください。

- **HFR800** 本製品は、FlashAirカードの機能（無線送信を含む）を保証するものではありません。カードに関する不具合は、カードメーカーにお問い合わせください。また、FlashAirカードの使用には、多くの国や地域で認可が必要であり、認可を取得していない国や地域での使用は認められていません。使用が認められているかご不明の場合は、カードメーカーにご確認ください。なお、FlashAirカードは、国や地域によってお買い求めいただけないことがあります。

■ バッテリー

端子はいつもきれいに

バッテリーと本体端子（充電器の端子）やバッテリーチャージャーの間に異物が入り込まないようにしてください。接触不良、ショート、破損の原因となります。

正しく残量表示されないときは

バッテリーをフル充電してください。ただし、バッテリーの使用回数が多いとき、フル充電後に放置したとき、高温下で長時間使ったときは、正しく表示されないことがあります。なお、表示は目安としてご使用ください。

インテリジェントシステム非対応のバッテリーについて

- インテリジェントシステム（QQ241）に対応していないバッテリーを本機やバッテリーチャージャー CG-700（別売）に取り付けて、充電することはできません。
- インテリジェントシステムに対応していないバッテリーを本機に取り付けて使用した場合、バッテリー残量は表示されません。

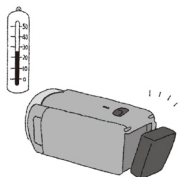
POINT

使用時間を長くするコツ

こまめに電源を切り、10℃～30℃のところで使用すると、長く使えます。スキー場などでバッテリーが冷たくなると、一時的に使用時間が短くなりますので、ポケットなどに入れて温めてから使用すると効果的です。

長い間保管するとき

- バッテリーの消耗を防ぐため本体から取り外し、乾燥した30℃以下のところで保管してください。
- バッテリーの劣化を防ぐため、画面に「バッテリーパックを充電してください」が表示されるまで使い切ってから、保管してください。
- 1年に1回程度、充電完了まで充電してから使い切ってください。



■ カード

データはバックアップする

静電気、カードの故障などによるデータの損傷・消失に備えて、データはパソコンなどにバックアップしてください。なお、データ損傷および消失については、当社では一切の責任を負いかねます。

端子に触れない

汚れが付着し、接触不良の原因となります。

磁気に注意する

強い磁気が発生する場所で使わないでください。



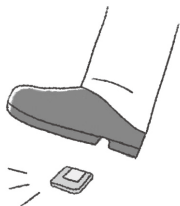
高温・多湿の場所に放置しない

シールを貼らない

カード表面にシールなどを貼ると、シールが差し込み口につまるおそれがあります。

ていねいに扱う

落とす、ぬらす、強い衝撃を与えるなどしないでください。分解は絶対にしないでください。

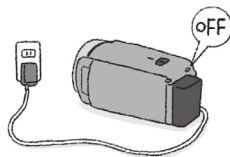


■ 充電式内蔵電池

本機には充電式のリチウム電池が内蔵されており、日付などの設定を保持しています。この電池は本機を使用中、自動的に充電されますが、約3か月使わないと完全に放電してしまいます。このときは次のようにして充電してください。

充電のしかた

- ① 電源を切る。
 - ② 本機にコンパクトパワーアダプター（ACアダプター）をつなぐ。
- 約24時間後に内蔵リチウム電池の充電が完了する。



■ その他のご注意

情報漏洩に注意（譲渡・廃棄するときは）

内蔵メモリー（HFR82のみ）やカードに記録されたデータは、消去や初期化をしても、ファイル管理情報が変更されるだけで、完全には消えません。譲渡・廃棄するときは、データを復元できないように、一度内蔵メモリーまたはカードの完全初期化（☐25）を行った後、本機を箱などで覆って最後まで撮影し、再度完全初期化を行います。これによって、情報漏洩を防いでください。

結露について

室温が高いとき、冷水の入ったコップの表面に水滴がつくことがあります。この現象を結露といいます。本機が結露した場合、そのままの状態を使うと故障の原因になりますので注意してください。なお、次のような条件のときに結露が発生しやすくなります。

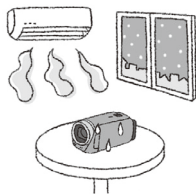
- 寒い所から急に暖かい所に移動したとき
- 湿度の高い部屋の中
- 夏季、冷房のきいた部屋から急に温度や湿度の高い所に移動したとき

結露したらどうする？

周囲の環境によって多少異なりますが、水滴が消えるまで約2時間程度放置してください。

温度差のある場所へ移動するときは

バッテリーを取り外し、カードを取り出して、本機とバッテリーをビニール袋に空気がはいらないように入れて密閉します。移動先の温度になじんだら袋から取り出します。

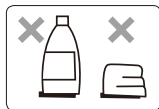


日常のお手入れ

本体がよごれたときは

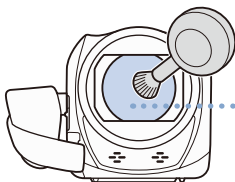
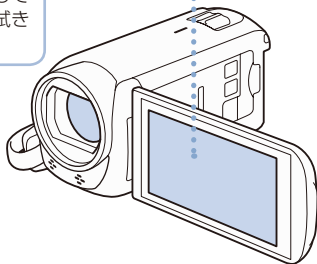
柔らかい布で拭こう

- 乾いた布で軽く拭いてください。
- 化学ぞうきんやシンナーは表面を傷めますので使わないでください。



液晶画面

市販の眼鏡クリーナー（布製）で拭きます。水滴が付着しているときは柔らかい布で拭き取ります。



レンズ

ブローでゴミやホコリを取ったら、市販の眼鏡クリーナー（布製）で拭きます。

海外で使う

海外で使用する際の便利機能やマメ知識です。

■ 充電する

海外でも付属のコンパクトパワーアダプター (AC100～240 V 50/60 Hzまでの電源に対応) を使ってそのまま充電できます。コンセントの形が異なる国では、変換プラグを使用してください。

ご注意

- コンパクトパワーアダプター (ACアダプター) を変圧器に接続しないでください。故障するおそれがあります。

■ テレビで見る

本機で記録した動画はNTSC方式 (アナログ) または60Hz (デジタル) のテレビ放送を採用している地域のテレビで再生できます。以下の国や地域ではNTSC方式を採用しているため、本機をテレビに接続するとそのまま映像を見ることができます。

- | | | |
|-----------|-------------|----------|
| ● アメリカ合衆国 | ● コロンビア | ● パナマ |
| ● エクアドル | ● ジャマイカ | ● フィリピン |
| ● エルサルバドル | ● 台湾 | ● ブエルトリコ |
| ● カナダ | ● チリ | ● ベネズエラ |
| ● 大韓民国 | ● ドミニカ | ● ペルー |
| ● キューバ | ● トリニダードトバゴ | ● ボリビア |
| ● グアテマラ | ● トンガ | ● ミャンマー |
| ● グアム | ● ニカラグア | ● メキシコ |
| ● コスタリカ | ● ハイチ | |

(NTSC方式を採用している国や地域 - NHK放送文化研究所発行「世界の放送2007」による -)

■ 旅行先の日時に合わせる

2つの地域の日時を登録できるため、海外旅行先の日時を設定しておく、撮影した映像を現地時間で記録できます。

1. 家 → 時計 → 飛行機 → 「エリア/サマータイム」をタッチする。
2. ✖ をタッチする。
3. ▲/▼ をタッチして、旅行先を選ぶ。

旅行先がサマータイムのとき
✱ をタッチする。

4. 時計 → 「日付/時刻」をタッチする。
5. ▲/▼ をタッチして日時を設定する。
6. OK → ✖ をタッチする。



旅行から帰ってきたら

1. 上記の操作2で、✱ をタッチする。
2. ✖ をタッチする。

メニューの紹介

撮影／再生によってそれぞれ設定できる機能が異なります。ご購入時は、.....の内容に設定されています。各機能の詳細は、📖欄のページか欄外に説明があります。

🏠 ホーム画面

設定のしかたについては「ホーム画面で操作する」(📖29)をご覧ください。

機能	設定内容	📖
🔧 セットアップ	—	217
📷 記録設定	動画形式、録画モード、記録先、同時記録/リレー記録	55~59
撮影モード	💡 ベビーモード、 AUTO オート、🔆 高輝度優先、🎬 シネマ、SCN シーンモード、P プログラムAE	38~40、60~67
🔊 撮影設定	—	229
📺 ライブストリーミングリモコン*	🏠 宅内モード、🌐 宅外モード、👉 設定確認/変更	148
📷 静止画再生	静止画のインデックス画面に切り換え	48
🎬 動画再生	動画のインデックス画面に切り換え	44
💡 ベビーアルバム	ベビーアルバムに切り換え	45
📷 ビデオスナップ	ビデオスナップ (AVCHD形式) のインデックス画面に切り換え	45
📶 Wi-Fi*	🔌 Camera Connect、🌐 Webサービスに接続、👉 設定確認/変更	146

* 📺 HFR82 のみ。

■ 設定メニュー

設定のしかたについては「セットアップメニューの設定を変える」(P31)をご覧ください。

● カメラ設定 (撮るモードのみ)

機能	設定内容	📖
セルフタイマー	ON 入、 OFF 切	—
ズームスピード	VAR 可変速、 ≫ スピード3、 ≡ スピード2、 > スピード1	—
起動時ズーム位置	広角端、前回保持	—
フレーミングアシスト	A オート、 M マニュアル	42
フレーミングアシスト範囲	■ 広い、 □ 通常、 □ 狭い	
フォーカスアシスト	ON 入、 OFF 切	—
フェイスキャッチ&追尾	ON 入、 OFF 切	84
自動逆光補正	ON 入、 OFF 切	—
オートスローシャッター	ON 入、 OFF 切	—
フリッカー低減	OFF 切、 50Hz 50Hz、 60Hz 60Hz	—
手ブレ補正	📷 ダイナミック、 📷 スタンダード、 OFF 切	—
マルチシーンIS	📷 パワードISあり、 📷 パワードISなし	40
ビデオスナップ記録時間	2sec 2秒、 4sec 4秒、 8sec 8秒	83

セルフタイマー

セルフタイマーを「入」にして、START/STOPボタン(動画のとき)を押すか📷(静止画のとき)をタッチすると、約10秒後に撮影が始まります。

- 撮影モードが👶(ベビーモード)のときは使用できません。

- 以下の操作を行うと、セルフタイマーが解除されます。
 - 撮影開始までの時間を表示中に、START/STOPボタン（動画のとき）を押すか、（静止画のとき）をタッチする。
 - 電源を切る。
 - （再生）ボタンや撮影モードを操作する。

ズームスピード

ズームレバーを押したときのズームの速さを選べます。

- 「可変速」にするとズームレバーを浅く押すとゆっくりとズームし、深く押すと速くズームします。
- 「スピード3」（速い）～「スピード1」（遅い）の固定速を選ぶこともできます。

起動時ズーム位置

電源を入れ直したときに、ズームを一番広角側で起動するか、前回の位置で起動するか選べます。

- 一番広角側で起動するときは「広角端」、前回のズーム位置で起動するときは「前回保持」を選びます。
- 「広角端」に設定して起動した場合、手動で調整したピント（フォーカス）は解除され、自動調整になります。

フォーカスアシスト

マニュアルフォーカス（91）でピントを調整しやすくするために、画面の中央を拡大して表示します。

- 記録する動画や静止画には影響しません。撮影を開始するか、4秒経過すると拡大表示は解除されます。
- 撮影モードが （高輝度優先）、（シネマ）、**SCN**（シーンモード）、**P**（プログラムAE）のときに設定できます。
- 動画撮影時のみ使用できます。

自動逆光補正

逆光下で撮影する場合、自動的に補正して被写体を明るく撮影できます。

- 撮影モードが  (高輝度優先)、 (シネマ)、**SCN**(シーンモード)、**P**(プログラムAE)のときに設定できます。ただし、以下の場合は使用できません。
 - 撮影モードを「シネマ」にして「シネマスタンダード」以外のシネマルックフィルターを選んでいるとき (61)
 - シーンモードで「夜景」、「スノー」、「ビーチ」、「夕焼け」、「スポットライト」、「打上げ花火」を選んでいるとき (64)

オートスローシャッター

明るさが不足する場所(暗めの室内など)で撮影する場合、シャッタースピードを自動的に遅くして、より明るい映像を記録します。

- 1/30秒までのスローシャッターに設定されます。なお、「フレームレート」(95)が **PF30** または **30P** のときは1/15秒に、**24P** のときは1/12秒に設定されます。
- 撮影モードが **SCN**(シーンモード)のときは設定できません。
- 動きのある被写体を撮るとき、尾を引いたような残像が出る場合は、「切」を選びます。

フリッカー低減

蛍光灯の下で撮影するときに、ちらついて見えることがあります。その場合は「50Hz」または「60Hz」に設定することでちらつきを低減することができます。

- 撮影モードが  (高輝度優先)、 (シネマ) または **P**(プログラムAE)のときに設定できます。

手ブレ補正

手ブレを補正して動画や静止画を撮影します。撮影のしかたによって補正方式を選べます。

ダイナミック*	歩きながら撮影するときなどの大きな手ブレを補正。ズームを広角側にするほど効果大きい。
スタンダード	止まって手持ちで撮影するときなどの比較的小さな手ブレを補正。自然な映像が撮影できる。
切	三脚などを使って撮影するとき。

* → → 「ズーム倍率」(□230)を「57x(アドバンスト)」または「1140x(デジタル)」にしているときは、「ダイナミック」を選択できません。

- 撮影モードが (高輝度優先)、 (シネマ)、**SCN** (シーンモード)、**P** (プログラムAE)のときに設定できます。
- 手ブレが大きすぎると、補正しきれないことがあります。
- さらに手ブレ補正を強化するときは「パワードIS」を「ON」にしてください(□231)。

再生設定 (見るモードのみ)

機能	設定内容	
BGM選択	OFF 切、 ON 入 (MUSIC_01~XX) BGMバランス: 	105
スライドショーエフェクト	OFF 切、 クロスフェード、 スライド	—
ビデオスナップ記録時間	2sec 2秒、 4sec 4秒、 8sec 8秒	103

スライドショーエフェクト

静止画を再生するときに、自然に切り換わる「クロスフェード」や横にスライドする「スライド」の効果をつけることができます。

☰ 表示設定

機能	設定内容	📖
マーカー表示	OFF 切、 Ew 水平 (白)、 EG 水平 (グレー)、 EW グリッド (白)、 EG グリッド (グレー)	—
日時表示	ON 入、 OFF 切	—
オンスクリーン表示	ON 入、 OFF 切	—
液晶明るさ調整	※  ※	—
液晶バックライト	H 高輝度、 M 通常、 L 低輝度	—
液晶対面ミラー	ON 入、 OFF 切	—
HDMI出力状態	—	—
テレビタイプ	4:3 4:3テレビ、 16:9 ワイドテレビ	—

マーカー表示 (撮るモードのみ)

画面に水平線や格子状の線 (グリッド) を表示します。被写体の水平・垂直を確認しながら撮影できます。

- 水平線やグリッドは、撮影した動画や静止画には表示されません。

日時表示 (見るモードのみ)

再生中の日時の表示を入／切します。

- MP4形式の動画を再生中は日付のみ表示できます。

オンスクリーン表示

液晶画面に表示される情報を、本機に接続したテレビの画面に表示します。

液晶明るさ調整

液晶画面の明るさを調整します。

- または ● をタッチして、調整します。
- 記録される映像や、テレビで再生する映像の明るさは変わりません。

液晶バックライト

画面の明るさを3段階で切り換えます。

- 記録される映像や、テレビで再生する映像の明るさは変わりません。
- 画面を明るくすると、バッテリーの使用時間が短くなります。
- コンパクトパワーアダプター（ACアダプター）をつないだときは、自動的に「H 高輝度」に切り換わります。

液晶対面ミラー（撮るモードのみ）

液晶画面をレンズ側に向けると左右が反転し、被写体に鏡を見ているような映像を見せながら撮ることができます。

- 「入」にして、液晶画面をレンズ側に向けたときは、デコレーションできません。

HDMI 出力状態

HDMI OUT端子の現在の出力状態を確認できます。

テレビタイプ（見るモードのみ）

ステレオビデオケーブルSTV-250N（別売）でテレビにつないで見るときに、接続するテレビに合わせて選びます。映像の縦・横の比率を正しく再生します。

4 : 3テレビ

4:3テレビに接続するときに選ぶ。

16 : 9 ワイドテレビ

ワイドテレビに接続するときに選ぶ。

- 「4 : 3テレビ」に設定しているとき、16:9で撮影した映像を再生すると、画面に表示される映像が小さくなります。
- ハイスピードHDMIケーブル（付属）で他の機器に接続しているときは、設定できません。

🔧 システム設定

機能	設定内容	📖
言語 	日本語、ENGLISH	—
エリア/サマータイム	🏠 (自宅)、✈️ (旅行先) エリア: トウキョウ、世界の時間帯 * サマータイム: 入/切	—
日付/時刻	日付/時刻: — 日時スタイル: Y.M.D、M.D.Y、D.M.Y 24H表示: ON、OFF	—
ビューアシスト	ON 入、OFF 切	—
ファイルロック	🔒 入、OFF 切	—
メモリー残量表示	—	—
メモリー使用量表示	—	—
HFR82 HDD情報表示*	—	—
AV/ヘッドホン	AV AV、🎧 ヘッドホン	100
音量	スピーカーのとき: 🔊、🔊、🔊	46
	ヘッドホンのとき: 🎧、🎧、OFF	100
おしらせ音	🔊 大、🔊 小、OFF 切	—
カスタムボタン	撮影設定メニューから選択可。 初期設定は📷 (フレーミングアシスト)	—
バッテリー情報	—	—
表示単位系	m メートル/グラム、ft フィート/ポンド	—
ファイル番号	🔄 オートリセット、➡️ 通し番号	—
オートパワーオフ	ON 入、OFF 切	—
液晶画面で電源オン	する、しない。	—
USB接続指定	💻 パソコン、📶 Connect Station、 📶 接続時に選択	—
NFC	ON 入、OFF 切	150

機能	設定内容	
HFR800 FlashAir**	ON 入、OFF 切	—
HFR82 初期化 / HFR800 初期化	HFR82 内蔵メモリー、 カード 初期化、完全初期化	25
HFR82 初期化 *	—	141
Firmware	—	—
HFR82 フォルダ消去*	—	140
HFR82 MACアドレス	—	—
認証マーク表示	—	—
設定初期化	—	—

* 外付けハードディスク接続時のみ。

** カードスロットにFlashAirカードが入っているときのみ。

言語

画面に表示される言語を変えます。

エリア/サマータイム

住んでいる地域と旅先の地域をそれぞれ設定して、切り換えて使えます。

- または を選んだあと、 または をタッチして地域を選びます。
- 選んだ地域がサマータイムを導入しているときは (サマータイム)をタッチします。

日付/時刻

日時を合わせたり、年月日の順番を変更したりできます。

ビューアシスト

(高輝度優先)で撮影する場合、入にすると実際に近い明るさで映像を確認できます。また、 (高輝度優先)で撮影したシーンを画面で見る場合、「入」にすると映像の明るい部分が自然な階調で再生できます。

ファイルロック (見るモードのみ)

「**入**」にすると、動画／静止画の再生画面の編集ボタンがロックされ、編集メニューに入れなくなります。撮影した動画／静止画ファイルの誤消去などを防止できます。

メモリー残量表示 (撮るモードのみ)

内蔵メモリー (HFR82のみ) やカードの総容量や残量、動画の記録可能時間*1、静止画の記録可能枚数*1を確認できます。

例：カードの場合



SDスピードクラス

*1 現在設定している動画の録画モードや、静止画のサイズをもとに算出します。

*2 **HFR82** 実際に使用できる内蔵メモリーの容量は、主な仕様に記載の容量より若干少ないことがあります。

メモリー使用量表示 (見るモードのみ)

内蔵メモリー (HFR82のみ) やカードの総容量や使用量、動画の記録済み時間、静止画の記録済み枚数などを確認できます。

HFR82 HDD情報表示 (見るモードのみ)

外付けハードディスクの総容量や使用量、保存フォルダー数を表示します。

おしらせ音

電源を入れたり、セルフタイマーを使うときなどに音が鳴ります。

- 音を鳴らしたくないときは「切」を選びます。
- プレREC(□231)を「入」にしていると、一部のおしらせ音は鳴りません。

カスタムボタン (撮るモードのみ)

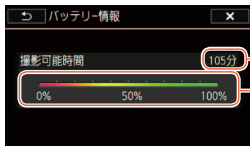
撮影設定メニューとフレーミングアシストから、よく使う機能を選んで設定できます。設定すると選んだ機能がショートカットとして登録され、画面上のカスタムボタンに割り当てられます。



- 撮影モードが👶(ベビーモード)のときは自動的にA(フレーミングアシスト)に設定され、変更できません。

バッテリー情報

バッテリーの残量(%)と撮影／再生可能時間(分単位まで)を確認できます。



- バッテリーが消耗していると表示されないことがあります。

表示単位系

撮るモードで、ピントを手動調整するときに表示される被写体までの距離や、ベビーモードで設定できる身長や体重の単位を変更できます。

ファイル番号

個々のMP4形式の動画／静止画ファイルに付けられる番号の付けかたを選びます。100-0001、100-0002、100-0003のような順に自動的に番号が付けられ、カード内のフォルダーに保存されます。

オートリセット

初期化されたメモリーに記録する場合、ファイル番号は常に100-0001から始まる。すでにMP4形式の動画／静止画が記録されているときは、その続きの番号になる。

通し番号

ファイル番号は、最後に記録したMP4形式の動画／静止画の続き番号から始まる。ただし、メモリーに記録されているファイル番号のほうが大きいときは、その続き番号になる。パソコンで管理するときなどに便利。

- 通常は「通し番号」に設定しておくことをおすすめします。
- 1つのフォルダーにはMP4形式の動画と静止画を合わせて500ファイルまで保存することができます。
- ファイル番号は、メモリー内に作られるフォルダーの番号（上3桁）とMP4形式の動画／静止画に固有の番号（下4桁）を表しています*。
* ファイル番号の範囲は、上3桁が100～999、下4桁が0001～9900です。
- 自動的に日付がフォルダー名として付けられます。12月10日に記録したカードをパソコンで見ると、ファイル番号が「101-1234」の場合、「DCIM」→「101_1210」というフォルダーの中に「MVI_1234.MP4」または「IMG_1234.JPG」というファイル名で表示されます。

オートパワーオフ

バッテリー使用時、約3分間何も操作しないと、節電のために電源が切れます。

- 電源が切れる約30秒前に、「 オートパワーオフ」が表示されます。表示中に何らかの操作をすると解除されます。

液晶画面で電源オン

液晶画面の開閉によって電源を入れたり切ったりします。

- 「しない」に設定した場合はON/OFFボタンで電源を入れてください。

USB接続指定 (見るモードのみ)

他の機器とUSBケーブルでつないだときの動作を選びます。

パソコン

パソコンとつなぐとき。

Connect Station

Connect Station CS100とつなぐとき。

接続時に選択

USBケーブルをつないだときに、接続する機器を選びたいとき。

HFR800 **FlashAir**

カードスロットに入れたFlashAirカードのWi-Fi通信の動作モードを設定する。

Firmware (撮るモードのみ)

ビデオカメラの現在のバージョンを確認できます。

- Firmware(ファームウェア)とは、機器を制御するために組み込まれたソフトウェアのことです。ビデオカメラでは、このFirmwareによって、撮影や画像処理などの動作が行われます。
- 通常は灰色で表示されます。

HFR82 **MACアドレス**

本機のMACアドレスを確認できます。

認証マーク表示

本機が対応している認証マークの一部を確認できます。

設定初期化

すべての設定を解除して、ご購入時の設定に戻します。

- 日時やWi-Fi(**HFR82**のみ)の設定などすべての設定が初期化されます。

■ 記録設定 (撮るモードのみ)

機能	設定内容	📖
動画形式	AVCHD AVCHD、 MP4 MP4	55
録画モード	AVCHDのとき：60P 60P記録モード、 MXP 高画質モード、FXP フルHD標準モード、 LP 長時間モード MP4のとき：35Mbps 60P記録モード、 24Mbps 高画質モード、17Mbps フルHD標準モード、 4Mbps 長時間モード	56
HFR82 記録先	動画記録先：📁 内蔵メモリー、📁 SD カード 静止画記録先：📁 内蔵メモリー、📁 SD カード	58
HFR82 同時記録/リレー記録	OFF 通常記録、+ MP4 同時記録、 📁 SD / 📁 SD 📁 リレー記録	—

■ 撮影設定 (撮るモードのみ)

機能	設定内容	📖
🎵 ビデオスナップ	ON (入)、 OFF (切)	83
AUDIO オーディオシーン	🎵 スタンダード、🎵 音楽、🗣️ スピーチ、 🐦 森と野鳥、🔊 ノイズカット	99
🖌️ デコレーション	🖌️ ペン&スタンプ、🌟 アニメーション、 🕒 日付/時刻 / 🕒 (ベビーモード時)、 🎞️ ミックス画選択、⏏ (画面静止)、 🖱️ (ツールバー移動)	74

機能	設定内容	📖
Slow & Fast	切、常時、区間 常時Slow & Fastのとき： x1/2、x2、x4、x10、x20、x60、x120、x300、x600、 x1200 1フレーム、0.5秒 区間Slow & Fastのとき： x1/2 スロー、 x1 等倍、 x2 ファスト	68
フェーダー	OFF 切、 F1 オートフェード、 F2 ワイプ 黒、白	87
ズーム倍率	32x 光学、 57x アドバンスト、 1140x デジタル テレマクロ：入／切	— 97
パワードIS	ON (入)、 OFF (切)	—
プレREC	ON (入)、 OFF (切)	—
フォーカス	MF (マニュアル)：入／切	91
露出	M (マニュアル)：入／切	89
マイクレベル	A (オート)、 M (マニュアル) オートのとき：レベルメーター 入／切	—
WB ホワイトバランス	AWB オート、 太陽光、 電球、 セット	93

ズーム倍率

3種類のズームがあります。

32x (光学)

32倍までズームすることができます。

57x
(アドバンスト)

最高倍率は57倍です。最も広角(**W**側)にすると、光学ズームよりさらに広い範囲の画角になります。

1140x
(デジタル)

光学ズームの領域を超えると自動的にデジタルズームに切り換わります。最高倍率は1140倍で、デジタルズームの領域は水色で表示されます。デジタルズームの領域では映像をデジタル処理するため、拡大するほど映像が粗くなります。

- 撮影モードが  (高輝度優先)、 (シネマ)、**SCN**(シーンモード)、**P**(プログラムAE)のときに設定できます。
- 「1140x(デジタル)」に設定しているときに撮影モードを **AUTO** (オート)や  (ベビーモード)にすると、光学ズームに自動的に切り換わります。

パワードIS

手ブレ補正を強化することができます。止まっている遠くの被写体を、静止して撮影するときに効果的です。

- 撮影モードが  (高輝度優先)、 (シネマ)、**SCN**(シーンモード)、**P**(プログラムAE)のときに設定できます。電源を切ると解除されます。

ブレREC

3秒前からの映像が自動的に記録され、決定的瞬間を逃しません。

- ベビーモードでは自動的にブレRECが「入」に設定され、解除できません。
- ブレRECの設定直後や撮影終了後から約3秒以内に撮影を始めると、3秒前からの映像は記録されません。
- ブレRECは以下の場合、解除されます。
 - ブレRECを設定した後、約5分間操作しなかったとき。
 - 電源を切る、 (再生)ボタンを押す、撮影モードを切り換えるなどしたとき。
 - ビデオスナップモード、またはスロー & ファストモーションをONにしたとき。
 - 「動画形式」、「録画モード」または「記録先」の設定画面に入ったとき。
 - 「オーディオシーン」、「フェーダー」、「ホワイトバランス」の設定画面に入ったとき。
 - 記録先メモリーがいっぱいのときや、カードのフタを開けたときなど、記録できない状態になったとき。

マイクレベル

内蔵マイクや外部マイクの録音時の音量(マイクレベル)を手動で調整できます。

- 撮影モードが  (高輝度優先)、 (シネマ)、**SCN**(シーンモード)、**P**(プログラムAE)のときに設定できます。

マイクレベルを調整する

1.  →  (マイクレベル) → **M** (マニュアル) → ◀ / ▶ をタッチして調整する。

- 自動調整に戻すときは **A** (オート) をタッチする。レベルメーターを表示するときは「レベルメーター」をタッチする。
- レベルメーターの表示が-12dBよりも右の位置で時々点灯するように調整する。

2. **X** をタッチする。

- 市販のマイクをMIC端子につなぐと、自動的にマイクレベル (🔊231) のレベルメーターが表示されます。
- レベルメーターの「0」の位置が赤く表示されているときは、音がひずむことがあります。
- マイクレベルを調整するときは、ヘッドホンで音量を確認することをおすすめします (🔊100)。

■ 編集メニュー（見るモードのみ）

🎞️ 動画再生

機能	インデックス画面	再生一時停止中	📖
HFR82 コピー [📷 ➡ SD]	ある日に撮ったシーン、選択、 全シーン	—	117
HFR82 MP4変換 [📷 ➡ SD]	選択	—	120
HFR800 MP4変換			
消去	ある日に撮ったシーン、選択、 全シーン	1シーン	51
HFR82 Fastモーショ ン変換 [📷 ➡ SD]	選択	—	123
分割	—	●	111
トリミング	—	●	113

🖼️ 静止画再生

機能	インデックス画面	再生中	📖
HFR82 コピー [📷 ➡ SD]	ある日に撮った静止画、選択、 すべての静止画	1枚	119
消去	ある日に撮った静止画、選択、 すべての静止画	1枚	51

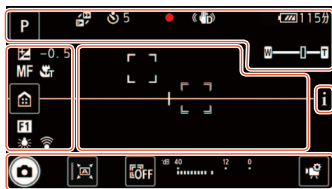
MEMO

- 他の機能の設定内容などにより設定できない機能は、灰色で表示されます。

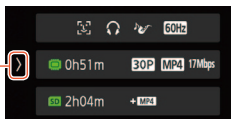
画面の見かた

撮影中や再生中に表示される情報です。撮影モードによって表示される内容が異なります。

■ 撮るモードの画面

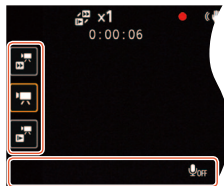


情報画面を開く



情報画面を閉じる

区間Slow & Fastのとき



画面上部

アイコン／表示	説明	📖
、 SCN 、 P	撮影モード	64
00:00:00	撮影時間（時：分：秒）	—
x0000 0:00:00	スロー & ファストモーション、倍速／記録済みの時間（記録中）	68
	セルフタイマー	217
	撮影状況 ：撮影中 ：撮影停止中 ：プレREC	35 231
	手ブレ補正	217
 000分	バッテリー残量と撮影／再生可能時間（分単位）の目安。（赤色）は残量なし。充電したバッテリーと交換する。本機／バッテリーの状態により、実残量と表示が異なることがある。	—
*、SD、	静止画記録、記録先メディア。カードエラーのときは（赤色）が出る。	58
	ズームバー	41

* HFR82のみ。

画面左

アイコン／表示	説明	📖
±0.00	露出	89
MF	フォーカス	91
	テレマクロ	97
	ホーム	216
F1 、 F2	フェーダー	87
	ホワイトバランス	93

アイコン／表示	説明	📖
	HFR800 FlashAirカード FlashAirカードエラーのときは📶が出る。カードを確認する。	228
	区間Slow & Fastの倍速	71

画面中央

アイコン／表示	説明	📖
	顔検出枠	85
	タッチ追尾枠	85
	マーカー表示	221

画面下部

アイコン／表示	説明	📖
	静止画撮影	37
	シネマルックフィルター、フィルター番号	61
	カスタムボタン カスタムボタンに割り当てられている機能のアイコンが表示される。初期設定は📐 (フレーミングアシスト)。	226
	ピント・露出の固定状態	37
	タッチ追尾解除	84
	レベルメーター	232
	音声記録OFF。スロー & ファストモーションの記録中は、音声記録されない。	68
	撮影設定。撮影モードが👶 (ベビーモード)のときは自動的に🌀 (デコレーション)に設定され、変更できない。	229

情報画面

アイコン／表示	説明	📖
	フェイスクャッチ&追尾	84
50Hz 、 60Hz	フリッカー低減	219
	ヘッドホン	100
	オーディオシーン	99
*、 *、 / 0h00m *、 / 0h00m	動画の記録先*、記録可能時間（撮影画面では30分未満になると残りの時間（時、分）を表示）。メモリーに空きがなくなると「END」（赤色）または「END」（赤色）が出て、記録を停止する。	245
0h00m* 0h00m*	リレー記録と記録可能時間（合計）	59
PF30 、 30P 、 24P	フレームレート	95
AVCHD 、 MP4	動画形式	55
60P 、 MPX 、 FXP 、 LP 、 24Mbps、17Mbps、4Mbps	録画モード	56
0h00m + MP4	HFR82 同時記録	59

* **HFR82**のみ。

■ 見るモードの画面



画面上部

アイコン／表示	説明	📖
編集、🔒 📷	編集メニュー。🔒：ファイルロック中。 📷（高輝度優先）で撮影した映像。	47 63 233
▶、⏸、◀/▶、▶▶、 ◀◀、◀ / ▶	再生状況 ▶：再生、⏸：再生一時停止、 ◀/▶：逆スロー再生／スロー再生、 ▶▶：早送り、◀◀：早戻し、 ◀ / ▶：コマ戻し／コマ送り	—
📶、📶	HFR800 FlashAirカード FlashAirカードエラーのときは📶が出る。カードを確認する。	228
🕒 0:00:00*、 SD 0:00:00	再生中のメモリー、再生時間（時：分：秒）	—
🕒 00/00*、SD 00/00	再生中のメモリー、表示枚数／全枚数	—
AVCHD、MP4	動画形式	55
60P、MXP、FXP、LP、 24Mbps、17Mbps、4Mbps	録画モード	56
000	再生シーン番号	—
000-0000	ファイル番号（MP4動画形式と静止画のみ）	227

* HFR82のみ。

画面下部

アイコン／表示	説明	📖
⏮、⏭、⏮、■、 ⏮、⏭、▶、⏮、 ▶	操作ボタン ⏮：前へスキップ、⏭：次へスキップ、 ⏮：再生一時停止、■：再生停止、 ⏮：早戻し、⏭：早送り、▶：再生、 ⏮：逆スロー再生、▶：スロー再生	46
▶、📊、📌	操作ボタン ▶：スライドショー、📊：インデックス画面、 📌：ジャンプ	50
🎵	音量／BGMバランス調整	46
📷	あとからフォト	104
👉	タッチデコレーション	74
📺	ビデオスナップ	83
PM 1:23 2017. 12. 10	日時表示	221

アクセサリ紹介

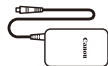
本機の別売品について紹介しています。



バッテリーパック
BP-718 / BP-727



バッテリーチャージャー
CG-700



コンパクトパワーアダプター
(ACアダプター) CA-110



ハイスピードHDMI
ケーブル HTC-100



ステレオビデオ
ケーブル STV-250N



USBアダプター
UA-100*



USBケーブル
IFC-400PCU



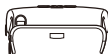
カメラパンテーブル
CT-V1*



Connect Station
CS100



ソフトキャリング
ケース SC-2000



ビデオソフトケース
VSC-50

* HFR82 のみに搭載している機能で使用するアクセサリです。

ご注意

● アクセサリーはキャノン純正品のご使用をおすすめします。

本製品は、キャノン純正の専用アクセサリーと組み合わせて使用した場合に最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キャノン純正アクセサリーのご使用をおすすめいたします。なお、純正品以外のアクセサリーの不具合（例えばバッテリーの液漏れ、破裂など）に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキャノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

MEMO

● Intelligent Li-ion Battery

バッテリーパックBP-718(別売) / BP-727は、ビデオカメラと通信することにより、バッテリー残量を分単位で確認できるインテリジェントリチウムイオンバッテリーです。インテリジェントシステムに対応したビデオカメラかバッテリーチャージャー CG-700(別売)でのみ使用／充電できます。



このマークは、キャノンのビデオ関連商品の純正マークです。キャノンのビデオ機器をお求めの際は、同じマークもしくはキャノンビデオ関連商品をおすすめします。

主な仕様

iVHS HF R82 / iVHS HF R800システム

記録方式	動画： ① AVCHD、AVCHD規格Ver. 2.0準拠 映像：MPEG-4 AVC/H.264、音声：Dolby Digital 2ch ② MP4 映像：MPEG-4 AVC/H.264、音声：MPEG-4 AAC-LC (2ch) 静止画：DCF準拠、Exif Ver2.3準拠、画像タイプ：JPEG
動画形式	AVCHD、MP4
記録メモリー	HFR82 内蔵メモリー（容量：32 GB） SD / SDHC / SDXCメモリーカード 参考 ▶「動画の記録可能時間の目安」(P245)
撮像素子	1/4.85型CMOS、総画素数：約328万画素 有効画素 動画／静止画：約207万画素（1920×1080） アドバンスズーム選択時：ワイド側 1920×1080、テレ端 1280×720
液晶画面	3型TFTカラー液晶（約23万ドット）、静電容量式タッチパネル
マイク	ステレオエレクトレットコンデンサーマイク
レンズ	f=2.8－89.6mm F=1.8－4.5 光学32倍ズーム／アドバンス57倍ズーム 35 mmフィルム換算時の焦点距離 動画／静止画：約38.5－1232 mm アドバンスズーム選択時：約32.5－1853 mm
レンズ構成	7群10枚、非球面レンズ1枚使用
フィルター径	43 mm
焦点調整	TTL自動焦点（TTL方式）、マニュアル調整可
最短撮影距離	ワイド端1 cm、ズーム全域1 m、テレマクロ設定時のテレ端 約50 cm
ホワイトバランス	オート（AWB）、プリセット（太陽光、電球）、セット（白取り込み）
最低被写体照度	0.4ルクス（ローライト（シーンモード）、シャッタースピード1/2秒時） 5ルクス（P（プログラムAE）モード（オートスローシャッターオン）、シャッター スピード1/30秒時）
推奨被写体照度	100ルクス以上
手ブレ補正機能	光学式＋電子補正

動画サイズ	AVCHD 60P / MXP / FXP :	1920×1080
	AVCHD LP :	1440×1080
	MP4 35Mbps / 24Mbps / 17Mbps :	1920×1080
	MP4 4Mbps :	1280×720
静止画サイズ	1920×1080、1280×720(MP4(4Mbps) 記録時のみ)	

入・出力端子

映像／音声出力端子 (AV OUT端子)	Φ3.5 mmステレオミニジャック (4極)、1 Vp-p / 75 Ω - 10 dBV (47 kΩ負荷時) / 3 kΩ以下
USB端子	miniAB、Hi-Speed USB対応
HDMI OUT端子	HDMIミニコネクタ、出力のみ
MIC(マイク)端子	Φ3.5mmステレオミニジャック、- 64 dBV (600 Ω マイク使用時 / 5kΩ 以上)
ヘッドホン端子	Φ3.5mmステレオミニジャック (AV OUT端子兼用)

HFR82 Wi-Fi

無線LAN規格	IEEE802.11b / g / n準拠 接続方法 : WPS (プッシュボタン方式、PINコード方式)、 アクセスポイント検索、手動設定、スマートフォン接続
周波数	2.4 GHz帯
チャンネル	1 ~ 11 Ch
暗号化方式	WEP-64 / WEP-128、TKIP / AES

電源その他

電源電圧	DC3.6 V(バッテリーパック)、DC5.3 V(DC IN)
消費電力	HFR82 約3.1 W (液晶画面の明るさ標準、内蔵メモリー、FXPモード、AF合焦時) HFR800 約3.2 W (液晶画面の明るさ標準、SDカード、FXPモード、AF合焦時)
動作温度	約0℃～+40℃
外形寸法	約53×58×116 mm(幅×高さ×奥行き、グリップベルトを含まず)
撮影時総質量	HFR82 約310 g HFR800 約305 g いずれもバッテリーパックBP-727、SDメモリーカード、グリップベルト含む

本体質量	HFR82 約240 g
	HFR800 約235 g
	いずれもグリップベルトを含まず

コンパクトパワーアダプター (ACアダプター) CA-110

定格入力	AC 100 V - 240 V(50/60 Hz)、17 VA(100V) ~ 23 VA(240V)
定格出力	公称DC5.3V、1.5 A
使用温度	約0℃ ~ +40℃
外形寸法	約49×27×79 mm(幅×高さ×奥行き)
質量	約110 g

バッテリーパック BP-727

使用電池	リチウムイオン (インテリジェントリチウムイオンバッテリー)
使用温度	約0℃ ~ +40℃
公称電圧	DC3.6 V
公称容量	2760 mAh
定格 (最小) 容量	9.7 Wh / 2685 mAh
外形寸法	約30.3×34.2×40.1 mm(幅×高さ×奥行き)
質量	約60 g

動画の記録可能時間の目安

画質 \ 容量	8GB	16GB	32GB*	64GB
MP4 35Mbps (1920×1080)	30分	1時間	2時間	4時間
AVCHD 60P (1920×1080)	35分	1時間15分	2時間30分	5時間5分
AVCHD MXP、 PF25 24Mbps (1920×1080)	40分	1時間25分	2時間55分	5時間55分
AVCHD FXP、 PF25 17Mbps (1920×1080)	1時間	2時間5分	4時間10分	8時間20分
AVCHD LP (1440×1080)	3時間	6時間5分	12時間15分	24時間30分
MP4 4Mbps (1280×720)	4時間20分	8時間40分	17時間20分	34時間45分

* **HFR82** 内蔵メモリー (32 GB)には、音楽データや画像データ（デコレーションの画像ミックス用）が保存されているため、実際に記録できる時間は少なくなります。1回の撮影操作で記録できる時間は、約12時間です。それを超えると自動的に一時停止し、約3秒後に再び記録が開始されます。なお、記録される映像は、別々のシーンになります。

静止画の記録可能枚数の目安

撮影条件や被写体により、記録できる静止画の枚数は異なります。

静止画サイズ	記録可能枚数 (4 GBのカード)
1920×1080	2700枚
1280×720*	6100枚

* 録画モードが4 Mbps(MP4形式)のとき。

バッテリーの充電時間の目安

充電時間は周囲の温度や充電状態によって異なります。

バッテリー パック	充電時間	
	コンパクトパワーアダプター (ACアダプター) CA-110(付属)	バッテリーチャージャー CG-700(別売)
BP-718	5時間35分	3時間40分
BP-727	7時間45分	5時間15分

バッテリーの使用時間の目安

バッテリーパックBP-727(付属)またはBP-718(別売)を、フル充電して取り付けたときの使用時間の目安は、次のとおりです。

バッテリーパック	動画形式	連続撮影時間	実撮影時間	再生時間
BP-718	AVCHD	1時間50分	1時間5分	2時間55分
	MP4	2時間	1時間5分	2時間55分
BP-727	AVCHD	2時間45分	1時間35分	4時間20分
	MP4	3時間	1時間40分	4時間25分

* 録画モードがFXP(AVCHD形式)または17 Mbps(MP4形式)で、内蔵メモリーに記録時(HFR82のみ)。カードに記録するときは、約5分程度短くなることがあります。

* 実撮影時間とは撮影、撮影停止、電源の入/切などの操作を繰り返したときの撮影時間です。

* 液晶画面を明るくしていると、バッテリー使用時間が少し短くなることがあります。

* 低温下で使用すると、使用時間が短くなります。

POINT

バッテリーは予定撮影時間の2～3倍分を用意する

ビデオカメラの消費電力は操作によって変化します。そのため、上記の使用時間より短くなることがあります。

音楽ファイルや画像ファイルについて

ダウンロードのしかた

本機では動画や静止画を音楽と一緒に再生したり、映像とミックス画（フレーム画像）を合成したりできます。音楽やミックス画は下記のウェブサイトからダウンロードします。

www.canon.com/icpd

「Japan」を選んだ後、ダウンロードページへ進んでください。

音楽ファイルについて

本機でビデオスナップなどに使う音楽は以下の形式です。

サンプリング周波数：48kHz

音声形式：リニアPCM

量子化ビット数：16bit

チャンネル数：2

再生時間：1秒以上

データ形式：WAV

- **HFR82** 本機をパソコンにつないだ場合、ご購入時に内蔵メモリーに保存されている3つの音楽ファイルは、パソコン上で以下のように表示されます。

CANON



- カードの動画や静止画を音楽と一緒に再生する場合、音楽ファイルはTransfer Utility LEを使って、パソコンから以下のカード内のフォルダーに転送してください。

CANON



ミックス画について

デコレーションの画像ミックスに使う画像は以下の形式です。

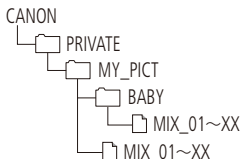
サイズ：1920×1080

データ形式：ベースラインJPEG

サンプリング比：4:2:2または4:2:0

ミックス画をカードに保存する

パソコンのカードスロットまたはカードライターを使って、カードの以下の場所にミックス画を保存してください。



Full HD 1080iについて

FULL HD
1080

Full HD 1080とは垂直画素（走査線）数1080画素（本）のHD(High Definition)映像に対応しているキャノン製ビデオカメラを示しています。

iVHS HF R82 / iVHS HF R800iは、DCFに準拠しています。DCFは、(社)電子情報技術産業協会 (JEITA)で主として、デジタルカメラ等の画像ファイル等を、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。

iVHS HF R82 / iVHS HF R800iは、Exif 2.3（愛称「Exif Print」）に対応しています。ExifPrintは、ビデオカメラとプリンターの連携を強化した規格です。ExifPrint対応のプリンターで印刷することで、撮影時のカメラ情報を生かし、それを最適化して、よりきれいな印刷出力が得られます。

さくいん

ア行

アクセスポイント*	168
アップロード*	161
あとからフォト	104
アドバンスズーム	230
安全上のご注意	203
インデックス画面	44、48
打上げ花火（シーンモード）	65
エリア	215
オーディオシーン	99
オート	38
オートスローシャッター	219
オートパワーオフ	223
おしらせ音（操作音）	31、226
お手入れ	213
音楽	105、109
音楽ファイル	247
音量：再生時	46
：撮影時	231

カ行

カードを入れる	20
海外で使う	214
外部マイク	102
画質	56
カスタムボタン	226
画像ミックス	80、247
カメラパンテーブル*	155
画面の見かた	234
キヤノンイメージゲートウェイ*	161

* HFR82のみ。 ** HFR800のみ。

記録可能時間（目安）	246
記録先を選ぶ*	58
区間Slow & Fast	71
グリップベルト	15
結露	212
高輝度優先	63
故障かな？	179
こだわりオート	39
コピー*	117
コンパクトパワーアダプター	17

サ行

再生する：静止画	48
：動画	44
撮影時間	245
撮影する：静止画	37
：動画	34
撮影設定メニュー	229
撮影モード	64
サマタイム	215
サムネイル設定	115
三脚	208
シーン	11
自動逆光補正	219
シネマ	61
シネマルックフィルター	62
充電	17
充電時間	246
修理対応	253
仕様	242

消去する：静止画	53
：動画	51
常時Slow & Fast	68
初期化する	25
シリアル番号（機番）	15
ズーム	41
ズームスピード	218
スノー（シーンモード）	65
スポーツ（シーンモード）	65
スポットライト（シーンモード）	65
スライドショー	109
スロー&ファストモーション	68
セットアップメニュー	31、217
セルフタイマー	217
外付けハードディスク*：再生	140
：初期化	141
：保存	137

タ行

タイムライン	107
宅外モード*	151
宅内モード*	148
タッチ（操作）	28
タッチデコレーション	74
タッチパネル	28
単位系	226
手ブレ補正	220
テレビタイプ	222
テレビで見る	126
テレマクロ	97
同時記録*	59
ドラッグ（操作）	28
取り扱い上のご注意	207
トリミング	113

ナ行

認証マーク	228
-------------	-----

ハ行

パソコンに保存（バックアップ）	131
バッテリーの残量表示	226
バッテリーの使用時間（目安）	246
パスワードIS	231
ビーチ（シーンモード）	65
日付/時刻	24
ビデオスナップ	83
ファイル番号	227
ファイルロック	47
フェイスキャッチ&追尾	84
フェーダー	87
フォーカス	91
フォーカスアシスト	218
フリッカー低減	219
フレーミングアシスト	42
フレームレート	95
プログラムAE	67
分割	111
ヘッドホン	100
ベビーアルバム	45
ベビーモード	60
ポートレート（シーンモード）	65
ホーム画面	29
保存方法	130
ホワイトバランス	93

マ行

マーカー	221
マイクレベル	231

* HFR82のみ。 ** HFR800のみ。

マクロ	97	Connect Station	136、159
マルチシーンIS	40	Fastモーション変換*	123
ミックス画	248	FlashAirカード**	228
無線LAN*	147	HDMI OUT端子	127
無線親機*	168	ID-1方式	129
メッセージ	190	MIC（マイク）端子	102

ヤ行

夜景（シーンモード）	65	MP4変換	120
夕焼け（シーンモード）	65	NFC*	147
		NFC対応機器*	147
		NFCタッチポイント*	13、149、157
		PF30	96

ラ行

ライブストリーミングリモコン*	148	SD/SDHC/SDXCメモリーカード	20
リレー記録*	59	USB接続指定	223
レベルメーター	232	USB端子	132、136
レンズカバー	34	Webサービス*	161
ローライト（シーンモード）	65	Wi-Fi*	9、146
録画モード	56	Wi-Fiの用語*	176
露出	89	WPS*	168
		YouTube*	162
		🎧（ヘッドホン）端子	13、100

ワ行

ワイヤレスアンテナ*	147
ワイヤレスマイクロホン	199

そのほか

60i	95
60P	56
BD（ブルーレイディスク）レコーダー	143
BGM	105、109
CameraAccess plus*	148
Camera Connect	156
CANON iMAGE GATEWAY*	161

* HFR82のみ。 ** HFR800のみ。

商標について

- SD、SDHC、SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Microsoft、Windowsは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Mac OS、App Store、iTunes、iPhone、iPad、iPod touchは、米国およびその他の国で登録されているApple Inc.の商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
- “AVCHD”、“AVCHD Progressive”、および“AVCHD Progressive”ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- DCFは、(社)電子情報技術産業協会の団体商標で、日本国内における登録商標です。
- Google、Android、Google Play、YouTubeは、Google Inc. の商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- iOSは、米国およびその他の国における Cisco社の商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- Wi-Fiは、Wi-Fi Allianceの登録商標です。
- Wi-Fi CERTIFIED、WPA、WPA2とWi-Fi CERTIFIEDロゴは、Wi-Fi Allianceの商標です。
- ビデオカメラの設定画面と本書内で使用されている「WPS」は、Wi-Fi Protected Setupを意味しています。
- N-Mark は米国およびその他の国におけるNFC Forum, Inc.の商標または登録商標です。
- FlashAirは、株式会社東芝の商標です。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、キヤノンはこれら商標を使用する許可を受けています。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。



本機器は、MicrosoftからライセンスされたexFAT技術を搭載しています。

MPEG-4使用許諾について

This product is licensed under AT&T patents for the MPEG-4 standard and may be used for encoding MPEG-4 compliant video and/or decoding MPEG-4 compliant video that was encoded only (1) for a personal and non-commercial purpose or (2) by a video provider licensed under the AT&T patents to provide MPEG-4 compliant video. No license is granted or implied for any other use for MPEG-4 standard.

保証書と修理対応

本機の保証は日本国内を対象としています。万一、海外で故障した場合の現地での修理対応はご容赦ください。

保証書

本体には保証書が添付されています。必要事項が記入されていることをお確かめのうえ、大切に保管してください。

修理対応

製品の保証について

- 使用説明書、本体注意ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間中に本製品が万一故障した場合は、本保証書を製品に添付のうえ当該保証期間内に弊社修理受付窓口までご持参あるいはお送りいただければ、無料で修理いたします。この場合の交通費、送料および諸掛かりはお客様のご負担となります。なお、出張修理をご希望される場合は、別途出張費用を申し受けます。修理受付窓口については、カメラ修理受付センター（☎ 254）にお問い合わせ頂るか、弊社ホームページでご確認ください。
- 保証期間内でも保証の対象にならない場合もあります。詳しくは保証書に記載されている保証内容をご覧ください。
- 保証期間はご購入日より1年間です。保証期間経過後の修理は有料となります。
- 本製品の故障または本製品の使用によって生じた直接、間接の損害および付随的損害（録画再生に要した諸費用および録画再生による得べかりし利益の喪失、記録されたデータが正常に保存・読み出しができないことによって発生した損害等）については、弊社ではその責任を負いかねますのでご了承願います。

修理を依頼されるときは

- 故障内容を明確にご指示ください。また、修理品をお送りいただく場合は、十分な梱包でお送りください。

修理対応期間について

- ビデオカメラの修理対応期間は、製造打ち切り後8年です。なお、弊社の判断により同一機器または同程度の仕様の製品への交換を実施させていただく場合があります。その場合、旧製品でご使用の消耗品や付属品をご使用いただけないことや、対応OSが変更になることがあります。

修理について

■ 修理に出すまえに

- 不具合症状の再現・確認のために、カードをお預かりすることがあります。その場合、修理の前に必ずデータをバックアップしてください。なお、修理によってデータが消去された場合の補償についてはご容赦ください。
- 修理の際、必要最小限の範囲でカード内のデータを確認させていただくことがありますが、修理の目的以外に使用いたしません。



■ 修理のお申し込みは

- らくらく修理便（引取修理）のお申し込み

【24時間受付WEBサイト】：canon.jp/repair



※ 当社が指定する宅配業者によりご自宅まで集荷（梱包含む）に伺い、修理完了後、ご自宅へ送付いたします。（有料）

※ 一部対象外の製品がございます。詳しくはWEBサイトにてご確認ください。

- 電話でのお申し込み

- カメラ修理受付センター

電話番号：050-555-99077

※ 050から始まるIP電話をご利用いただけない場合は、TEL043-211-9316にお問い合わせください。

※ 外線発信時に「0」発信が必要な方は、おかけ間違いのないようご注意ください。

※ 本電話は、0120から始まるフリーダイヤル番号ではございません。

※ 今一度、番号をお確かめの上、おかけ間違いのないようご注意ください。

ビデオカメラやキャノン製ソフトウェアの使いかた

キャノン お客様相談センター

050-555-90003 (全国共通)

9:00~18:00 (1月1日~1月3日を除く)

※上記番号をご利用になれない場合は、043-211-9394をご利用ください。

PIXELA社製ソフトウェアの使いかた

株式会社ピクセラ ユーザーサポートセンター

 **0120-660-721** (固定電話用、無料)

 **0570-783-262** (携帯電話用)

平日 10:00~18:00 (土日、年末年始、祝日除く)

※上記番号をご利用になれないときは、FAX: 06-6633-2992をご利用ください。

※お問い合わせ先は変更になることがあります。最新の情報については以下のウェブサイトをご確認ください。

http://www.pixela.co.jp/oem/canon/j/index_c.html



デジタルビデオカメラホームページ

最新の情報については、こちらをご覧ください。

- デジタルビデオカメラ製品情報 canon.jp/ivis
- キャノン サポートページ canon.jp/support
- CANON iMAGE GATEWAY <http://www.imagegateway.net/>

Canon

キャノン株式会社/キャノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011 東京都港区港南2-16-6

PUB. DIJ-0461-000 ©CANON INC. 2017

本書の内容は2017年1月現在です。製品の仕様および外観は予告なく変更することがあります。